
ドラえもん のび太のバイオハザード in リメイク・アゲイン版

手榴弾一号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドラえもん のび太のバイオハザード in リメイク・アゲイン版

【Nコード】

N 6 4 9 4 V

【作者名】

手榴弾一号

【あらすじ】

性懲りもなくのびハザ3作目スタート！
今度もまたドラえもんとのび太がやらかして、ススキケ原がバイオハザードな事態になる。

果たしてドラえもん和其他諸々の連中は生きて脱出できるのか！
？

第1話 くやっぱり火種はコイツ等々（前書き）

性懲りも無く開始。 3 度目だぞオイ。

キャラ設定？ダルイから書くかどうかともわかんない。

第1話　くやっぱり火種はコイツ等

ココは東京都の何処かにあるススキケ原。

ここは何処かにある家の2階で、のび太とドラえもんは立ち尽くしていた。

この1人と1つ（ロボットなので「つ」）はいつも町中に混乱を引き起こす震源地。

かと思えば次の話ではいきなり元に戻っていたりと、ある意味最強のコンビでもある。

どうしてそうなるのかは、まあ、頭の中で適当に都合よく話を作ってくれ。

のび「どうしてこうなった」

のび太が、左に便器とトイレのドア、前に玉子・・・のび太のママの死体、という配置で立ち尽くしついついた。ちなみに右にはドラえもん。

ドラ「どうしてだ？てめえが朝にあんな事言うからこうなったんじゃないかねかこの　×　野郎！」

ドラえもんは普段はこんな口調ではないのに、緊急事態に陥った為か言動システム（仮）がバグったようでメチャクチャな悪口をあからさまに言い出す。

部品交換だなこりゃあ。ちなみに　×　は自主規制って事。

つっ「訳で時間は今日の朝ごろに戻る。

言い忘れてたけど、本日7月29日22時半くらい。

で、今から戻る時間は同日9時ちよい過ぎ。

- - - - -

ジャイ「やーいのび太、登校日間違えてやんの」

スネ「夏休みなのに学校に行くなんて、とんだバカだな！アハハハハハ！」

この2人は色々な意味で最強コンビ。ドラ&のびコンビとはまた違った次元でススキ原を支配しているのだ。

はてさて、どういう事なのかというとのび太が夏休み中に寝ボケて学校に行き、今日は夏休みだったと気づき逃げ帰っている最中にこの2人に会ってしまい泣きながら秒間300km/hの速度で家に逃げ帰っている最中という訳だ。

「秒間」なのに「km/h」な点については説明役に責任を押し付けるとして（ちなみにこれはナレーション）、家に逃げ帰ってから
のドラ&のびコンビの会話。

さあ、上の長文の中で「逃げ帰る」は何度使ったでしょう？

のび「おいドラえもん！！ てめえ皆が僕に優しくしてくれる道具を出せ！！でないと四次元ポケットを強奪する！！ あと3分間だけ待ってやる！！」

どうやらのび太はこの時点でおかしくなっていたようだ。平常時と言動が180度違う。

ドラ「ああ？しょうがねえなとっておきのを使ってやるよ感謝しろよなゴルア、あと3時間だけ待ちやがれ」

ドラえもんもドラえもんで、のび太の言動が非常事態なせいで言動システム（仮）に影響を受けてしまったようだ。

3分後。

ドラ「あつたあつた、「ヤサシクスルン」！」

ドラえもんは四次元ポケットから、口にコルク栓の付いた試験管を取り出した。

中には毒々しい紫色の粉が入っている。

のび「何ソ連」

ドラ「これを使うと、皆が貴様のようなYellow Monkeyに優しくしてくれるんだ！！」

のび「Yellow Monkeyが気に食わないけど素晴らしい！」
ドラ「それじゃあ使うぞ！」

ドラ&のびコンビは屋根に上り、コルク栓をポンツと抜き、風に乗せて中の粉を全てばら撒いた。

そして2人（メンドイのでドラえもんも「人」とカウント）は2階に戻り、部屋のドアを開けた瞬間。

ズルッ

ドラえもんがこけて、ポケットの中の物の一部が飛び出してしまった。

ドラ「イテテ・・・折角だし整理するか、ちよい手伝ってくれ」
のび「いいだろう、「貴様のようなYellowMonkey」と
言われた分の礼は返させてもらう」

言いながらのび太は薬品類・機械類・物理類の3種類に仕分けた。

そこで、ドラえもんは妙な事に気がつく。

ドラ「アレ? 「ヤサシクスルン」の試験管がなんで中身入りで入っ
てるんだ・・・? ん、これは・・・!!!!!!」

ドラえもんは真正正銘の非常事態に気が付いた。

ドラ「あああああああああああああああああああ
!!!!!!」 ネズミ、ネズミ!!!!!!」

ドラえもんは暴走状態になった。

暴走が収まらないと話が進まない為、収まる30分後にジャンプ。
現在時刻10時半前。

のび「・・・で、どうしたんだ?」

頭がボコボコになったのび太が不機嫌そうに言う。何を隠そう、ド

ラえもんはのび太の頭の上を30分間跳ね回り続けたのである。

ドラ「間違ってT・ウィルスを撒いちゃった!」

のび「……………は?」

ドラ「えつと取扱説明書は……………あつた!これでも見てろYellowMonkey!」

のび「お前うるせえよ!!てめえはBlue Tanukiのクセに!」

言いながらドラ&のびコンビはT・ウィルスの取扱説明書を読みはじめる。

「お買い上げありがとうございます。この薬剤は足の不自由な人々の為に開発され、使用すると足の細胞組織が完全に復活するような仕組みになっております。

薬剤は、対象者の体重により以下のように使用してください。

・60kg以下 1本

・40kg以下 59kg以下 約2/3本

・20kg以下 39kg以下 約1/2本

・120kg以下 約1/3本

注意：量が多すぎると、拒絶反応が発生し死亡する可能性がありますので十分ご注意ください。

効果は半日ほど経ってから発生します。

株式会社 アンブレラ 22/05/21

のび「……………なんだ、難しい事が書いてあるけど簡単に言えば足の不自由な人の為の薬って事っしょ?大丈夫じゃん」

ドラ「でも使用し過ぎは危険だしなあ・・・ちなみにコレは買ったんじゃないくてアンブレラ社から預かったんだ」

のび「聞いてねえよ、まあ死んでも大丈夫だろ？だってドラえもんは何でも持つてるんだし」

ドラ「まあ、確かにそんな道具はあるけどさ・・・」

地味に恐ろしい会話を交わしつつ、のび太は

のび「ま、道具に頼って誰かに優しくしてもらおうなんておかしいから、自分で何とかするよ！」

と、意気込みを語った。

ドラ「えらい！」

そして時が経ち、晩飯を食べ、寝てから数時間経った時、のび太はトイレの為に起きた。

のび「ふう・・・スッキリした」

トイレを済ませ、トイレから出ようとしたまさにその瞬間！

ママ「ウアアアアアア・・・」

のび太のママが襲い掛かってきた。

慌てたのび太は便器を引っっこ抜き（！？）、ママを殴る。しかしそれでも倒せなかったので、今度はトイレのドアをむしり取って（！？）ママを何度も何度も殴った。

しばらく続けて、気が付くとのび太の左手には引っっこ抜いた便器とトイレのドア、前には頭がグチャグチャになったママが居た。で、そこへドラえもんが駆けつけた、と。

—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—

で、冒頭に戻る。

のび「コレはアレだ、例のU - ウイルス？ F - ウイルスだっけ？ まあいいや」銀行 - ウイルスの影響だよな、9割の確率で」

ドラ「Ｔ・ウィルス！　チクシヨウ、あのアンブレラどもめ大嘘を書きやがつて……抗議してやる！電話を寄越せええええええええええ！！！」

のび「居間にあるから取ってこいよ!」

気が狂ったドラえもと、怒鳴り返すのび太。
そこへ、

テ
レ
ッ
テ
ッ
テ
ッ
テ
ー

テレッ
テッ
テッ
テー

テ
レ
ッ
テ
ッ
テ
ッ
テ
ー

何処ぞの某ハンバーガーチェーン店「M」のテーマソングの着信音が流れてきた。

ドラ「つと、タイミングがいいな、クソ傘からだ、ちよい電話するから何も言つな、何か言つたらメガネ破壊するぞ」

のび「それ脅迫だよな？」

そんなのび太の言葉をガン無視し、ドラえもんは電話に出た。

続く！

第1話 くやっぱり火種はコイツ等々（後書き）

またまた頑張ります。

今回はそれほど無理のない設定に出来たと思います。

2,933文字。

第2話 〽客をナメてると死ぬぜ?〽 (前書き)

サブタイトルの意味は読めばわかる。

第2話　く客をナメてると死ぬぜ？

ドラ『はいもしもし』

前話で、ドラえもんが掛かってきた電話。

それは何を隠そう、Ｔ・ウィルスを作った張本人（？）、アンブレラ社であった。

社員『やあどうも、Ｔ・ウィルスを撒いてくれたのは貴方ですか』
妙に間延びした声の社員が相手だ。

ドラ『てめえ……取（扱）説（明書）にあんな大嘘書いて大丈夫なのか？』

社員『大丈夫ツ、大丈夫ツ！　客が金出しゃあモノなんて何でも売っていいんですから』

「何でも売っていい」その言葉にドラえもんはブチギレた。

ドラ『てめえ、それで本当にいいのか？　オイゴルア！！　答えろよ！！』

携（帯）電（話）のマイクに向かって怒鳴るドラえもん。社員も負けじと（？）

社員『あ？　てめえ給料やってんの誰だと思ってんだ？　俺だぞ俺！　わかってんのかよ！！』
と怒鳴る。

ドラ『とにかくだ、こんな事してどうするつもりだ？』
いきなり冷静になって、ドラえもんは言う。すると社員も同じくら

い冷静になった。

社員『そりゃあ、決まってるでしょ。生物兵器の実験ってヤツですよ。実験台は貴方達ですがね・・・生き残れたら許してやる』

ドラ『当ててやろうか・・・時間制限があるってんだろ？』

社員『ご名答。核ミサイルを5日後つまり8月3日の正午にススキ原に落とします。それまでに脱出できたら貴方達の勝ち。全滅したらこちらの勝ちです』

ドラ『いいだろう、その勝負乗ったぜ。でも武器くらいはくれよ』

社員『言われなくても。今から貴方達のところに武器を支給します。それと町中にもジュラルミンケースに武器を入れて置いておくのでよろしく』

ドラ『最後にもう一つ、脱出のヒントは？』

社員『そこまで言っちゃゲームにならないでしょう。じゃあ、ゲーム開始です。精々足掻いてみるんですね・・・ヘッヘッヘッ』

最後に気持ち悪い笑い声を残し、電話を切る・・・と思ったが。

社員『ああそうそう、3日生き残ったらこちらの隊員が貴方達を抹殺に行きますのでよろしく・・・ヘッヘッヘッ、まあその前に3人ほど偵察員を送りますがね』

ドラ『まあ、精々期待してるよ』

皮肉たっぷりドラえもんは答え、電話を切った。

ドラ「クソッ、クソッ、クソッ、クソッ、クソッ！！！ あのクソ
タレどもめ！！」

そこら辺にあった机を5回叩きながら、ドラえもんは腹立たしそうに叫ぶ。

のび「やめろ、机が壊れる！」

いや突っ込むところ違うでしょーが。

のび「ナレーションは引っ込んでろ！」

・・・・・・・・・・。

ドラ「・・・・・・・・・・、とにかく町中に出よう、脱出へのヒント
を探すんだ」

のび「てか、普通に町から出ればいいんじゃないかね？」

ドラ「いや、多分壁とか置いてんだろ・・・狭いフィールドで俺ら
を対象にゲームをする気だろうしな」

ドラえもんがそこまで言ったとき、のび太はドラえもんが先程した
ように机を一回叩き、

のび「クソッ！今すぐ殺してやりてえ！！」
と、怒鳴った。

ドラ「まあ落ち着け、とにかく外に行こう、中に居てもしょうがな

い」

興奮するのび太をなだめ、外に行こうと言った時、いきなり襖ふすまが開いて、銀色の銃と、赤色の箱が2個ずつ飛び出てきた。

ドラ「どーゆートコから出てきてんだよ」

そして、銃が得意なのび太が真っ先に反応する。

のび「うおっ、コイツあべレツタM9じゃないか！弾薬も30発ちよつと付いてきたし、これで大丈夫だな！よし！行くぞ！」

本物の銃を手にしてテンションが上がったのか、一気に外に飛び出そうとするのび太。

ドラ「まあ待て、まず銃の扱いに慣れておこうぜ」

そう言つてのび太を引き止めるドラえもん。そしてドラえもんはのび太を窓際に引っ張り

ドラ「ココからゾンビを撃つておけば、出た時に包囲されないし、練習にもなるし一石二鳥だぜ」

と、言つた。しかしのび太は

のび「いや待て、玄関塞いでおかないとゾンビ中に入ってくるって、だから俺は急いでんだよ」

と、珍しくも知恵をきかせて言つた。

ドラ「それもそうだな、よしのび太、家具でドアを塞ごう！俺は万が一の時の為に後ろからバックアップする！」

そう言つてドラ&のびコンビは1階へと降りていった。

のび「（その”万が一の時”以外は何もしないのかよ、このクソダメ中古ロボットめ）」

心の中で思いつき罵倒しつつ、のび太は適当に家具をドアの前に置いた。

家具を必死の思いで運び、何とか玄関、ついでに居間などの窓も塞ぎ、まず侵入される心配は無くなった。

ちなみにドラえもんの言う「万が一の時」(「ゾンビが家の中に入ってくるような事態」)は幸いにも無くて済んだ。

そして2階ののび太の部屋に戻る。

ドラえもんは窓を開け、

ドラ「それじゃあ遠慮なく練習用的となってもらいますか。おいのび太、何をモタモタしている！さつさと支度をせんかぁッ！！このノロマがあぁッ！！」

と、モタ・モーターしているのび太へ怒鳴った。

うつ、寒い・・・。

ドラ&のび「ホント、どっかの誰かさんがバカなコト言っから・・・

」

どっかの誰かさんって誰？

ドラ&のび「お・ま・え・だ・よ！！！！！！！！」

ナレーションはリンチされています。しばらくお待ち下さい・・・
(by 説明役)

のび「さて、これから射撃演習を開始する」

ドラ「了解、つつーかわざわざそんな言い方しないでいい」

突っ込みつつもドラえもんは射撃を開始した。まあその前にのび太は撃ち始めていたが。

流石にのび太は射撃の天才なので、命中率は95%を超えている。反対にドラえもんは命中率が50%に届くかどうかの水準であった。

家を包囲していたゾンビは40体ほど居たが、のび太が30体ほど倒したので一応窓の外にはゾンビは見えなくなった。

のび「じゃあ、家から出ようか」
ドラ「そうしよう、そうしよう、そつじゆ双子葉類」

のび「・・・・・・・・・・・・・・・・」

ドラえもんの寒いギャグを華麗にスルーし、のび太は玄関へ向かう。
しかしその途中、ある事に気が付く。

のび「玄関のドア、家具で塞いだんだった・・・・・・・・」
「」

ドラ「この大馬鹿野郎！！！！てめえ何忘れてんだよ！！！！」

のび「くだらない事をくっちゃべってる場合じゃない！！てめえ先に2階から飛び降りて下で俺を受け止めてくれ、でないとT・ウィルス撒いたのドラえもんだよって皆にバラす」

くだらない脅迫をするのび太に、ドラえもんは

ドラ「お前もう黙れよ！！」

と、怒鳴った。

まあ一応2階から飛び降りて、下でのび太を受け止めたが。

そして、ドラ&のびコンビは家の外に居る連中を天国送り（地獄逝きかも）にし、これからの予定を今更相談する事にした。

ドラ「どうする?。」

のび「どうするって、何が」

ドラ「2手に分かれるか、ペアで行動するか、どっちかハッキリしろつつてんだよ!!!!!!!!!!」

のび「ああそう、そんな事言うならドラえもんは一人ね、じゃ」

ドラえもんの100Vほどの高圧的な態度にブチギレたのか、のび太はさつさと一人で歩き始めた。

ドラ「てめえ後で覚えとけよなああああああああああああああああああ!!!!!!!!!!」

のび「うるさい」

バツサリ言い切ったのび太であった。

続く!

第2話 客をナメてると死ぬぜ? (後書き)

何とか1日2話行けました。

1話に比べて笑えませんか。

ちよつと残念、なんて書いた本人が言うのは変?

2,852文字。

第3話 ージャイアンの だいはくはっー (前書き)

ポケモンの画面表記ってこんな (＝サブタイトルのような文) で
正しかったっけ？

もう軽く2年やってないから忘れた。動画すら見てない。

第3話　～ジャイアンの　だいはくはっ～

ドラ&のびコンビが行動を開始した頃、同町の空き地で何やら言い合っている出ベソ3・5cmのデブと三段リーゼントのチビが居た。

ジャイ「……………よし、このままじゃ包囲されてしまう状況なのはわかった」

スネ「もう包囲されてるよね？」

ジャイ「だから、おとりを配置して俺たちは逃げようと思う」

スネ「2人しか居ないよね？」

ジャイ「それから、取り敢えず広い建物にでも行こうと思う」

スネ「学校って言ってるんだよね？てか僕のセリフ無視？なんで？」

ジャイ「うるせえ黙ってろ」

スネ「……………」

ジャイアンに黙らされつつも、スネ夫は銃をぶっ放しまくる。もっとも、ハンドガンの為あまり連射は出来ていないがな。

なので、ジャイ&スネコンビは徐々にジョニー（＝ゾンビ）ともに包囲され始めている。

2人は土管の上にドカンと座りながら撃つというのん気な事をやっていたが、流石にそんなのん気な事もやってられなくなったので土管の上にドカンと立ちながらドカンドカン撃ちまくっている。

さあ、上の一文で「どかん」は何度使ったでしょう？

ジャイ「……………」

? 2 「こーいうピンチの時は！」

? 3 「俺たちノラえもん、どび太、無音に任せとけ!!!」

いきなり神成さんの家の屋根の上に現れたのは、ドラえもん・のび太・静香の紛い者、ノラえもん・どび太・無音であつた。

略して「余分三兄弟」である。

ジャイ「・・・・・・・・・・・・・・・・・・。」

スネ「・・・・・・・・・・・・・・・・・・。」

ジョニー「・・・・・・・・・・・・・・・・・・。」

説明役「・・・・・・・・・・・・・・・・・・。」

筆者「・・・・・・・・・・・・・・・・・・。」

また、この沈黙かよ・・・・orz

ジャイ「余分三兄弟は引ッ込んでろおおおおおお!!!
!!!!!!」

その後、余分三兄弟とナレーションの姿を見た者は居ない。

さて、余分三兄弟＋ を処刑したジャイアンは、再びスネ夫に向けて
「ジャイ」じゃあ、さっきの続き。 大（便）かもネ！ ・・・じゃ
なくて、愛かもネ！でもなくて、死ね！」

銃口を向け、発射。しかしスネ夫は0.314159265358
979323846264338795秒前にさっきまで余分三兄
弟が居た神成さんの家の屋根に上って回避した。

スネ「何で円周率×1/10なんだよ」

突っ込みつつ銃弾を避けて、スネ夫の姿はジャイアンからは視認不
可能になり、見えるのは死人だけとなった。

ジャイ「いい加減にしろよ」

ふと、スネ夫が何処からか顔を出して言った。

スネ「どうでもいいけど、前、気をつけような」

この後、ジャイアンはゾンビどもに蜂の巣にされて………
はいなかった。

何故なら、ジャイアン（の居た場所）が大爆発したからである。

その爆音にビビったスネ夫は、吹き飛んで地球を一周した後同じ所
に戻ってきた。

途中で金閣寺・自由の女神像・ピサの斜塔（ピ「ザ」の斜塔ではな
い）で止まってしまい落ちたが、それぞれ車に撥ねられ進んでいっ
たのである。

スネ「な、何だ、いったい何が………」

スネ夫はこう推理した。

スネ「（そうか、ジャイアンは「ぶたごりら」というタイプで、こ
のタイプは必ず技に「だいはくはつ」があるから、それを使って僕
を守りつつ星になったのか！そうか！ジャイアンありがとう、君の
事は0.413104666秒だけ忘れないよ）」

オイコラ。

スネ夫がふざけた推理（当人はかなり本気^{マジ}）をしている間に、土煙
が晴れた。

そこにはゾンビの姿は無く、汚い肉片と内臓、そして、手にRPG
-7を持ったツインテールの小学生の女子が居た。

要約すると「手にはロケラン、床には死体！？」である。

スネ「し、し、し、静香ちゃん！」

スネ夫がそう叫んだところで、
続く！

第3話 〱ジャイアンの だいばくはつ〱 (後書き)

何なんだこの話。

ただ単に余分三兄弟がやりたかったただじゃん・・・。

1,908文字。

第4話 ー俺たち無敵のロケラン隊！ー（前書き）

サブタイトルは静香「のみ」を指しており、ジャイ&スネコンビは含まれておりませんのでご注意ください。

キャラ設定は12人全員出てからでも載せようかな。
なので、2日目からになります。

スネ「・・・・・・・・・・ゴメンナサイ」

・・・・・・・・・・

スネ「・・・・・・・・・・で、ジャイアンがゾンビに囲まれて順風満帆な死にザマを見せている時に、静香ちゃんのご丁寧にもジャイアンに向けてRPG-7を発射、ゾンビは爆散・ジャイアンは焼死で一人死亡・・・と、こういう訳だよね？」
静香から説明を受けたスネ夫は、こういう風にまとめた。

静香「まあそんな感じだ」

スネ「このサラツとした言い方が凄い・・・・・・・・・・。ジャイアンを容赦なく焼死させたのに・・・・・・・・・・」

静香「いや、奴はギリギリ生き延びてる、爆発ん時に「かーちゃーん！！」とか言って土管の裏に逃げ込んだから、多分今頃服は焦げていても生きてると思う」

スネ「言ってる事が矛盾してるよね？」

言いながら、スネ夫は土管の裏を確認する。

すると、上からジャイアンが

ジャイ「久々だなスネ夫、さあ始めようじゃないか、終わらない戦いってヤツをよ・・・・・・・・・・！」

と、訳のわからないセリフを訳のわからないドス調声でスネ夫に向けて言った。

スネ「それ何処のセリフのパクリ？」

良く見るとジャイアンの持っているMP5A5のトリガーにはジャ

イアンの右人差し指が掛かっていた。

パン！

- - - - -

スネ「・・・・・・・・・・・・・・・・取り敢えず、近所の小羽急デパートで食料飲み物その他を手に入れようと思う」
何とか致命傷で済んだ（「死なずに済んだ」）スネ夫が言う。

いや、正確には肩に被弾した為、死にそうになった所で静香に「地上最低の生命体だ！許可無く死ぬなど許されると思っているのか？貴様の死体など、両生動物のクソをかき集めた値打ちしかないッ！その撒き散らした汚物をかき集めて、さっさと起き上がれえッ！！」

と、何処ぞの鬼軍曹風に怒鳴られた為である。

まあつまり、静香の手下となったからには死ぬ事も許されない過酷な人生になるという事だ。

静香「何でお前が仕切るんだ？この臆病者が！貴様如きにリーダーが勤まるとでも思ってるのか！！」
・・・まあ俺もそう思った所

だ、それと一人称は気にするな」

上の一件で、気にしたり命令に逆らったりするとぶち殺されるとわかってるジャイ&スネコンビは従うしかなかった。

ジャイ「それじゃあ行こう、それからさっき土管の裏に逃げ込んだ時にジュラルミンケースがあったから開けてみたらこのMP5A5と後スコープオンがあったから」

スネ「じゃあそのスコープオン僕にちょうだい」

スネ夫がそう言うと、静香が

静香「臆病者があッ！！新しい武器を使いたいだと？ 貴様如

きはベレッタM9一丁で十分だァ！わかったか、この下等生物が！

！」

と、怒鳴った。

思いつきり鬼軍曹である。

こんな鬼軍曹がリーダーで大丈夫か？と、ジャイ&スネコンビは不安で一杯であった。

まあ、逆らえないから仕方なくついて行っているのだが……………。

- - - - -

所変わってココは小羽急デパート。

当然だが入り口は封鎖されている。

スネ「やつぱりというか何と言うか・・・・・・・・開いてないね」
ジャイ「当たり前だ！　よし裏口か」

ジャイアンが言い終わらない内に、静香がロケットランチャーをぶっ放してドアを破壊し燃焼させた。

ジャイ「こんな至近距離から発射するんじゃないやねえよ！！」

ジャイアンが突っ込むが、静香は構わず

静香「早く行け！火が消えたらブレーカーを探せなくなるぞ」と言った。

デパート内は入り口の炎の周りを除けば真っ暗であった。

なので、ブレーカーを（入り口の炎が消える前に）探し出して点けなければ、真っ暗のまま行動するハメになるという事だ。

まあ、炎が消えたらまた点ければいい気がするけどね・・・・。

それより何でロケットランチャーで火が点くかというと・・・・・・・・
そう、お察しのとおり、焼夷弾を使っているからである。

壁に掛かった箱を力ポツと開けると、底……いやそこにはスイッチが幾つか並んでいた。

適当に動かしていると、突然デパート中が明るくなった。そう、電気が点いたのである。

急いで（入り口付近で消火器で火を消している）静香の所に戻り報告すると、

静香「よくやった、貴様は今から臆病者から真冬の蚊取り線香にランクアップだ！ てな訳で火も消したし探索してこい！」

静香「俺は今から冷房の効いた部屋で待機している！わかったらさつさと日用品を拾い集めてこんかぁッ！ちなみにジャイアンは食料飲み物その他色々だ」

逆らってはいけないとわかりつつも、ジャイ&スネコンビは声を上げずにいらなかった。

—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—
—

一方その頃、のび太は。

のび「やべ、弾切れた……………」

そう言っで逃走を始めた頃でしたとさ。

第4話 俺たち無敵のロケラン隊！〜（後書き）

途中、静香の「地上最低の生命体だ！（ry」とかはPSPゲーのTHE 歩兵2からもろパクリです。

他の人の作品からパクった訳ではありません。勘違いされてるようですがね。知るか。

てか、静香の性格が多少過激すぎるので、ちょっと調整する予定です。

2,452文字。

第5話　く何でデパートに手榴弾があるんだよーく（前書き）

データ飛ぶ前のサブタイトルは「嘘も方便、本気は大便」。
勿論内容とは関係なし。

今度のサブタイトルはそこそこマジメ。

割合で言うと96・85841%マジメ、3・1415926%不
真面目。

・・・全然「そこそこ」じゃ無いですね。「かなり」マジメ。

ちなみに両方足すとちゃんと100%になるので悪しからず。
何が？とか聞かない。

第5話　く何でデパートに手榴弾があるんだよーく

スネ「くそ、何で棚が倒れてんだよ」

ここからはスネ夫を追尾します。よろしく願いします。

散乱した店内を見て、スネ夫はそう呟いた。

スネ「大体何で大地震でもあったようにグチャグチャなんだよ、探し辛いしそもそも日用品って何持つてくればいいんだよふざけんな畜生」

静香の野郎チャンスがあつたら抹殺してやる、とスネ夫は思考を巡らしつつ、静香の前で言つたら絶対にSATSUMAIされそうな文句を垂れ流しながらスネ夫の基準で言う「日用品」を次々にリュックに放り込んだ。

ちなみにリュックは静香から至急支給された物。いや、シャレじゃないけど。

スネ夫に今、このセリフを言つてやりたい。

「口から垂れるクソの前と後に「S^{サー}ir」を付ける！」

多分後で静香が言つと思うけどね。

（ところでコレ、誰のセリフ？情報提供お願いします　by筆者）

まあそれはそれで置いて、スネ夫は倒れた棚を必死に持ち上げる。

スネ夫は口先だけなら強いが、実際はフニャフニャの根性なし、コ

ンニヤク野郎なのでかなり非力なのだ。

まあ、のび太よりはマシかもしれないけどさ。

スネ「って、何でデパートに手榴弾があるんだよ!!」

タナーというメーカー製の棚を持ち上げると、そこには手榴弾が幾つか落ちていたタナー。

[illegible]

A vertical line of 20 dots. The 10th dot from the top is labeled 'o'. To the left of the 10th dot is a bracket labeled 'L'.

・
・
・
・
・
・
・
・
・
・
ゴメンナサイ。

取り敢えずスネ夫は手榴弾を拾ってリュックに放り込んだ。

場面転換して今度はジャイアンを追尾。

ジャイ「っし、カップラーメン・コーラ・インスタントカレー・そ

の他諸々よし、そろそろ静香んトコ戻るか、スネ夫のような下劣な軟弱野郎に先を越される前に」

ジャイアンはスネ夫より簡単な任務（食料・飲み物を拾い集める）だったので、スネ夫の10倍近い速さで物事が進んだ。
元々の性格もあるのだろうか。

それより何故全部インスタント物かというと、単純にジャイアン自身が料理できないから。
多分するのは静香とかだと思っけどね。

ジャイ「およ？またジュラルミンケースが」
スネ夫と同様のパターンで、棚を持ち上げるとそこにはジュラルミンケースが。

そこ、ワンパターンとか言わない。

開けてみると、中身はやや大型のナイフが数本。
刃物なので、ジャイアンはジュラルミンケースのまま運ぶことにした。

勿論、静香に支給されたリュックに入れて。

- - - - -

2人が任務を終え、（冷房が効いている部屋で休んでいる）静香の

下へと戻ると（敢えてこっちの漢字）、静香は
静香「よし、よくやったキツネとジャイアン大尉！ 早速中身を見
せてみる！」
と、言った。

当たり前だが戻ってきたのはジャイアンが先。スネ夫は後からかな
り遅れて戻ってきた為、思いつきり静香に蹴飛ばされた。

スネ「僕の扱い酷くね！？」
うるせえ黙れ。

2人がリュックの中身をぶちまけると、静香は
静香「おい真冬の蚊取り線香（＝スネ夫）！ 何だこの腐ったブツ
はア！！ 貴様、俺が言った事を忘れたのか！！」
と、真っ先にスネ夫に向かい怒鳴り散らした。

まあ、スネ夫の持ってきた物は「卓上扇風機・うちわ・霧吹き・冷
房のリモコン・レジから盗んできた金2,000円ちよつと・手榴
弾数個」だからしょうがない。
もっとマシなもの持ってこい、とのび太でさえも言いそうだ。まあ
金と手榴弾はいいとして、だ。

大体リモコンあったって冷房本体なきや意味ねえだろ……。

ジャイ「お前馬鹿だろ」

ジャイアンでさえもそう言う程であった。

- - - - -

一方その頃、学校では。

聖奈「はあ、はあ、何とか逃げ切った……取り敢えず怪我の治療って事で保健室にでも特攻しますか」

色んな意味で変な事を言いつつ、聖奈は保健室に入った。

すると、いきなり折りたたみナイフを突きつけられた。

??「動くな、首を切られなくなったら大人しく……
……って人間かよ」

どうやら人間である事がわかったのか、すぐに聖奈は解放された。
で、改めてその人物の顔を見ると、金髪にガングロの、いかにも「不良」な学生が居た。

聖奈「け、け、け、け、け、け、健治君！」

健治「どんだけ動揺してんだよ！「け」が多すぎだぞ6回も言ったぞ！」

聖奈「はあ？最後の「けんじくん」で7回だし馬鹿じゃないの？馬鹿なの？何なの？死ぬの？」

健治「……この野郎……」

この女、全力でぶち殺してえ・・・・・・・・と、健治は思った。

- - - - -

一方その頃、ドラえもんは。

ドラ「やつと出れたよ・・・・・・・・」

久々の登場で喜んでいる所でしたとき。

じゃあ、次はのび太の方を見に行きましょうか。

ドラ「って、ちよつ、待てゴラー！ツ！」

- - - - -

一方その頃、のび太は。

のび「よしよしよしよし、弾も拾ったし行くぜえーーーー」
何か良くわからないテンションになっていましたとき。

のび「ところで今何時よ？　ちなみに何で聞くなって言うと、読者に知らせる為ではなく自分の為」
思いっきり本音が出たな。

まあとにかく、今は7月29日の23時頃。

これで満足ですかのび太さん？

のび「・・・・・・・・・・殺すぞ」

つと、野蛮人は怖いねえ。

という訳でお邪魔かじり虫（古）はさっさと退散しますかな。

という訳で、
続く！

第5話　く何でデパートに手榴弾があるんだよーく（後書き）

健治は本家のびハザのオリキャラ。

今回は不良学生って事で強制的に登場させました。

勿論ギャラ無し。出演キャラ中3名にしかギャラ与えてませんから。
まだ出てませんがね。

2 / 183 文字。

第6話　く学校合流ーーーーッ！　踏み込めえ、フラットアウトーーーーッ！……く

サブタイトルの前半以外はネタ。

一応楠みちはる作・「湾岸MIDNIGHT」の5巻の文を抜き出して改良。

本当は「湾岸合流ーーーーッ！」です。

まあ結局本編には全くとっていいほど関係ありませんが。

何でもいいけど、自由自在先生って復活してたんですね。

知りませんけど。適当な理由付けてアカウント消した人なんか。

それでも一応「敬意（笑）」を示して「先生」付けてますが。

（追記：「初めて」とか書いてあるので、もしかしたら別人という可能性も……しかし、書いている物のジャンルや文章が似ているので同一人物と断定しています）

第6話　学校合流――ッ！　踏み込めえ、フラットアウト――ッ！――ッ！

さて……。

サブタイトルが完全にネタバレ且つバグってる件は置いて、ドラ&のびコンビを追走します。

いやね、筆者が「マジメにやらないと給料をマイナス値にするぞ」って脅迫してきたんで、今回はマジメに仕事しますよ。

何せ、自分^{ナレーション}は家族3人を支える一家の大黒柱で、今ココで給料がマイナスになったら離婚されるかもしれないんだ

筆者「くだらない事言っでないでさっさと仕事しろよ！！！！」

……ゴメンナサイ。

ドラ「チックショウ、何で交流したんだよ畜生！」

何か間違った事を言いつつ、ドラえもんは言った。

のび「知らねえよ！っつーか合流だよ！何だよ「交流」って！」

同じくらいの声量で、のび太も怒鳴り返す。

そう、この2人は逆方向から行ったハズなのに、どという訳か合流してしまったのだ。

てか……逆方向から行っても結局学校までの道は同じだから、合流するのも無理はない気がするんだけどね……。

そしてこの2人は現在思いつき敵に包囲されており、その為に2人は思いつき銃をぶっ放している、という訳だ。

やがて、両者とも弾が切れた。

しかし、両者の周りには死体だらけ（まあ元々死んでるけど）、だから突破口は切り開けていたのだ。

それでドラえもんは

ドラ「よし、じゃあ直流した事だし2人で永遠に幸せになれる場所に行こう！」

と、訳のわからない事を突然言い出した。そして

のび「だから合流だっつーの！何だよさっきっから電流みてえな事言いやがって！っつーかそんなトコは一人で行ってる！」

と、のび太は順々に突っ込んでいった。

まあそんな訳で、2人は学校へと走っていった。

- - - - -

今度は静香たち3人を追従します。

静香「よし、準備はいいか？ウジ虫ども！」

ジャイ&スネ「S i r , Y e s S i r ! !」

静香「誰だ？何処のクソだ！真っ先に死にたいヤツア誰だ!？」

ジャイ&スネ「S i r , Y e s S i r ! !」

あれからジャイ&スネコンビは色んな意味で静香に絶対服従するようになったらしい。

「出木杉&安雄 新コンビ結成!!」

こんな見出しのポスターを、何故か出木杉&安雄コンビは町中に貼り付けながら学校に向かっていった。

世間一般の常識人から見たら、間違いなく「意味あんのか？」って言われる事請け合いの光景である。

まあ、武器には困らない。

出木杉はともかく、安雄は手に入れたMGL140をぶっ放したくてたまらなさそうだ。

ちなみにMGL140ってのは軍用グレネードランチャー、略して軍ラン。

軍用なのに何故町中で手に入れられたのかはさておき、安雄のこの武器なら何が来ても間違いなく一撃で爆散させられる事請け合いだった。

勿論、弾があれば、の話。

安雄「で、肝心の弾がねえええええ!!
・・・ってオチなんだよな」

そう、安雄は爆発する弾を使う武器を手に入れてタミフル服用並みに狂って乱射しまくったのだ。

お陰で30発ほど被弾した出木杉は体中が真っ黒。道路にも黒色の

シミが出来まくっていたのだった。

それより、30発も被弾して生きていた出木杉の生命力にカンパイ。誰に？と言われたら、そりゃあもう……………うん、ね。

出木杉「思いつかなかったんだね……………」

グサツ！

……………

あまりにもグサツと来たんで場面転換。

今度は学校に潜伏……………じゃなかった学校の保健室に立てこもり……………でもない、滞在していた2人を監視もといチェック。

健治「クソつたれ、何でてめえみてえな女とこんなクソ狭^{せめ}えところに居なきゃなんねーんだよぶち殺すぞ畜生が」
流石不良、口調が非常に荒っぽい。

ちなみに、その「てめえみてえな女」とは、勿論聖奈のことである。

聖奈「いちいちうるさいなー、そんなに嫌ならさっさと外に出て喰われてくれれば？墓くらい作ってあげるから」

さっきからウンザリするほど文句を聞かされていた聖奈が、ウンザリしたようにそう言う。

すると健治は

健治「すみません、ごめんなさい、許してください、何でもします

んで、お願いします、聖奈様」

と、いきなり平謝りに出た。

まあ、幾ら聖奈でもこれくらいでは許すはずが……………

聖奈「いいだろう、許そう」

許すんかい！

と、そこでドアがいきなり開き、丸い何かが飛んできた。

勿論、それは……………

健治「！！ グレネード！！」

健治がそう叫び、2人が部屋の隅っこに転がり込んだ後、手榴弾は大爆発した。

煙が晴れ、外から静香の

静香「行け、行け、行け！ 突入だ突入！！」

という声が入ってきて、直後にジャイアンとスネ夫が銃口を部屋内に向けながら

ジャイ「動くんじゃねえ！！」

スネ「止まれ！動くな！ 動いたら額に穴を空ける！！ 今すぐ両手を挙げて出て来るんだ！！」

と、怒鳴った。次に静香が入り

静香「貴様らは包囲されている！ 大人しく両手を挙げて出て来い

！！ 早くしろ！！」

と、ジャイ&スネコンビより一回り大きい声で怒鳴った。

何でそこまでする必要があんだよ。

そう思いつつ、取り敢えず聖奈と健治の2人は両手を挙げて、その場に立った。

静香「何だ、人間か。敵かと思ったじゃねえかふざけんな」

いやいやいやいや、普通ゾンビは両手挙げないでしょ。

というか普通投げるのは炸裂（普通の）手榴弾じゃなくて閃光手榴弾だ。

ジャイ「という訳で自己紹介だ、俺は剛田 武、通称ジャイアンだ」
スネ「僕は骨川 スネ夫、よろしく」

静香「俺様は源 静香だ、俺様の命令に逆らうなら容赦なく射殺しようかと思ったけど、初対面って事で免除してやる」

3人が自己紹介すると、聖奈たち2人も

聖奈「私はこの学校の生徒会長の緑川 聖奈です、まあこんな非常時には関係ないですけど」

健治「俺あ健治、おうが翁雅健治だ、ナイフくらいは持つてるからよろしくな」

と、自己紹介をした。

そこへまたドアがガラガラと開き、
ドラ「おっちゃん、醤油ラーメン一つ！」
のび「てめえはラーメン屋の常連客か！」
と、訳のわからない事を言うドラえもんのにのび太が突っ込みつつ入ってきた。

健治「何だこのフザケた2人は」

静香「おお、ドラえもんのび太！生きてたか、よかった！ 丁度いい自己紹介しよ………」

続いて、ドラえもんを蹴飛ばしつつ出木杉と安雄が入ってきた。

安雄「あれ？今何か蹴飛ばしたようn……グバァ！」

跳ね返って戻ってきたドラえもんの頭が、安雄の腹にクリーンヒット。

そして安雄はゲロを吐きながら保健室外に追い出された。

何だかんだあったが結局この場にいる全員、9人は互いにジコシヨー貝……もとい自己紹介をした。

ちなみにジコシヨー貝はドラえもんの秘密道具。詳しくは原作読め。何巻かは忘れたけどね。

取り敢えず全員が揃ったところで、
続く！

第6話　学校合流ーッ！　踏み込めえ、フラットアウトーッ！ーッ！

何かもう色々とメチャクチャ。

ちなみにナレーションにはこの後ちゃんと給料をあげました。

30万円。ちなみに自分の家族の給料も30万円。でも所得税で引かれるから実質25万。

所得税とかいらねーだろ普通。何で給料から勝手に持ってくんだ畜生。

ちなみに途中で静香たちが歌ってた曲はTHE 歩兵2のテーマソング。

知らない人は検索よろしく。

いやね、歌詞書くのはダメだって事でね・・・。

2日目には念願の”あの”キャラを出せるぞ

さあ、誰でしょう？w（前バージョンでは出そうと思ってたけど出せなかったキャラです）

今回はナレーションがマジメに働いてくれた影響か意外と文字数が多く、

2,938文字。

第7話　くアレ？この展開って確実にオチが読めねえ？（前書き）

サブタイトルがこの話の90%を語っている。
暗号的な意味で。

読者数200人突破記念日。

第7話　くアレ？この展開って確実にオチが読めねえ？

給料増えたぞヒヤッホイｗｗｗｗ

（意味がわからない人は前話の後書きを読むと幸せになれるそうです　by筆者）

ここは保健室・・・今は29日23時20分。

のび「じゃあ全員揃った事だし、これからどうするよ？」
全員揃ってから、初めて口を開いたのはのび太。

聖奈「幾らなんでも遅いから、寝ませんか？」

少なくともこの中では多分一番の常識人だと思われる聖奈がそう言う。

だがしかし
駄菓子菓子、スネ夫が

スネ「いやいや待って、まず探索かご飯でしょ」
と言うのも、静香が

静香「探索したいなら一人で行って来い、腹が減ったんなら自分の肉でも食ってる・・・無いだらうけどな」

イヤミを込めて言った。

スネ「・・・・・・・・・・・・・・・・ゴメンナサイ」

静香「とにかくココじゃ狭すぎるから3年の教室に行こう、と言っても階はココだから布団を持っていくだけだが・・・・・・・・・・布団運びをしたくない者、死の覚悟があるのなら前に出て来い」

脅迫を含みつつ、静香は言った。

勿論、ここにいる全員は死にたくないなので素直に従うしかなかった。

とにかく、9人（静香もちちゃんと参加した）は3・2の教室へと布団を運んだ。

静香「机が邪魔だな、よしジャイアン、お前の分持つといてやるから机を下げてくれ、あと教卓もよろしく」

ジャイ「Sir, Yes Sir!!」

言われたとおりにジャイアンは机と教卓を後ろに動かし、それからスネ夫以外の分の布団を持って代わりに敷いてあげた。

静香「君は実に気が利く、スネ夫みたいな卑猥極まりないドヘンタイ野郎と一緒にいるなんて勿体無いし俺様と組まないか？」

ジャイ「あー、その………考えさせてください」

静香に誉められ、新コンビ結成の話を持ちかけられたが、ジャイアンは丁重にお断りした。

静香「よし、寝ようか、ちなみに何故こんなに早い展開なのかと言うとただ単純に筆者が「新キャラ出したい！」って言うててな」

安雄「あいつ馬鹿だね、んなコトしたら展開早すぎて話数減ってたでさえ少ない読者が更に少なくなつて以下略」

しかし、突然スネ夫が机を動かし、ドアの左右に設置した。

と思うと、机の裏に手榴弾をくっ付け、そのピンにワイヤー（という名のただの紐）をくくり付けた。

まあつまりどんな風にしたかというと、こんな感じである。

> i 2 9 2 8 3 — 1 6 2 4 <

画像の使い回しとか言わない。

というか微妙に修正してるから厳密には「使い回し」ではない。

ドラ「屁理屈ばっか捏ねてねえで話進めろよ」

Sir , Yes Sir!!

スネ「オチが読めるんだよマジで、こうしとけば連中に入られても爆散させられるし、何より起きれるからいいだろ」

珍しくというかココに来て初めて役に立ったスネ夫。

まあ、ジャイアンの方がよっぽど役に立ってるから、賞賛する者は誰一人として居なかったが。

という訳で、「スネ夫が作った罫なんて大丈夫か？」と不信感を抱きつつも、9人は寝た。

ちなみに電気を消したのは勿論ジャイアン。最近役に立ってるね。

という訳で、続く！

- - - - -

次話に行くと思ったか？この話はまだまだ続くんだよ！
だってこのまま終わったら文字数が1、200ちょいしか無いんだ
もん。

という訳で30日の朝3時。という訳かは聞かない。

静香「チックシヨウ、スネ夫！てめえ後で覚えとけよな！！」

スネ「だって紐が緩んでるなんてオチ想定外だよ！！」

ジャイ「うるせえ黙れ！！ いいから撃て！！」

何があつたかを簡潔に説明してやろう、俺は優しいか」

筆者「オーケー、ナレーション給料カットな」

ちょ、ごめんなさいごめんなさいごめんなさい！！ちゃんと説明し
ますから！！

ナレーションと筆者が給料争い（仮名）を始めちゃったので、ココ
からは代理で説明役が説明します。

まあ、普通「説明役」だから説明するんだけど・・・。

朝2時半ごろ、ゾンビが入ってくる

紐に下半身が引っかかる

しかし何と結びつけが甘く、そのままほどけてしまう

当然手榴弾は爆発しない

そして聖奈にゾンビが接近

タイミングよく聖奈がトイレの為に起きる

ゾンビを見た聖奈がこの世のものとは思えない悲鳴を上げる

その悲鳴でゾンビの鼓膜が破れ即死（元々死んでるけど）

そしてその悲鳴でゾンビが死んだと共に全員が起きる

戦闘開始

今ココ

ドラ「くそ、弾がないのに何でこんな目に・・・！」

のび「弾がないならさっきジャイアンがくれたナイフでも使えよ！」

ドラ&のびコンビはそう怒鳴っているが、それを上回る音量で爆発音が鳴り響く。

勿論、静香のRPG-7の為だ。

その強い爆風で、ついでに手榴弾も爆発したが。

かくして、壮絶な2日目が始まったのであった。

まあ、こんなのは序の口。これからはずっと壮絶になるぞ

そういう訳で、今度こそ

続く！

第7話　くアレ？この展開って確実にオチが読めねえ？（後書き）

次回から後書きでキャラ紹介を始めます。

前回とは打って変わって、1'914文字。

第8話 ｝ S i r , Y e s S i r ! ! ｝ (前書き)

サブタイトルは即効で思いつき。

第8話　　Sir、Yes Sir!!

筆者「という訳で、今日から2日目って事で新しい章だからよろしく」

ナレ&説明「Sir、Yes Sir!!」

筆者「何かいつもとノリがおかしくね？」

ナレ&説明「Sir、Yes Sir!!」

以上、小説を始める前の会議っぽい何か(仮)の一部。

- - - - -

静香「よし、敵も殲滅し終わったし、チーム分けをしようか」

8人「Sir、Yes Sir!!」

静香「よし、いい返事だ、よく聞け、今からチームを発表する」

8人「Sir、Yes Sir!!」

静香「まず3人1チームとして考え、合計3チーム作る。ココまでいいな？」

8人「Sir、Yes Sir!!」

静香「で、だ、まずのび太は射撃が得意って事で、ヘタクソなドラえもと健治と一緒になってもらっ。これで1チーム目だ、いいな？」

ドラえもんたち「Sir, Yes Sir!!」

静香「次、ドヘンタイのスネ夫と一緒にしてすまないが、安雄と出木杉よろしくな」

スネ夫たち「Sir, Yes Sir!!」

静香「残りの俺、ジャイアン、聖奈で3チーム完成だ。文句はないな？」

8人「Sir, Yes Sir!!」

静香「よし！次はチーム毎の分担を言う。よく聞け、ドラえもんたちは外の探索に当たれ、いいな？」

ドラえもんたち「Sir, Yes Sir!!」

静香「次にスネ夫どもは南校舎を探索しろ。俺らは北校舎を探索する、文句は無いな？」

8人「Sir, Yes Sir!!」

静香「よし！それでは行動開始だ！！ 行け！！」

8人「Sir, Yes Sir!!」

ココまでの静香の言った事を簡単にまとめよう。

ドラえもん&のび太&健治チームは外に出て脱出法を探索。

スネ夫&安雄&出木杉チームは南校舎（保健室がある校舎）を探索。

静香&ジャイアン&聖奈チームは北校舎（理科室音楽室etcがある校舎）を探索。

各人、無線機を持っている。何か脱出の手掛かりを見つけたら、無線機で知らせることだ。

で、武器。

ドラえもん・・・ナイフ、ベレッタM9（15／85）
のび太・・・ナイフ、ベレッタM9（15／185）、MP5A5
（30／120）
静香・・・ナイフ、ベレッタM9（15／15）、RPG-7（1
／500）
スネ夫・・・ナイフ、ベレッタM9（15／0）
ジャイアン・・・ナイフ、ベレッタM9（15／105）、スコ
ピオン（50／200）
安雄・・・ナイフ、ベレッタM9（15／35）、MGL140（
6／12）
出木杉・・・ナイフ、ベレッタM9（15／85）、モスバーグ5

90K(10/40)

聖奈・・・ナイフ、ベレッタM9(15/25)

健治・・・折りたたみナイフ、ベレッタM9(15/15)

カッコ内は(装弾数/予備弾数)な事に留意。

そしてスネ夫の予備弾がゼロな事は気にしない。

まあスネ夫は馬鹿だから簡単には死なないって事で。

筆者も馬鹿だから簡単には死なないと思うよ。

まあそれで、9人は行動を開始した。

今回も次回も多分ドラえもんチームを追跡すると思うよ。あはは。

ちなみに何故こんな適当な事を言ってるかというと、単純に筆者が

「適当にやつとけb」って言うてきたから・・・。

だから、自分^{ナレーション}は「Sir, Yes Sir!!」って答えといったし、やらないと給料無くなるからね・・・。

(きっと、ナレーションは間違いなく泣きを見る結果になるだろう。by説明役)

- - - - -

Sir, Yes Sir!!

という訳で、ドラえもんチームを追跡します。

わざわざ高い金出して衛星まで使ってるんだから、ヘタな事すると筆者に首飛ばされそうだからね。

文字通り。だって給料は筆者の金だから。

ドラ「もうそういう話どうでもいいよ、それよりこれからどうする？」

のび「取り敢えず、歩いて町の外まで行ってみないか？それでドラえもんが言ったように壁があったらマジメに探索しよう」

健治「てめえらはマジメに探索する気があんのか!!」

ドラ&のび「黙れ!!」

健治「Sir, Yes Sir!!」

全くもってよくわからん会話をしているのん気な3人であった。

取り敢えず、筆者が疲れと眠気で倒れそうだから、終わらせます。

続く!

第8話 〈Sir, Yes Sir!!〉（後書き）

「Sir, Yes Sir!!」使用回数13回（サブタイトル含めて14回）。

・ 主役キャラ紹介（1 / 12）

ドラえもん

年齢： -（マイナス）101歳（2011年から概算）

今回の事件の発端の4割はこいつのせい。

（のび太の言動が）非常事態に陥った為、言動システム（仮）がバグり、言動が壊れてしまった。

学校に行く途中ではボケキャラだったが、これからは・・・もしかしたら変わるかもしれないんだけどよくわからない。

1,656文字。ダルイからもう寝る。

第9話 〽軽トラックでGO!〽（前書き）

悪いな、今朝から頭が妙なんだ・・・。
頭痛的な意味で。

サブタイトルは適当。
電車でGO!のパクリ。

第9話　く軽トラックでGOー！

前回告知した通り、今回もドラえもんチームを追跡します。

ドラ「まあ筆者は今更後悔してるらしいがな」

知りませんよ、こっちは給料貰えればそれでいいんですから。

のび「じゃあ、まず歩いて町の外まで行ってみようか」

ドラ「そうしよう、そうしよう、双子葉類^{そうつしやう}」

のび「ごめん、そのネタもう飽きた」

ドラ「・・・・・・・・・・。」

とにかく、一行は歩いて町の外まで歩いていった。

ドラえもんは運転ぐらい出来るから（超ドヘタクソだけど）、車で
行けばいいのにな。。。

のび「ドラえもんの運転ってそんなにヘタクソなのか？」

まあ、それは後々嫌ってほども思い知らされるから安心しな

のび「・・・・・・・・・・。」

健治「・・・・・・・・・・。」

歩いて、歩いて、歩いて、歩き倒して、歩き殴って、歩き待って、
歩き飽きた頃には町の外まで来ていた。

ドラ「まあ……………うん、」
のび「何というか……………ね、」
健治「予想通りのオチだな……………」

目の前には高さ20m程度の高い壁があった。

もつとも、見える部分で20mだから、上には見えない壁か何かがあるのだろう。

だって20mっていったらドラえもんなら楽々飛び越せるし、ね。

ドラ「仕方ない、静香に殴られるだろうけど学校の3年1組の教室を本拠地としよう」

ドラえもんが言った。ちなみに昨日寝たのは3年2組。お忘れかな？

健治「じゃ俺は学校内の防衛に当たろう、チーム内での仕事分担って奴だ」

続けて健治が言った。

のび「じゃ俺はドラえもんと外を探索するよ、何かあったら教えてクレヨンしんちゃん」

のび太が言った……………が……………。

ドラ「……………」

健治「……………」

ナレ「……………」

説明「……………」

・ ・ ・ ・ ・
筆者「 ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・
」

ドラ「本^{ブック}が海に落ちちゃったー！！ ブック、ブック・ ・ ・ ・ ・
」

のび「 ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・
」
健治「 ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・
」
ナレ「 ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・
」
説明「 ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・
」
筆者「 ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・
」

健治「ガムが手に付いてベーターベントするー！！」

のび「50点ってトコだな」
ドラ「ああ、10点中50点だ」

ドラ「何言ってんだよ、てめえ俺の道具を使って庭でミニカーぶっ飛ばした事あんだろ」

のび「ああ……そんな事もあったね、つかアレ元々パパの為にやったから別に俺が運転したかった訳じゃないんだk」

ドラ「いいからシートベルトをしろ！！！！！」

いつまで経ってもくっちゃべり続け、いつまで経ってもシートベルトをしないのび太に業を煮やし、ドラえもんは怒鳴った。

それで仕方なくのび太はシートベルトをした。

ドラ「いいか、これからまず小羽急デパートに突っ込む、次にお前は中から冷蔵庫とか電子レンジとか携帯ガスコンロとか持ってこいのび「え、ちょ、突っ込む？」

ドラ「次に食料だ、食料をショッピングカート一杯に詰め込んで来い、飲み物も忘れるなよ」

のび「えっと……とにかく日用品と食料飲み物を拾ってこいと？」

ドラ「そうだ！わかったら行くぞ、掴まってるよ！車から振り落とされても知らねえぞ」

そう言ってドラえもんは軽トラを発進させた。

アクセルベタ踏みで。

加速してから約5秒、速度計は約75km/hを指しており、案外加速するモンだった。

速度計の誤差を5%としても最低70km/h最高78km/hは出てる。

途中でゾンビをはね飛ばしながら、小羽急デパートの50m位前に来た。

道中、のび太は気絶したが。

そののび太を、ドラえもんは叩き起こす。

ドラ「おい、生きてるか？」

のび「生きてるか？」じゃねえよ死ぬかと思ったわボケえ！」

ドラ「甘いな、これからデパートの入り口に特攻する、歯ア食いしばれエ!!」

言い終わると同時にドラえもんはまたアクセセルを全開にした。

前輪が一瞬空転し、白煙がその場を漂い、道路には黒いタイヤ痕が残っていた。

[illegible]

ドラ「うるせえな、黙ってる！」

絶叫するのび太をドラえもんが黙らせたと同時に、物凄い衝撃が車内を襲った。

入り口は元から（静香が燃やしたせいで）粉々だったが、そのせいで車が止まらずに実速約100km/hほどの速度で店内の倒れた棚に突っ込んだ為である。

そしてドラえもんは少し車をバックさせた。そのままだと中に入るのに極めて不都合だからである。

のび「ひい、ひい、ひい、死ぬかと思った、っつーか殺されるかと思った」

ドラ「黙って行け！仕方ないから俺は冷蔵庫とかの重い日用品を運んでくる、てめえは軽い日用品と食料飲み物その他を奪還してこい！」

のび「奪還つて元々俺らのじゃないから違くない？」

ドラ「黙れ！」

「のびのび……はい」

のび太は（エレベーターが故障していたので）階段を駆け上がりながら、まず日用品売り場へ行った。

のび「えつと扇風機、ノートパソコン、ラジオ、リュックに筆記用具数十本・・・何でこんなに散乱してんだ？」

適当に拾い集めつつ、のび太はあるモノに目が留まった。

それは・・・・・・・・・・

のび「カラオケセット！　よしこいつも持っていこう、今夜は楽しくなるぜ！！」

テンションが上がったのび太は、ついでに（「日用品を持ったまま」食料売り場へと突っ走り、（何故こんなに散乱してるのかと疑問に思いながらも）食料飲み物その他を拾い集め、軽トラに戻っていった。

既に戻っていたドラえもんは

ドラ「遅かったな、まあいい、さっさと荷台にブツを積み込め」と言い、そのままのび太は荷台に拾い集めてきたブツを置いた。

そしてドラえもんは布を被せ紐で固定し落下しないようにしてから、ドラ「よし、次は学校に置いてくるぞ・・・・・・・・乗れ！」

とのび太に言った。

もはや何も言う気がしなくなったのび太は、黙って車に乗り込んだ。

- - - - -

その頃、健治は。

静香「・・・・・・・・・・大体貴様はだな、不良の癖にあんなガキ
どもの言いなりになる時点だな・・・・・・・・」

健治「・・・・・・・・・・ゴメンナサイ」

静香に説教されている所でしたとき。

続く！

第9話　く軽トラックでGOーく（後書き）

色々ネタだらけ。

途中のドラえもののレベルの低いシャレは、「ドラえもん　なぜなに探検隊」Dマンのアレからもろパクってます。

・主役キャラ紹介　（2　／　12）

野比　のび太

年齢：リアルタイムで初登場から30年経った今でも10才

今回の事件の発端の2割5分はこいつのせい。残りの4割5分はアンブレラのせい。

色々貧弱だがこの小説ではスネ夫よりはタフな設定。でもそれでも全キャラ中では弱め。

何故か射撃の腕は高く、命中率は90%を超す水準という素晴らしさ。あやとり？そんなのこんな非常時に役に立つと本気で思っている？

今回は意外にも文字数が多く、3　／　150文字。

第10話 くダジャレの超特急列車く（前書き）

記念すべき初2桁話数。

内容としては新キャラが1人出るだけ。
って、ネタバレだった。

第10話 くダジャレの超特急列車く

前回言い忘れたけど、今は7月30日の朝5時半。

リアルタイムで書き始めた時間は8月17日の早朝2時。

前回、小羽急デパートに車ごと突っ込んだお陰で軽トラのライトは壊れているが、一応ギリギリ目視出来る明るさなので問題は無い。まあ、通常時だったら整備不良で免許の点引かれるけどね……。非常時だしこの際関係ないって事で。

ちなみに今はドラえもんチームを追尾。

のび「誰も電話にでんわ！」

ドラ「……………」

のび「魚が「うおっ、寝過ぎした！」と言っ！」

ドラ「……………」

のび「言い訳はいいわけ？」

ドラ「……………」

のび「紙のサイズはA4でえーよん！」

ドラ「……………」

のび「電球を替えてくれて、でんきゅうべりーまっち！」

ドラ・

のび「盲腸なのに「もう、腸がないね」と言われた！」
もうちよう

「ド」

のび「これはジョーカーでしょーか？」

ド「リ」

のび「今日のメインディッシュはボックスティッシュ！」

[illegible]

のび「^{うち}うちは6月の内は団扇を使わない^{うちわ}内訳^{うちわけ}なんだ！」

ドラ「……………」
 ……あのださあ」

のび「ペットがペットボトルを拾ってきた！」

ドラ「お前それいい加減にしろよ!!!!!!!!!!!!!!」

こっち

運転に集中してんだから黙ってるよ!!!!!!!!!!」

のび太のウザイ位寒いダジャレに業を煮やしたドラえもんが、遂に
ブチギレて怒鳴る。

しかし、のび太は動じず

のび「雷サンダーの実験は危険だからゆるサンダー！」

のび「ボストンの道にボスつと落ちてトーンと飛んだ！」

のび「ジャムおじさんがジャムおじさんを持参！」

のび「脚立が勝手に立って、「キヤーツ！脚立が立った！」！」

のび「姉が「まあね」と言った！」

のび「軽いトラを軽トラトラックに載せる！」

のび「兄が「なあに？」と言った！」

のび「進研ゼミしんけんの課題に真剣に取り組む！」

のび「家庭教師を雇う過程かてい！」

のび「「旋風せんぶう」と言う名の扇風機！」

のび「ちよつとダサイC(yottto)D(assai)ケース！」

のび「クロレッツのガムの色は黒クロレッツですか？」

のび「花瓶の長さはM4カービンカービンと同程度だ！」

のび「リ　ンゴに藻もが生えてるぞこんの野郎！」

と、永遠と言いつけた。

それでドラえもんはとうとうのび太の耳元で

ドラ「うるせえつつつてんだよ!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

!!!!!!!!!!!!!!」

と、怒鳴った。

それに対し、のび太は・・・・・・・・・・。

のび「ちょ、今まだ朝の5時半だよ？幾ら車内だからって窓開けてんだから声でかすぎだよ」

理不尽極まりない言動だ。

てか、最後のダジャレは全然違うし。

ちなみに、意味がわからない人は筆者にメッセージを送れば答えてくれるらしい。

信頼性は限りなく0ゼロに近いが。

ドラ「ふう〜、つつーか上のダジャレの連チャンでもう1／200文字超えてんじゃないやねえかふざけんな」

のび「当たり前だろ、文字稼ぎが目当てだったんだから」

ドラ「・・・・・・・・・・・・・・・・・・。」

ナレ「・・・・・・・・・・・・・・・・・・。」

説明「・・・・・・・・・・・・・・・・・・。」

筆者「・・・・・・・・・・・・・・・・・・。」

取り敢えず筆者にとっては嬉しい事に違いは無いだろう。

ドラ「てか、これからどうすんだよ？取り敢えず学校の3年1組に荷物を置きにいくけど」

のび「まあ、そういうのはまず目前の問題を解決してから考えようぜ？とにかく学校に行こう！」

ドラ「テレビ番組？」

のび「そんなつもりねえよ！」

とにかく、軽トラを学校に爆走させた。

主語は「ドラえもん」。かな？

ドラ「素直に「ドラえもんは軽トラを学校に向かって爆走させた」って言えば」

まあ気にしない。

- - - - -

ドラ&のびコンビが学校に入ったとほぼ同タイミングで、ある者が3-1の教室から出ようとしていた。

？「よし……………行くぞ！！」

そしてまさにその人物が3-1の教室のドアを開けようとした瞬間、勝手に3-1の教室のドアが開いた。

？「What!？」

そして入ってきたのはメガネのチビと青ダヌキ。
それぞれ手に日用品や家具を持っている。

ドラ「どけどけえ！！ 特攻野郎共のお通りだあ！！」
のび「てめえは何処のAチームだ！！」

言いながら中の人物を殴り倒して、机を燃やして3 - 1の教室を占拠した。

机燃やすとか環境破壊だろ・・・。
え？突っ込む所が違う？

そして一通り荷物を配置し終えた後、倒れている人物を引き上げて叩き起こした。

そうそう、軽トラは校庭の昇降口付近に駐車してあるぞ。

その人物は、何処か聖奈に似ていた。まあ、まだ10才にも満たなさそーな男子だったが。

ドラ「おい貴様、てめえは今から俺、更に言えば俺の上に立つ静香様の手下だ、わかったな？」
第一声がそれかい。

のび「貴様、便所に詰まったクソのように下劣で、卑猥極まりないメス豚から付けられた卑劣極まりない名前を言ってみろ！！」・・・
って静香さんが言ってた」

のび太がそう言つと、人物は
聖夜「俺様の名は緑川聖夜だ！貴様ら、姉の聖奈は何処に居る？今すぐ言え！」

のび太に銃を突きつけながら言った。

勿論、引き金に指をかけて。突きつけてる場所は勿論額だ。

おいおいおいおい、そこまでする必要無いだろ。

ドラ「えつとーこの無線機でその聖奈とかいう卑劣極まりない名前を持った女と話せるよ」

そう言つてドラえもんは聖夜に無線機を押し付けた。

聖夜「おい貴様！！ てめえ今何処に居るんですか？」

聖奈『うるせえな、私はなあてめえみてえな下劣な弟に構つてる暇は無いんだよ！わかつたら私は切る！』

ブツッ

聖夜「クソツタレめ、あの女ぶち殺してやろうか・・・・・・・・」

ドラ「つつーかお前らそれでも姉弟か」

のび「つつーかお前普通「てめえ」と敬語は組み合わせねえよ」

各人、様々な反応を見せた。

のび太でさえ上から口調。まあ年下だししょうがないかもね。

ドラ「さて、お前面倒だから聖奈んトコ行つてろ、多分今頃音楽室かそこらに居ると思う」

聖夜「お前なんでわかるんだよ」

ドラ「うるせえ黙れ！いいから行け！」

無理矢理黙らされた聖夜は、

聖夜「チクシヨウ貴様らみんな死んじまえ！」

と、泣き言を言いながら猛ダッシュで3・1の教室から出て行った。

ドラ「ああいうセリフ言うキャラって大概死に要員じゃね？」

ドラえもんは呟いた。

そこで、のび太はこう言った。

のび「そんな事よりカラオケしようぜ！……！……！……！……！」

続く！

第10話 くダジャレの超特急列車（後書き）

カラオケの話は多分音符だけになると思います。
というか、なります。確定です。

・ 主役キャラ紹介 （3 / 12）

源 静香

年齢：リアルタイムで30年経った（ry 10才
普段はおしとやかな女の子だが、非常事態と言つ事で思いつき裏
が出てしまっている。

スネ夫・ジャイアンは元より、今まで出てきたキャラを威圧で強制的に従わせるほど凶悪。

ジャイアンを一番の部下とし、新コンビ結成の話を持ちかけるが断られた。

2,923文字。

第11話 くそんな事よりカラオケしようぜ！ーく（前書き）

前回のラストと繋いで見るテスト（仮）。

言い忘れましたが、聖夜は別に偵察員じゃありません。
ただのネタキャラ要員です。

え？それでも十分酷いだろうって？

のび「意味がわかんねえけど大丈夫だ、筆者は「音符だけで表現する」つつつてたから」

言いながらのび太はテレビにカラオケセットを繋いだ。

ちなみに今の配置はどんな感じかって言うと、こんな感じである。

> i 2 9 4 0 8 — 1 6 2 4 <

またまた使い回しとか言わない。

というか左側は結構改変してる。右側？そんなの改変するとか都市伝説でしょ？

ドラ「出た筆者が昔使ってた奴………つつーかお前毘も仕掛けたのかよ」

のび「いいじゃん別に、壊れた高射砲以下の肥溜め野郎@スネ夫なんかと違ってちゃんとピンに紐くくり付けたし」

何かどんどんスネ夫のあだ名が酷くなってくるな。

まあ別に構わないけど。

ドラ「つつーか何でIMEだと「こうしゃほう」一発変換で出るのにPSPのソフトキーボードだと出ないの？」

のび「知らねえよ！いいから早速歌おうぜ」

ドラ「大体「ソフトキーボード」ってどう略すべきだ？「ソフキー」なんて何か間の抜けた略し方だし、だからといって「ソフボード」だと5文字で読み辛いs」

のび「いいから黙って聞いてろよ！！！！！！！！」

前回、のび太がシートベルトをしないが為にドラえもんが怒鳴ったように、今回は逆のパターンになった。

感嘆符が多い……まあ簡単に言えば「！」が前より多いのは仕様。

ドラ&のび「それ、やめて」

・・・・・・・・・・。

と、とにかく、のび太は適当に曲を選んで歌い出した。

のび「曲はまあ、まずはバンプの天体観測でも歌いますか」

（ああ、歌詞を載せたいなあ・・・ by 筆者）
上で何か筆者がボヤいてるけどガン無視って事で。

のび「~~~~~」

気になる結果は・・・・・・・・・・
ジャカジャン！
50万円！
んゝ残念！

ドラ「出張お宝探偵団か！つつーか50万で残念ってどういう事だよ！」

ナイスノリ突っ込み！

まあ冗談は程々にして、結果は・・・・・・・・96点！

ドラ「おおゝ、んじゃ俺様もやりますかな」

のび太の手から半ば奪い取るようにマイクを取ったドラえもんは、
ドラ「んじゃー、俺はミスチルの箒星を歌おう」

ジャイ「っつーかさー、さっきみたいに弟に怒鳴り散らすのアリ？」
突然ジャイアンが、先ほど手に入れたステアー AUGA1を手に
持ちながら言った。

聖奈「あ？うるせえなてめえらみてえに弟持ってない奴らに私の苦
労はわかんねえんだよ！」

ジャイ「俺だつて妹くらい持つてるわア！」

聖奈「あ？妹と弟は全然違うわボケえ！」

静香「2人とも黙らんかア！！！！！！！」

ジャイ&聖奈「・・・・・・・・・・・・・・・・ごめんなさい」

静香に一喝され、2人は黙った。

と、突然聖奈がこつち・・・というかジャイアンと静香の方を一瞬
向いて、すぐに前を向き直し走り始めた。

ジャイ「何がしたいんだあのクソツタレは」

静香「まあ放つとけ、死んだらゾンビのエサにするだけだ」

静香のこのセリフに、ジャイアンは小声で

ジャイ「ボソボソツ（最低だなこの女、まあスネ夫よりはマシだけ
ど）」

と言った。

静香「あ？何か言ったか？」

ジャイ「いえ、何でもありません」

- - - - -

健治「てめえら俺を殺す気か！！！！！！」

視点は戻ってドラ&のびチーム。

さっきいきなり入ってきていきなり罠に引っかかっていきなり爆風で飛ばされたのは何と健治であった。

で、体中ズタボロの姿で健治はドラ&のびコンビに向けて怒鳴った。

のび「てめえ今ドラえもん様が歌ってたんだぞ邪魔すんなボケえ！」
ドラ「・・・・・・・・・・・・・・・・」

のび「ほら！ドラえもん様がorzな事になってんだぞ謝れよ早く！」

ドラ「・・・・・・・・・・・・・・・・」

のび「おいてめえ聞いてんのか！！」

健治「・・・・・・・・・・」

バタッ

のび「あ、死んだ」

ドラ「取り敢えず、あれだ、埋めに行こう」

のび「いいねー、っつーかお前いつの間に生き返った」

この後、健治は裏庭に埋葬された。

しかしこの時2人は気づかなかった。
そして、後悔した。

健治の安否確認を怠った事に・・・そして、射殺しておくべきだったと。

まあ結局なんでもないけど。
後でどうせ死ぬんだし、ね。

のび「さて、日も昇ってきたし（現在時刻30日7時半）、本格的に外の探索に当たるか」
ドラ「よし、決まりだな」

色々不安だが、
続く！

第11話 くそんな事よりカラオケしようぜ！〜（後書き）

健治は本来主役キャラでしたが、色々ダルいキャラなので急遽チェンジ。

代理で無理のない？のとある人からまた抜擢しました。

それで主役は12人と変わらないので大丈夫。

大事なのは中身じゃなくて数。質より量。

2人死ぬより1人死ぬ方がまだいい。

その死んだ方が優秀で、生きてる方が無能でもいい。

まあこの場合「放つとけば1人死ぬだけですむが、助けようとしたらもつと死ぬ」というシチュエーションだとその1人を見殺しする事になるけど。

それでいいんじゃないすか、実際？

・主役キャラ紹介（4 / 12）

骨川 スネ夫

年齢：リアルタイムで30年（ry 10才

普段は金持ちという事でジャイアンと幅を効かせていたが、非常事態に陥った為立場が逆転した。

「下劣な軟弱野郎」だの「真冬の蚊取り線香」だの「ドヘンタイ」だの呼ばれるちよつと可哀想（笑）なキャラ。
しかし絶対に死なないキャラでもある。

2,760文字。

第12話　くドラゲノフは超精密射撃用じゃないんだよ！く（前書き）

そろそろ残りの2人を出さないといけない気がしてきたので、今回からちよいと展開が早くなります。

振り落とされないようにしがみ付いて行っして下さい。

もつとも残り6話以内に出せばいい話ですが。

キャラ紹介の都合で。

見切り発車で一人出します。

・・・サブタイトルと併せれば誰が出るかモロバレですね（笑）。

ちなみにドラゲノフはそこまで精度が高くないそうです。

というより、ソ（ビエト）連（邦）の武器はどれも安定してるけど精度とかは低いとか。

超精密射撃ならやっぱりボルトアクションが堅実でしょう。

PSG-1？一挺\$7,000もする武器が使えるとでも？

今回、視点がコロコロ変わるのでご注意。

12回くらい変わります。

第12話　くドラゲノフは超精密射撃用じゃないんだよ！く

ドラ&のびコンビが健治を埋めて外に飛び出した丁度その頃、のび太の家から0.2km(≒200m)ほど離れたボロアパート「田中荘」で何者かが何やら呟いていた。

？「さて、ハンターも解放したし次は……ん、向こうの家に居るのは、確かさっきの書類に……うん、捕獲対象ね」

勿論、「向こうの家」とは……

- - - - -

ドラ「……で、何で俺らは外の探索をする予定がこんなトコに来てんだ？」

ココはのび太の家。もともと、表札はドラえもんの手により「ドラちゃんハウス」という表札にすり替えられているが。

のび「だってさ、今雨だよ？このまま行ったらびちゃびちゃになるから雨宿りに甘屋鳥あまやどりを飛ばしつつ雨が止むのを待ってるんじゃない」そう、今は朝8時なのだが、7時40分頃から雨が降り始めて、その時丁度のび太の家があったので雨宿りの為突撃したという訳だ。ちなみに、その「甘屋鳥」とは……

ドラ「だったら玄関にある傘をさして行けばいいじゃねえか！つつーか甘屋鳥ってただ折り鶴の顔にってる坊主の顔書いただけじゃない！」

そう、ドラえもんが説明したように思いつきり手抜き品の品なのだ。ちなみに「甘屋鳥」は実在しない(そういう名前の店は存在するか

もしれないが)。

ちなみに今は居間に居る。いや、シャレではないが、何故か窓を全開にしているのだ。

ドラ「てか、何で窓全開なの？ねえ、居間の1/4がびちゃびちゃなんだけど」

のび「だって俺、雨好きだもん」

ドラ「だからって窓開けっ放しはどうかと思うよ？っーか俺は嫌いだよ！」

その時、銃弾が勢い良く畳に着弾する音が、ドラえもんのび太を仰天させた。

ドラ&のび「What's fuck!？」

その後も1分くらい銃弾が着弾する音が続いたが(時折りロードの為に途切れるが)、突然止まった。

のび「何なんだ一体」

- - - - -

場所変わって田中荘。

さっきの者が、銃口を下に下ろして呟いた。

？「・・・、信じらんない。全弾外れ・・・整備不良もいいトコだわ」

そして、暫く経った後にもう一度銃口を向けて、

？「・・・さあ、どうする子供達？ 逃がしはしないわよ・・・！」
と、言った。

- - - - -

場所は戻つてのび太の家。

のび太から連絡を受け、今は居間にドラえもん・のび太・出木杉・
安雄の4人が居る。

え？いや、だからシャレじゃないって。

出木杉「ふむ、この距離だと多分あの「田中荘」から撃ってきてる
みたいだね」

出木杉が言う。

ちなみに援軍2人が来た後も窓は開けっ放し。何故なら先ほどの人
物が誤って窓のレールに銃弾を当ててしまい（しかも4発も）窓が
外れてしまったからである。

のび「なあ、何か寒くないか？」

ドラ「当たり前だよ！窓が無いんだから」

安雄「これからどうする？取り敢えず俺の帽子とか玄関にあった傘
とか置いてみたけど」

出木杉「でも相当銃が悪いのか下手なのか、全然当たってないね」

のび「前者ならともかく、後者なら色んな意味で安心だな」

ドラ「何で？」

のび「どんな銃使っても当たらないから」

この間も銃弾が畳に勢い良く着弾する音は鳴っている点に留意。

そしてまた1分ほど続いた後、また止まった。

- - - - -

またまた田中荘。

どうでもいいけどここまでの視点切り替え回数は5回。多すぎ。

で、例の人物はまた銃口を下ろし、また呟いた。

？「……………当たらない。整備不良じゃなくて、私の腕の問題かしら？」

そして腹立たしそうに言う。

？「もう、目の前に絶好の獲物が居るっていうのに！！」

- - - - -

更に視点は戻る。

のび「アレだ、ココに居ると凍え死ぬからさっさとココから逃げよう」

ドラ「外に居ても同じだと思うよ？てかどうやってココから出るんだよ、思いつきで見られているぞ」

のび太は脱出を提案するが、ドラえもんが疑問をこぼす。それでのび太は「あ、そうか」と気がついたようだ。

しかし出木杉が一つ提案する。

出木杉「…………カーテンを閉めれば多分見えなくなると思う、よし行こう！」

それで4人はカーテンを閉めて、のび太の家から脱出した。

- - - - -

もつと視点は変わる。

？「あつ！．．．．見えなくなったか．．．あーあ．．．逃げ
ちゃったなあ、取り敢えず捕獲は他のメンバーに任せて、もう帰ろ
うかなあ」

オイコラ、お前それでいいのか。

？「日本はジメジメしてて嫌だし、早くヨーロッパに帰りたいなあ．
．．．．．はあゝ」
なるほどね。

そこへ、近くから銃声が聞こえ、同時にハンターの死に声が聞こえ
た。

？「あれ？．．．あいつら、こっちに来る気．．．．？」
窓から見ると、確かに子供4人組がアパートの入り口から20mく
らい手前に来るのが見えた。

- - - - -

視点変更の連鎖は止まらない。

のび「．．．．．何とか20mくらい前までには来れたけど、
ココ開けてるから撃たれそうだね」
出木杉「多分相手も気づいてるだろうしね」

ドラ「あんだだけ銃声撒き散らしてりや当たり前だろ、でもあの緑の怪物・・・名前はハンターだったかな、に首飛ばされるよりはマシだろ」

安雄「とにかく、ココからどうするよ？4人で繋がっていったら先頭から順々に額に穴が開く事になるぞ」

出木杉「僕もそう思う、だから誰か一人逃げ足のすばしっこい人が突撃していけばいいと思うんだけど・・・」

出木杉がそこまで言った時、全員の視線は一人に集まった。
勿論、それは・・・

のび「ええっ！？俺かよ!？」

のび太である。

ドラ「いいから黙って行け、お前が死んだら俺はお前の屍を超えてゆく」

のび「それあんまり嬉しくない、てかそのゲーム旧過ぎだよ」

実際の名前は「俺の屍を超えてゆけ」。初代プレイステーションのゲームである。

まあそれで、結局のび太は

のび「・・・わーったよ、そんなわり俺が死んだら次出木杉な」と、条件付きで行く事を承諾した。

- - - - -

今回8・・・いや、9回の視点変更。

？「・・・どうやらこっちに来るみたいね・・・」

銃口を向け、スコープを覗き込む。

ドラグノフの専用スコープの先には、チビな小学生の姿が映っていた。

距離はざっと見（高さ含めて）40mくらいだろうか。

？「ふふふ、こつちまで渡って来れるかしら？」

そう呟くと、人物は引き金に指をかけた。

- - - - -

のび「あゝあ、路（上）駐（車）の車を盾にして、とつとと進みま
すかな」

また視点変更。のび太は余裕の表情で、時折車の陰に隠れて銃弾を
やり過ぎ、を繰り返している。

まあ、一回被弾したが、靴の先だったのでほぼダメージは無いに等
しかった。

20m進み、とうとう入り口まで数歩という時、銃声が止んだ。

のび「・・・あれ？銃声が止んだな、もしかして弾切れか？ま
あいい、さつさと残りの3人呼ぼう」

そう思つてのび太は無線機に手を掛けたが、連絡するまでも無く出
木杉が先陣切つて走ってきた。

のび「・・・出木杉とドラえもんが走ってるトコは何かシユ
ールだな」

言いながら、のび太は先に田中荘へと入っていった。

- - - - -

のび太たちが田中荘へ突入するちよつと前。

で、視点変更。

？「何て奴なの・・・！ このままだどこっちに来ちゃうじゃない！！」

のび太の余裕さに驚愕しながら、人物はドラグノフの専用スコープから目を離す。

そして、暫く考え事の為俯いていたが、急に思いついたように顔を上げ

？「こうなったら・・・！！」

と、呟いた。

そして、その人物は手榴弾やワイヤーその他を取り出し、ちよつとした小細工を仕掛けに階を降り、仕掛けが終わると書類整理の為また3階の18号室に入ってしまった。

- - - - -

人物が小細工を施して3階に戻っていった直後、のび太たちは田中荘に入ってしまった。

のび「多分ココの3階に居るのかな？」

出木杉「恐らくそうだね、よし！ ドラえもんと安雄君は裏口を押さえて、僕たちはこっちから踏み込むから」

出木杉が言つと、

のび「（ええっ！？ お、俺もかよ！？）」

と、のび太は心の中でビックリした。が、口に出したってどうせ無

駄だと思つて今回は声には出さなかった。

と、突然窓が割れて緑の怪物・・・もといハンターが入ってきた。
で、3号室のドアの前に来て、今にもこっちに襲い掛かるうとした
時だった・・・！

ドカーン！

・・・爆発音が鳴り響いて、ハンターの居た場所が大爆発した。
当然ながらハンターは爆散して即死した。

のび「な、何だ！？ ハンターが突然爆散で吹き飛んだぞ！？」
のび太がビックリして声を上げるが、出木杉は目の前で爆散して肉
片が飛び散ったと言うのに動じず冷静に
出木杉「いや違う、爆発したのは3号室のドアだ！ つまりこれは・
・・・このアパートは罠だらけて事だよ！」
と、突拍子もない事を言い出した。

のび「はあっ！？ じゃ俺ドラえもんと役変える」

のび太はそう言つて逃げ出そうとするが、

出木杉「危ない！！」

と出木杉が叫び、直後にのび太は後ろに引っ張られた。出木杉に引
き戻されたのである。

で、引き戻された直後に、裏口へ通じる道が大爆発した。

これで、退路は塞がれてしまった訳である。

のび「・・・最悪だ」

取り敢えず文字数が多くなりすぎているので、
続く！

第12話 くドラゲノフは超精密射撃用じゃないんだよ！〜（後書き）

文字数がやたらと多くなりました。
次も割と長くなると思います。

誰が狙撃ってるのかはもう解りましたよね？（笑）

・主役キャラ紹介（5 / 12）

ジャイアン

年齢：リアルタイムで（ry 10才

本名は剛田武だが、その名前で呼ばれる事はまず無い。

平常時にはスネ夫と幅を効かせていたが、非常時と言う事でそのパワフルさがいかになく発揮されている。

おかげで静香から信頼を得て、新コンビ結成の話を持ちかけられたが丁重にお断りした。

狙った訳じゃないけど、3 / 37文字。

第13話 くトルネコもビックリ、トラップハウス！〜（前書き）

サブタイトルは125氏（のびハザ無理のないシリーズ製作者）公
式のヒント集の中から抜粋。

まあ、サブタイトルで内容がわかってちゃう回ですね。

展開上しようがないですけど。

第13話　くトルネコモビックリ、トラップハウス！く

田中荘で退路を塞がれてから約2分半。
現在時刻は朝9時半。

のび「クソッ、取り敢えず先に進もうか」

全開・・・いや前回のあらずじ。
前話を読め。

筆者「手抜きしてないでちゃんと説明しろよ！！！！！」

失礼しました。

という訳でマジメに前回のあらずじ！

前回、何者かから狙撃されたドラ&のびコンビ！
慌てた2人は急遽援軍に安雄と出木杉を呼んだ！
何とか銃撃をかくぐってボロアパート「田中荘」に到着！
果たして、狙撃手を捕まえる事は出来るのか！？

という訳で勿論のび&出木杉コンビを追走。

まあ、一時的なコンビだが。

出木杉「気を付けてくれ、僕は君が安全に上まで行ってから行くよ」
出木杉がそう言う。

のび「（どいつもこいつも万が一の時以外には何もしねえのかよ・・・
このただのクソガリ勉強馬鹿野郎め、あの青ダヌキと一緒にぶち殺

してやるうか」

思いっきりのび太は心の中で出木杉（と、ついでにドラえもん）を罵倒しながら（語順がおかしいのは仕様）、先に進もうとした。と、そこで出木杉が

出木杉「待つて、これ」

と、縄を投げて寄越した。

のび「何に使えと？」

出木杉「ドアノブに引っ掛けて、離れてから思いっきり引っ張るんだ」

のび「すると、どうなる？」

出木杉「ドアに爆薬が仕掛けられてたら爆発するけど、何も無かつたらそのまま開くって寸法さ」

のび「なるほどなるほどなるほど！　じゃあすぐその2号室のドアでやってみようか」

そしてのび太は2号室のドアノブに縄を引っ掛けてから、思いっきり引いた。

すると、突如1号室・2号室・5号室（4号室は大家の性格上造られていない）が一斉に爆発した。

のび「・・・ポカーン」

わざわざ口に出さんでも。

出木杉「ビックリしたね・・・じゃあ取り敢えず進もうか」

のび「（何が「取り敢えず進もうか」だよふざけんな畜生、こっち死ぬかと思った・・・この野郎、事が片付いたらぶち殺してやる）」
何やら最悪な事を考えていたのび太であった。

そして、階段の手前で何やらワイヤーが張っているのに気がついた。ワイヤーは、机の裏側・・・正確に言えば机の裏側にあるデコボコの中に繋がっていた。

のび「おい出木杉！！　ちよつと来い！！」

出木杉に向かって怒鳴るのび太。出木杉は

出木杉「うるせえなあこつち今5x5ルービックキューブやってるんだよ、そのワイヤーなら切らないと爆発するよ、手榴弾くっ付いてるから」

と、その場から一步も動かない上に手に持っている5x5ルービックキューブから視線を全く逸らさずに言った。

で、仕方なくのび太は

のび「（これで爆発して俺が死んだら、まず出木杉をぶち殺してやる・・・）」

と思いながら、ワイヤーを切った。同時に、のび太は歯を食いしばった。まあ爆発したら即死するから無駄だが・・・。

幸いにもというか構造上切ったら爆発しないので、そのまま階段を上り2階へと行った。

それを横目で確認した出木杉は、同じように2階へと上っていった。勿論5x5ルービックキューブを手に持ちながら。

ズカズカと前に進んで行ったのび太だが、突如足元でカチツと音がし、その音にションベン漏らすほどビビったのび太は、その場に立ち止まった。

のび「で、で、出木杉！今すぐ来い！5x5ルービックキューブやってねえで来い！」

ビビッてるクセに上から目線ののび太であつた。

出木杉「ん、どうしたんだ？まさか足元に何かあつたとか？」

のび「まあ大体そんな感じだ、だけど色々ヤバイから来てくれ！」

出木杉「全くしょうがないな」

言いながら、5×5ルービックキューブを遂にリュックへしまった

出木杉は走つてのび太の元へと突っ走つた。

「走る」を2度使つたのは仕様。

出木杉「で、どうしたつて？」

のび「足元、右足の下！そこを調べてくれ」

のび太がそう言つと、出木杉はナイフを取り出してのび太の右足の下の木材を剥がし始めた。

すると、何やら怪しい薄い箱を、のび太の足が潰しているのがわかつた。

出木杉「ん、これはいわゆる地雷だね」

軽い調子で言う出木杉。

のび「そんな軽い調子で言うんじゃねえよ！！！！ このまま動いたら爆発するじゃねえか！！」

地雷は踏んでから足を離すと爆発するタイプもあるそう。

多分のび太はそれを踏んでるんだろ。

出木杉「しょうがないな、今からお餅・・・いやおもり錘おもりが何か探して

くるからそれまで絶対動かないでこの5×5ルービックキューブ崩しとして」

言いながら出木杉はリュックからさっきの5×5ルービックキューブ（完成済）を取り出し、そう言った。

のび「・・・・・・・・お前・・・・・・・・」

この野郎、救助されたらぶち殺してやるつか、という考えがのび太の頭の中をよぎつた。

- - - - -

出木杉が錘を取りに行つてから早3分。

やつとこさ出木杉が戻つてきた。何やら右手に「10tハンマー」とか書かれたヤバ過ぎるハンマーを持つて。

出木杉「よし、これを置くからゆつくり足をずらして」

のび「いや待て待て待て待て！！！！　そんなの置いたら床が抜ける！！」

出木杉「安心してよ、実際の重量は1/1000(=10kg)だからさ」

のび「そんな紛らわしい表示が書かれたハンマー持つてくんじゃねえよ！！！！！！！！！！！！！！！！」

取り敢えずのび太は救助された。

まあ、・・・やつちやつたけど。

何を？つて人は、原作(そもそも改造版だから「原作」と言うか微妙だが)無理のない？の同シーンを見ると幸せになれるよ。多分。

それから左右にある8、14号室(但し13号室は大家の性格上造られていない)を調べたが大した収穫はなし。

途中、10号室で様々な生物兵器の写真が入った箱を見つけたが、中身だけ持っていけないようになっていたし(恐らく糊付け)、箱ごと持つて行ったら死にそうなのでやめておいた。

どうでもいいが、田中荘の部屋構造は1階は1、2、3、5、6、7号室・2階は8、9、10、11、12、14号室・3階は15、

16、17、18、19、20号室となっている。

4号室と13号室が無いのは縁起が悪いから。田中荘の大家は縁起を担ぐタイプだったのである。

ところでこの話、13話目？

のび「よし、出木杉来い、3階に狙撃主が居たらとっ捕まえるぞ」
出木杉「逃げていても裏口は押さえてあるしね」
言いながら、2人は3階へと上がっていった。

- - - - -

で、3階突入。

出木杉「よし、銃を構えて、まず15号室から風潰しふうみつぶに探そう」
のび「よし、ドアの横に陣取って・・・出木杉が開けてくれ、俺が突撃する」

出木杉「Sir、Yes Sir!!」

のび「お前初めてソロで「Sir、Yes Sir!!」言ったな」

突っ込みつつ15号室のドアの横へと突っ走った。

と、すぐ先の18号室から、何者かが飛び出してきた。
手にはドラグノフを持っている。

で、のび&出木杉コンビとその人物との視線が合った・・・。

のび「あっ」

出木杉「あっ」

？「あっ」

？「（あゝ！！ ほ、報告書持ってくるの忘れた！！・・・ヤバイ、あれだけは・・・！ でも戻ったらあの子供達に・・・！！）」

そう思つて戻ろうとしたり先に進もうとしたり心の中で迷つてぐるぐるその場を廻つた。

バカか。

そう思つたドラ＆安雄コンビは（こちらも同様一時的なコンビだが）、銃口をその人物に向けながら安雄「動くなっ！ 止まれ！！」

ドラ「Freeze！・・・I said "freeze"！

！」（訳：止まれ！・・・動くなつて言ってるんだ！！）と、言つた。

ところでドラえもんよ、別に相手はその場でぐるぐる廻っているだけだから後半は要らないだろ？

ドラ「ナレーションはでしゃばるな！」

・・・ゴメンナサイ。

で、人物はビックリして階下のドラ＆安雄コンビを見て

？「（！！・・・何てこと、先回りされてるなんて・・・！？こ

いつら本当に子供なの？手際が良すぎる！）」

と、思いつきり心の中で慌てた。

そして、更に最悪な事に後ろ・・・つまり裏口の扉からのび＆出木杉コンビも出てきた。

当然ながら銃口は人物に向かっている。

ドラ「Raise your hand! . . . ええつと、手を上げてその場に伏せろ! でないと射殺するぞ!」(最初の訳:手を上げる!)

興奮したドラえもんは、引き金に指をかける。

?「(えつ、ちょっとこれってまさか私主役キャラから外されるオチ?)」

間違った意味で焦る人物。

しかしそこで彼女に救いの手(本人にはそんなつもりは無いが)が差し伸べられた。その救いの手とは

コレだ。(某番組風)

? (ワン)

? (トウー)

? (スリー)

のび「(うっわ、懐かしい . . .)」

出木杉「待つてドラえもん! この人にはただ聞きたい事があるだけなんだ!」

この出木杉のセリフを聞いたドラえもんは、仕方なく引き金から指を離れた。

それより「ドラえもんに引き金に掛けれるような長い指があんのかよ?」という突っ込みは厳禁である。

？「（ほっ、何とか最悪の事態だけは免れたようね．．．．．と、取り敢えず何か話しかけてこの場の空気を．．．．．）」
何故かそういう風に思った人物は、生半可な日本語知識．．．つまりカタコトで

？「エエツト、コウサン シマ ス．．．ウタナ イデ クダサイ．．．」

と、銃を捨てて両手を挙げつつ言った。途中のスペースは言葉の区切りだ。

読み辛いと思うので翻訳しよう。

？「ええつと、降参します．．．．．撃たないで下さい．．．．．」

出木杉「！！日本語、話せるんですね．．． ちよつと聞きたい事があるんです、来て頂けますか？」

出木杉のこの言葉に（まあ殆ど意味はわかっていないだろうが）、人物は焦った。

？「（ひよつとして、ものつ凄いマズイ展開になった気が．．．．．
．．．．．子供に捕まるなんて、どんだけ間抜けなのよ、私．．．）」

「
何処からか「間抜けじゃねーし、天然だし！」と聞こえたような気がしたがスルーしよう。言う対象間違ってるし。

それは律に言え。ちなみに意味がわからない人はニコニコ大百科が何かで「おかしくねーし」と調べてみよう。

- - - - -

先ほどの人物が田中荘で捕まり、学校の3-1の教室に連行されたとほぼ同時刻、ススキケ原にまた何者かがやってきた。

今度は男である。年齢はざっと見30にもいかなさそうな奴だが。

手にはAK-47、ホルスターにはM1911、更に背中のリュックの横にはサイガ12のバリバリカスタム版（フルオート化・20連マガジン化・フォアグリップ装備）を背負っていた。

？2「ちつ、何で俺がこんな目に・・・さつさと対象とつ捕まえて、帰って紅茶を飲もう」

言いながら、人物はススキケ原に徒歩で侵入していった。

・・・何で車に乗らないんだ。

？「ニゲラレハシナイ・・・アガイテミルノネ・・・」
所変わって3-1の教室・・・しかし、少し来るタイミングを逃したようだ。

既に尋問は終わってしまったようだ。

と、そこへこの人物の頭にガツンと拳骨の一撃が入り、倒れた所を手足を縛られて連行された。

何処へ？というと・・・

？「（はあ、またココなのね・・・ってあれ？縛られてる？
・・・コレはアレ？このままハンターに首飛ばされると？）」「

田中荘の18号室でしたとさ。

？「とにかく、今はハンターが来ないのを祈るまでね・・・
・」

ハンターだけ？ゾンビは？

？「ゾンビならもうとくにハンターのエサになってるわよ
え、マジ？」

- - - - -

そろそろ午前11時。

もう2日目の半分は終わったようだ。

で、3-1の教室では、何やら会議が行われていた。

出木杉「よし、奴らが来る前に探索を終わらせようか」

のび「ええ？そりゃ無理だよ、だってススキケ原案外広いよ？」

ドラ「うるせえな、てめえは黙って従ってろ」

のび「・・・はい」

3日目に敵が大挙して攻めてくるという情報を先ほどの人物から聞き出した訳で、そういう訳でさすがの4人も慌てていた。
何しろあと13時間ちよっとしか無いのである。

結局、会議では「なるべく急いで探索をし、敵が攻めてきたら臨戦態勢として無線機で知らせる」という風に作戦の方向性が決まった。で、ドラ&のびコンビと出木杉&安雄コンビは各自それぞれの場所へと戻っていった。

いや、ドラ&のびコンビは外が探索場だから「戻る」という表現は少し変かもしれないが・・・。

2話に亘る長編^{わた}だったが、スナイパー編も終了。
続く！

第13話 くトルネコモビックリ、トラップハウス！〜（後書き）

やっとこさ終了。

すげーダルかった。24時間テレビやってたからまだよかったけど。

途中のドラえものの英語は合ってるか不明。

一応翻訳使った所合ってましたが・・・。

途中の人物のセリフは「小河健太」先生の協力を得て書きました。
ちゃんとこういう事は書かないとね、でないと後々不利益になるから。

・ 主役キャラ紹介 （6 / 12）

出木杉 英才

年齢：リアルt（ry 10才

のび太のライバル、ガリ勉野郎で有名。但しシャレのセンスはのび太と同程度に悪い。

今回の話でルービックキューブマニアであった事が発覚。今は7x7に挑戦しているそうだ。

また何故か微妙に傲慢だが、結局のび太はそのお陰で爆散せずに済んだのでよしとしよう。

夢中で書いてたら何と5,397文字。

前話と併せると何と9,134文字という大長編でしたとさ。

第14話　く貴様ら！今度のテストもまた0点だったぞー！く（前書き）

ネタが本格的に思いつかなくなってきた。
仕方なく、初めて敵キャラを出します。

え？サブタイトルと併せて誰が出るのかわかった？（笑）

第14話　貴様ら！今度のテストもまた0点だったぞ！

出木杉「そういえば安雄君、君確か前にパスワード解析が得意だつて言ってたね？」

安雄「うん、パソコンさえあれば軽く12桁はわかるぜ、まあ時間も必要だが」

出木杉「じゃあこのCDのパスワード解析してくれるかな、ちなみに8桁だけどどれ位かかる？」

安雄「んー、8桁なら大体3時間かな」

出木杉「わかった、じゃあこれから視聴覚室か何かの鍵あげるからやってきてよ」

安雄「了解、つーか何で鍵持つてんだよ」

出木杉「まあ気にしないで」

言いながら出木杉は安雄にCDと鍵を手渡し、CDと鍵を受け取った安雄は視聴覚室に猛ダッシュで行った。

と、まあ話が始まる前のちょっとしたチラ裏。

- - - - -

随分放つたらかしにしてたジャイ&静香コンビを追走。

聖奈は何処へ行ったんだろうね。ついでに聖夜はどこへ？

静香「はあーあ、さっき出木杉が「敵を見つけたらなんとかかんとか」言ってたけど、全く持って意味がわからんな」

ジャイ「まったくだな」

その時、隣の音楽室から銃声が聞こえた。

それも1発や2発でない、連続で・・・こう、バラバラバラララといった感じならわかるかな、そんな銃声が聞こえてきた。

ジャイ「何だ!？」

静香「俺から離れるな!　よし、突入だ!」

静香が突入し、続いてジャイアンも突入する。

そこには、大柄でメガネを掛けた男が、手にマック10のカスタム版を持ちながら突っ立っていた。

2人は同時に叫んだ。

ジャイ&静香「せ、せ、先生!!」

- - - - -

また暫くジャイ&静香コンビは放つといて、またもやドラ&のびコンビを追走します。

といっても今回、ジャイ&静香コンビは2度出ますがね。

ドラ「よしよしよしよし、早速本気で探索するか」

のび「でもさ、何処探索するの?」

ドラ「んー、ちよつと考えさせてくれ……………」
「……………」

そう言つてドラえもんは俯き、30秒ほどしてから顔を上げた。

ドラ「そうだ!陸がダメなら、海というか川はどうか?すぐ近くに川があつたハズだ」

のび「そうか!　俺たちそんな事も気が付かなかったのか、多分疲れてるんだな後で寝よう……それよりそこまではどうやって行く

？」

ドラ「それも考えた、考えた末にこないだ使った軽トラじゃなくて
すぐその原チャリでいいと思うんだ」

のび「よし！決めた、行こう！」

ドラえもんのび太はすぐさま原チャリに乗り込み（勿論運転はドラえもんである）、インジェクション（車のエンジンを掛ける鍵穴）をドライバーで破壊し無理矢理エンジンをかけて発進した。

ドラ「行くぞ！お前しつかり後ろで援護してくれよ、原チャリだと轢き殺し通用しないからな」

のび「銃なら任せろ！さっきの女から奪ったドラグノフがあるぜ！」

そう言つてのび太はドラグノフの専用スコープを覗いた。

早速、対象・・・つまりハンターを見つけたのび太は、照準をハンターの脳に合わせ、適当に引き金を引いた。

バーン！と、凄い音がして、その0.25秒後にハンターは脳から大量に血を噴出しながら仰向けにぶっ倒れた。
多分、いや絶対死んだだろう。

のび「結構精度高いな・・・やっぱあの女ヘタクソだわ」

ドラ「お前が上手過ぎるだけじゃねーの？」

- - - - -

で、その頃前回田中荘に放置された人物は。

？「ヘックシヨイ！・・・誰かが噂してるのかしら？」

くしゃみをしていた頃でしたとさ。

- - - - -

その後も狙撃が続いて5分後。

やつとこさ川に着いた2人であった。

ドラ「ふう、途中でガスが切れたから70km/hの速度で走ったから疲れちった」

のび「てか、そんな速度出せるんなら最初からそうしたら良かったんじゃない？」

そんなのび太の言葉をガン無視し、ドラえもんはボートに乗り込んだ。
だ。

のび「ん」と、何で向こう側に壁があるの？」

ドラ「逃げられなくする為だろ？」

のび「じゃあ何で川に来たの？」

ドラ「脱出できないか調べる為だろ？」

のび「じゃあ何で脱出できないようになってるの？」

ドラ「連中が狭いフィールドで遊ぶからだろ？」

のび「で、何でハンターに包囲されてるの？」

ドラ「川だし逃げ場がないからだろ？」

のび「待てよ、だったらそもそも何で川に来たんだよ？」

ドラ「・・・何でだろうね」

のび「てめえふざけんなよ！！！！！！！！！！」

ドラ「よし、ココに居ると首飛ばされそうだからボートで逃げよう」
のび「無視すんなよ！！！！！！！！！！」

ドラ「うるせえな、くだらねえ事言ってねえでさっさと乗れよ」

仕方なくのび太はボートに同乗した。
で、船外機エンジンを全開にして、包囲陣を突破。
オールは使っていないが。

ドラ「はあゝ、つつーか俺も不謹慎だよな、リアルじゃ船の転覆事故で死者出てんのに」
そんな事言ったら大震災の後にこんな小説書いてる時点で不謹慎極まりないって。
のび「まあクス筆者だししょうがないね」

- - - - -

その頃、リアル筆者宅。

筆者「ぶええつくしよい！・・・クソツタレめ誰が噂してんだ畜生ぶっ殺すぞ」

何言ってるんだか。

- - - - -

ドラ「なあ、腹減らないか？」

ボートに乗ってから早15分、現在時刻11時50分。まあ約12時って事で。

この2人（に限らず全員）は昼飯を食っていないので、腹が減っているのもまあ当たり前であった。
のび「んゝ、俺も結構減ったかな」

ドラ「ココにモリあるよ」

のび「それ使って、「獲ったどー!!」とか言うなら全力で殴るぞ」
ドラ「言わねえよ! 俺はただ……」

そこまで言い、突然ドラえもんが川の中にモリを投げた。

ドラ「ほら! 鮭が獲れたぞ!」

のび「火がないと食えねえよ! つつーか普通鮭なんているか?」

(筆者は川にいる魚を全然知りません by 説明役)

ドラ「知らねえよ、とにかくクーラーボックス持ってきたから入れ
として、後で火を点けて焼いて食おう」

のび「了解りよーかい、そん代わり沢山獲ってくれよな」

ドラ「わーってるって」

その後も2人は楽しく魚を獲っていた。

んで、3分位して。

のび「ちよつと待ちいや、もうクーラーボックス限界や」

ドラ「何で関西弁?……しょうがないな、この一本で最後にする
か」

そう思っただラえもんがモリを投げた。

そのモリは水に入ってからすぐにブシュッと刺さった音がしたが、
今までのようにすぐに浮いてこず、大量の血がボートの先端にかか
り(船外機は切っていたが)、ボートの先端が赤く染まった。

ドラ「……何だ? すごい血が出てんのに浮いてこねえ」

のび「なあ、ドラえもん、俺たち色んな意味でヤバイんじゃない?」

ドラ「何で?」

のび「魚獲りすぎで川の主が怒ったかもしれない」

ドラ「って、事は、」

のび「今、刺さったのは、」

2人の言葉が途切れ途切れになった時、物凄い津波がボートを襲った。

- - - - -

取り敢えずこの話でののび&ドラコンビの出番はおしまい。
津波の正体は次話に持ち越したとか。

で、今度は例の謎人物の視点。

時刻は視点が切り替わる直前と一緒。つまり大体12時。

?2「ん?ココのボロっちいアパートか?」

何を隠そうこの人物は、ススキケ原の外に潜伏していたが、前・前々話の狙撃手の人物がヘマをやらかしたと聞いて侵入してきたのだ。場所も特定されている。例の田中荘というボロアパートだ。

?2「クソッ、これで対象が女だからやる気失くすぜ・・・」

ぼやきつつ、風潰しにアパートの部屋を調べていた。

10分ほどして、ようやく3階の18号室で見つけた。

・・・思い切り寝ていたが。

で、この人物は、寝ている人物を踏みつけながら(酷)、

?2「おい、サーシャ・・・だっけ?まあいいや、起きろ!」
と言った。・・・オイオイ、名前公開して後悔しないだろうな?

(筆者によると、「いちいち人物、人物って書くのがダルイ」と

いう理由だから後悔はしないそうです by説明役)

サーシャ「いだっ!？……………ああ、とうとうこの部屋にもハンターどもが……………今の今まで良く持ったものね……………」

ボーツとしているのか、踏んづけた奴が人間、しかも(一応)味方という事に気が付かないようだ。

更に彼女は

サーシャ「さようなら故郷……………さようなら世界……………さ……………」

と言い、そのまま仰向けに寝転がった。

バカか。

そう思った?2……………」の人物が1人減ったので以下は普通に「?」としておく、がまた踏みつけた。

ゲシッ。

サーシャ「ぐえっ!？」

?「オイコラてめえ、冥界に逝こうとしてねえでさっさと立ち上くれ!」

サーシャ「え、えつと……………その、見ればわかると思いますが今私縛られて……………」

?「うるせえな!(ゲシッ)さっさと縄を切らせろ!その方向だと手の縄を切れねえんだよ!(ゲシッ)」

サーシャ「げぶっ!？わ、わかりました……………」

衝撃のあまり敬語になるサーシャであった。ちなみに「?」のセリフの「(ゲシッ)」はサーシャを踏んづけた音。以下同様。

そしてようやく解放されたサーシャは、取り敢えず立ち上がった。

？「おいお前！！！」

サーシャ「は、はい！」

？「てめえ、臭えからまず風呂に浸かってこい！！　それから着替えるー！」

サーシャ「な、何という言われよう……」

ドカツ（サーシャが殴り倒される音）

？「ああ！？　てめえハマしたクセによくそんな口が聞けるな！！
（ゲシッ）　あ、それともココで俺に殺されたいのか？　そうなのか？」

そう言つて人物は銃を向けた。

相手は勿論サーシャ。

サーシャ「め、滅相もない……今すぐ入ってきますー！！」
立ち上がつて、ビシッと敬礼を決めると、すぐに隣で風呂に浸かった。

5分後。

新しい服……まあ私服だが、に着替えたサーシャが19号室から戻ってきた。

？「よし……じゃあ聞くぞ！」

銃をしまった人物は、早速尋問を開始した。

サーシャ「は、はいっ」

？「例の報告書はどうした？」

サーシャ「・・・・・・・・・・へ？」

？「聞こえないのか？　あの報告書は何処にやったかって聞いてんだよー！」

サーシャ「あー・・・・・・・・・・、えっと・・・・・・・・・・そのう・・・・・・・・・・
・えつとですね・・・・・・・・・・」

？「おい！　まさかお前失くしたんじゃないだろうなー！」

サーシャ「あ、その、えっと、え・・・・・・・・・・奪われました」

？「あ？　・・・・・・・・誰にだ？」

サーシャ「子供・・・・・・・・・・例の手配書類に載ってた１１人（未登場１名含む）中の４人」

？「その４人をこの写真の中から選んで丸を付けろ、忘れたなんて言ったらぶち殺すぞー！」

言いながら人物はサーシャの額に銃口をつけた。

サーシャが１１人中の４人（ドラえもん・のび太・安雄・出木杉）

に丸をつけ、人物に返すと、人物は頷いて

？「フン、こんなガキどもに捕まるとは・・・・・・・・・・ところでお前、どん位前に捕まったんだって？」

サーシャ「ええつと、今１２時だから・・・・・・・・だいたい２、３時間前」

？「で、このガキどもはどうした？」

サーシャ「どっか行っちゃいました・・・・・・・・」

？「ま、そーだろうな、んじゃお前３時間の間何してた？」

サーシャ「・・・・・・・・縛られて転がってました」

？「・・・・・・・・お前、本気で言ってるのか？」

サーシャ「本気です・・・・・・・・」

バキッ

サーシャはまた殴り倒された。

？「てめえ、（ゲシッ）「本気です」じゃ（ゲシッ）ねーんだよ！
！（ゲシッ）」

サーシャ「ぐばっ！ す、すみません！」

？「……………てめえはもう帰ってろ！ 後はこの俺と案内役がやる！」

サーシャ「え、リシングスキーさんが直々に？ てか案内役って誰？」

ちなみにこの時サーシャは立ち上がった。

リシング「うるせえな！ お前がへましなきゃ、俺は今頃紅茶を飲んでゆっくり寝れてたんだ！ ったく、しょうがねえからお前にも責任を取らせる、来い！ このバカッ！！」

この時、サーシャはこう思った。

サーシャ「（ああ……………何てことなの…………… やっぱり、助かってない……………）」

今日一日の不運さを呪ったサーシャであった。

ちなみにサーシャは計8回踏んづけられた。

- - - - -

所変わってココは音楽室。

ジャイ&静香「せ、せ、先生！！」

そう、ジャイ&静香コンビの前には先生が立っていた。

そして先生は、マック10カスタムの銃口をジャイアンに向けながら

先生「やあ剛田君に静香君、君たちには死んでもらおう」と言い、銃撃を開始した。

しかし、ジャイアンと静香は言い終わる前に走り始めていた為、銃撃は一発も食らわずに済んだ。

ジャイ「クソッ、まずは俺に任せてくれ、ヤバくなったら援護頼む」
静香「よし、いいだろう」

先生との戦闘が始まった所で、
続く！

第14話 く貴様ら！今度のテストもまた0点だったぞー！（後書き）

もう勘弁して。眠い。（執筆完了時4時40分）。

まあ大体わかったと思いますが、狙撃手はサーシャさんでした。
で、？2はリシングスキー。その他の連中は人数の都合により出ません。

ギヤラが1人分増えたなあ・・・。

・主役キャラ紹介（7 / 12）

安雄

年齢：多分10才だったと思う

原作でも脇役ならこの小説中でも脇役。

一応13話ではちょっと活躍したが、あまり出番なし。

パスワード解析（という名のハッキング）が得意技でもある。

何と5,066文字。

しかも、それでも続くというオチ。

第15話 くジャイ&静香コンビ V・S・ 進化した先生く（前書き）

サブタイトルがそのまんま・・・。

そろそろあの人を出さないとキャラ紹介が間に合わない気がするの
で、そろそろ出します。

前の話で「例の手配書類に載ってた11人（未登場1名含む）」と
サーシャさんが言っていました。が、未登場1人は一瞬で死ぬアイツで
す。

自分の書いたのびハザ最初期バージョンを読んでいた人にはわかる
と思います。

第15話　ジャイ&静香コンビ　V・S　進化した先生

さて、前回の続きと言う事で当然ながらジャイ&静香コンビを追尾。ついでに言えば、サブタイトルにもありますし。

前話のラストにもあったように、先鋒・・・つまり斬り込み隊長役はジャイアン。

ジャイ「うおおおおおおー！」

ジャイアンはステアー　AUGA1を乱射しまくる。狙いは当然先生の方向へ。

銃身が20インチ（通常の長さ）ではなくコマンドーモデルの長さなので取り回しは抜群に良い。

ついでに言えばマガジンが42連仕様なので、サブマシンガンに負けず劣らずの運用が出来るのだ。

・・・連射速度が650発/分という点を除けば。

ガガガガガガガツと、5・56mm弾仕様の割に大きな銃声が音楽室内に響く。

残念ながら音楽室内は防音（防弾ではない）なので外にまでは聞こえないが。

やがて、弾が切れる。

リロードの為、とにかくピアノの下に隠れた。

残念ながらココは音楽室の為、盾はそれほど多くないのだ。

先生「それだけか？今度はこっちのターンだ！」

バラバラバラバラと、毎分950発もの連射速度で・45口径の銃弾が飛び出す。

ジャイ「(クソッ、図書室なら本棚とか盾に出来るのに、ココじゃ狭くてたまんねえ!)」

ピアノの下で出ベソ3.5cmのデブがAUGA1の再装填リロードをしながらそう悪態をつく姿は何か色々としゅールであつた。

静香「おい、ジャイアン!これを使え!」

突如、ロッカーに隠れていた静香が飛び出してきて、ジャイアンにケブラー製の防弾チョッキを投げて寄越した。

静香も服の上から着ているので、ジャイアンも同じように服の上に着た。

そして静香はスコピオンを乱射した。

この狭い室内でRPG-7を撃つたら大変な事になる為である。

ちなみにこのスコピオンは何処で手に入れたかについては、第4話参照。

スコピオンは毎分800発の速度で380口径弾を発射する。その上50発の大量装弾が出来るので、乱射にはもってこいであつた。

しかし口径上、あまり大きなダメージは与えられない。

もつとも普通の人間ならそれだけで動けなくなるものだが・・・。

その点ジャイアンの持つAUGA1は5.56mm弾なので威力面では申し分ないだろう。

しかし連射速度の点ではやはり劣るのかもしれない。

どっちにしろただの銃弾じゃ先生は倒せない事がわかっていた2人にとっては意味の無い話。

そう、ただの銃弾ではなく、徹甲弾なら有効なはずである。

心臓や脳に撃ち込めば、流石の先生と言えども一溜りもないはずだ。

静香「徹甲弾なら俺が持つてる、銃を寄越せ！」

ジャイ「ほい」

静香のセリフに、ジャイアンは銃を投げて寄越す事で返した。

まあその間ジャイアンはベレッタM9だけで戦う事になるが、9mm弾の威力なんてたかが知れているので、殆どダメージは無いに等しかった。

静香「よし！ これで終わりだ！！」

ジャイアンが先生を引きつけている間に、静香は後ろに回って0距離から脳に連射しまくった。

勿論、徹甲5・56mm弾を装填したAUGA1で、だ。

12・3発連射して、ようやく先生は倒れた。

ジャイ「よっしゃ！」

静香「連携プレイって大事だな！ おっと、銃返すぜ」

ジャイ「サンキュ」

静香「取り敢えずこいつは裏庭に埋葬しておこう」

ジャイ「よし、手伝おう」

という訳で、苦勞しつつ2人は先生を裏庭に埋めた。
運ぶのはともかく、穴を掘るのに苦勞したのだ。

？「うおらあああああああ！！！！」

突然、裏庭の別の場所からいきなり飛び出てきたガングロ野郎が居

た。

当然だが、忘れ去られた健治だ。

ジャイ「うわあ！」

吃驚したジャイアンは、思わずベレッタM9の引き金を引いてしまった。

発射された9mm弾は、健治の額に正確に着弾し、健治はその場に倒れ、二度と起き上がる事は無かった。

ジャイ「・・・何で当たるんだよ・・・」

静香「丁度いい、こいつもついでに埋めよう」

また苦勞して健治を埋めた2人であった。

ザッパーン！と、派手に水が飛び散る音が、辺り一帯を覆った。

わかってると思うけど、今度はドラ&のびコンビを追尾します。

ドラ&のび「うおおおおおおおおお！！！」

前回、川の主を呼び寄せてしまった2人。

その主は思いつきりジャンプしたため、ボートごと2人はぶっ飛ばされた。

のび太は空中で大変な事・・・要約すると空中で^{きりも}錐揉み2回転し、ロープが足に絡み、思いつきりボートに打ち付けられてしまったの

である。

ちなみにロープはボートに元々あった物。

その間、ドラえもんはボートをしっかりと浮かべなおし（モリも当然キャッチ）、しかもモンスター図鑑（アンブレラ社から支給された物）を調べて正体突き止めていた。

のび「ぜえ、はあ、ごほッ、死ぬかと思った」

ドラ「図鑑で調べたぞ、さっきの主はデルラゴとか言うでかいオオサンショウウオだ」

のび「てめえ人が死にそうになってんのにのん気にそんなモン読んでんじゃねえよ！、げほごほッ」

ドラ「違うよ、敵の情報を知るのも作戦の内だぜ？」

のび「まあそうだな、とにかくこの絡まったロープを切ってくれ」
ドラ「任せろ」

ドラえもんはのび太に頼まれるままにのび太の足に絡まったロープを切った。

しかしそれがいけなかったようだ。

ロープを切った直後、ボートが突然引つ張られた。

あまりに突然だったので、ドラえもんのナイフが手からこぼれてしまった。

しかしそれをのび太の右手がキャッチ。一方ドラえもんは、のび太がボートから落ちないようにしっかりとこのび太の胴体を押さえていた。

のび「ふう、ふう、助かった、でも一体何が・・・」

ドラ「見る！デルラゴの尻尾と俺らの乗ってるボートの先端部分にロープが絡まってる！」

のび「マジかよ！早く切ってくれ！」
ドラ「今やる、」

しかしドラえもんがボートに絡まったロープを切る事は出来なかった。

何故なら、そう、デルラゴが急加速したからである。

ドラ「うわぁ！」

のび「危ない！！！」

急加速の重力に逆らえず、ボートから振り落とされそうになったドラえもんだが、のび太にしっかりと足を押さえられて何とか落下の危機を避けられた。

落下してしまったら最後、二度とボートに戻る事は出来ない。
それ位、加速しているのだ。

ドラ「ありがとう、ありがとう」

のび「とにかく、今めっちゃヤバイから！どうする！？」

ドラ「モリだ、モリを使うんだ！」

のび「よし、ドラえもんはボートを何とか操縦してくれ、俺はモリを投げまくる！」

ドラ「よし、何とかやってみる」

のび太はモリを構えて、水面に浮いてくるのを待った。

1分と経たずに水面に上がってきた。
それも、口をこっちに向けて。

ドラ「あー、ヤバイね」

のび「撃て！俺はモリを投げる」

どうやら、ロープというよりイカリだったようだ。

そのイカリの先端がデルラゴの体に引っかかり、その痛みで暴れていたようだ。

で、そのイカリが外れたのでデルラゴは自由になり、こっちに向かって来ているという訳のようだ。

ドラえもんはサーシャから巻き上げた870ショットをぶちかましまくる。

のび太はモリを必死に投げる。

やがて、また口の先端でボートが吹き飛ばされた。

しかし、今度はドラえもんがのび太・ボート・そしてナイフをキツチリと握っていた。

ボートを上手く1回転させて、のび太を上手く着地させたかと思うと、天高く飛び上がったデルラゴへ向かって同じくらい天高く飛び上がり、ナイフを喉の奥に突き立てた。

空中なのにも関わらず激痛で大暴れするデルラゴを、ドラえもんが870ショットで2発、撃った。

デルラゴは大量の血を撒き散らしてボートを真っ赤に染めつつ、水面に勢いよく落下して、辺りに水が大量に飛び散った。

ドラ「へっ、ザマア見やがれてんだ！」

勝ち誇ったようにドラえもんが言った・・・が・・・

のび「うあああああああつ！！ 足が、足が、足があああああああああ！！！」

イカリはデルラゴの体に引っかかりっぱなし。というか刺さってる。で、ロープはまたのび太の足に絡んだ。

重さから来る激痛の中、何とかナイフを取り出し、ロープを切断したので足が腐る心配は無くなった。

のび「・・・・・・・・死ぬかと思った、てかクーラーボックスは？」

ドラ「・・・・・・・・あつ」

多分クーラーボックスはデルラゴに喰われたのだろう。

結局、この2人は後にイタリアンレストランでスパゲッティを食べた。

強敵を2チームとも撃破した所で、
続く！

第15話 くジャイ&静香コンビ V・S・ 進化した先生く（後書き）

3話連続達成。

健治はココでフェードアウトです。

二度と出ません。

はる夫はもう少し後になります。

ナレーションが頑張ってくれたので、ボーナスとして50万円支給しました。

どうでもいいですけどね。

・ 主役キャラ紹介（8 / 12）

緑川 聖奈

年齢：12才

のびハザシリーズオリジナルキャラ。小学6年生。

第11話で突然何処かへ行ったきり、全く出ていない。
弟に大して容赦はしない。

3,404文字。

第16話 〈忘れ去られた者たち〉（前書き）

忘れ去られた聖奈と聖夜が久々に登場します。超短いですが。

聖奈は5話ぶり、聖夜に至っては6話も出ていませんでしたとさ。

ちなみに武器の性能は実物とは異なっている物も多いので注意。

スコピオンに50発なんて装填出来ません。せいぜい20発がい
い所。

ただ・380口径（・380ACP）は実物と一緒にです。

AUGA1に42連マガジンも実物で存在するそうです。

ただ、連射速度は知らん。

第16話 く忘れ去られた者たち

忘れ去られた聖奈&聖夜チームを見てみましょう。
というかこのチーム自体今まで無かったけどね・・・。

聖奈「何だかんだ言って、結局着いてきてんじゃん」

聖夜「ダメ？」

聖奈「ダメだ」

聖夜「えー・・・」

聖奈「って言ったらどうする？」

聖夜「嫌でも着いていく」

以上、平常時なら平和な会話。

- - - - -

その頃の安雄は・・・

安雄「くそ、一体いくつパスワードがあるんだよ」

安雄は今6桁の第一パスワードを突破し、8桁の第二パスワードに挑戦していた。

いや、挑戦といってもハッキングだからあまり言い方は正しくないと思うが・・・。

安雄「つたく、下手したら更にかかるぜ」

今日1日中かかるかも知れない。5日目の最後になってもわからないかも知れない。

そういえばさつき縛って転がした女が「5日目の正午にはススキケ
原が核で消滅する」だとか言ってたな。
それまでに脱出しないとダメな訳か。

うん、じゃあ5個以上パスワードがあったらCD割ろう。うんうん。

安雄はそう思考を巡らせた。

- - - - -

その頃の健治は・・・

健治は額に穴が開いた状態で埋められていましたとさ。
死因：ジャイアンに額を撃たれる

- - - - -

さて、今回の話はココからが本編だと思って欲しい。
上の3視点は単なる幕間だと思って欲しい。

で、またドラ&のびコンビの追跡だが許して欲しい。
一応主人公コンビですからね。

のび「じゃあ、飯も食ったしどうするよ？」

ドラ「ん、やっぱゲーセン行かねえ？」

のび「おいおいおいおい、それはないそれはない」

ドラ「だって俺スリ（ル）ドラ（イブ3）したいもん」

のび「もあー、つつつても俺も何となくしたいからいいかな」

取り敢えず一行はドラえもんのスーツバイク・ライディングでゲ

ーセンへと向かった。

所変わってココはゲーセン。

のび「……………」

ドラ「……………」

のび「……………」

ドラ「……………」

のび「……………」

ドラ「……………」

のび「……………」

ドラ「……………」

のび「てめえ……………」

のび太が怒鳴る前に、ドラえもんが

ドラ「おいてめえ！！ 何でゲームの電源が落ちてるんだよ！！」
と、怒鳴った。

のび「何で俺に言っただよ！！」

負けじとのび太も怒鳴る。

2人は考えた。

ドラ「……………」
中に電源スイッチがあるんだよな」

のび「……………」
じゃあフタの鍵を探そう」

ドラ「……………」
あのレジの奥にあるかな？」

のび「……………」
あると思うよ」

ドラ「……………」
ところで何でセリフの前に「……………」が
付いてるの？」

のび「……………、だから何で俺に聞くんだよ」

取り敢えず一行はレジの奥へと臆することなく向かった。

ドラ「いい加減にしろよ……」

レジの奥へと入ると、突然ゾンビが襲ってきた。

店長ゾンビ「うあああああ」

のび「うわあ！」

反射的にのび太はベレッタM9の引き金を引いた。

発射された9mm弾は、店長ゾンビの頭に以下略。

のび「なんて言うワンパターンさだ」

ドラ「……………、取り敢えずいつから鍵も頂いたことだし、早速起動しに行きますか」

のび「そうですね」

ドラ「いいともでも見たか？」

のび「そんなつもりねえよ！」

ドラ「2度目だなそのセリフ」

2人はスリルドライブ3の筐体（きょうたい：ゲーセンのゲーム機のこと）のフタを開けて電源を入れ、ついでに100円玉を数十枚取った。

いくら電源入れても、金なきやプレイ出来ないからね。

2人は早速100円を投入した。

シートベルトは身長の場合上未装備。130cm以下は使用禁止だからね。

まあドラえもんはとにかく、のび太はギリで130cmありそうな

気もするが。

ドラ「コースどうする？」

のび「ヨーロッパでいいんじゃないね」

ドラ「シチュエーションどうする？」

のび「隠しシチュエーションでいいんじゃないね」

ドラ「車はどうする？」

のび「何で俺に合わせようとするんだよ！、とにかく俺は黄色のスポーツカー選ぶ、てめえは黒のピックアップでも選んでろ」

ドラ「へいへい」

2人はヨーロッパ 隠しシチュ スポーツカー（ドラえもんはピックアップ）を選んだ。

どうでもいいが筆者はスポーツカーを選ぶ際は必ずと言っていいほど1Pの席へ座る。

黄色が好きだから。でも最近カントリー車にも乗るようになったけどね。

- - - - -

ドラ&のびコンビがスリルドライブ3で最高にスリルのあるドライブを開始した頃・・・。

え？シャレじゃないですよ。大体スリルドライブって名前の由来がそれ（だと思っ）ですから。

？「えーっど？ 地図によるとここですが・・・え、この壁越えろと？・・・あ、入れた」

わざわざ独り言まで敬語のこの人、もう誰かはわかっただろう。
でも、口に出しちゃダメとの事。筆者談。

？「じゃあ、まあ、行きますか・・・」

当然、彼女・・・あ、性別バラしちった、まあいいか、とにかく彼女はもちろん例の子供×11（ドラえもん含む）捕獲任務でココへ来た、らしい。

「らしい」つまり確定じゃないんだよ！！！！

？「うるさいです」

アンタ初期版じゃ結構後の方で突っ込んだのに今度は3回目の発言でそれかよ！？

？「黙っててください」

・・・・・・ハイ。

（ナレーションと彼女は気が付いていないが、11人中1人は未登場、また1人は死亡済である by 説明役）

（説明役の方がよっぽど役に立ってるね by 筆者）

- - - - -

『ロータリーに、注意しましょう』

早速スリルドライブを始めた2人。コースとかシチュエーションとか車両とかは視点変更の前を見て欲しい。

ドラ「くっそ、雨で全然前が見えねえじゃねえかふざけんな」
のび「いいからいいから、あ、一方通行区分違反だ」

ドラ「お前何でわざわざ遠回りの方向選んだよ」

（これは2番目のロータリー。1番目はどっち選んでも大差はない by 説明役&筆者）

『高速道路に、乗ってください』

『パトカーが、接近しています』

ドラ「クソツタレ、ポリ公だ・・・ああ事故った！クソ！霧で全然前が見えねえ！」

のび「よし！今助けるぞ！！」

そう言つてのび太はドラえもんの事故車に突っ込んだ。

ドラ「はあ！？おめえ何やってんの馬鹿じゃねえの！」

のび「ゴメンね馬鹿で！」

『高速道路を、降りてください』

『前方に、注意してください』

ドラ「うわっ！冗談じゃねえぞ目の前真っ暗じゃねえかふざけんな！」

のび「こっちはライト点いてるから・・・いやあんまり変わんないな」

今更だが、こういうふうにプレイ中に絶叫を上げる馬鹿どもを一般

的に厨という。

『踏切では、電車に注意してください』

（うる覚え by筆者）

ドラ「よっしゃあああ！！ 電車に突っ込めえええ！！！！」
のび「待ってくれ！ 俺も今行く！」

ドラ「お前は来なくていい！ ……ヒャッハハハハハハ！！
見ろ！ 車がゴミのようだ！」

のび「お前大惨事ってなってんじゃん……5千万越えは半端ねえ
な」

ちなみにのび太は華麗にスルーというか回避した。

『修理工場を通過しました。車が修理されました』

ドラ「よしよしよしライトが点いた！これで勝てる！」

のび「そんなにそんな変わんねえよ」

『カーディーラーを通過しました。車を新車に乗り換えました』

のび「よし！ 新車に乗り換えたぞ！！」

ドラ「俺はこのままで行くぜ」

やがて、埠頭の直角コーナーに来た。

ここで速度が乗っているとほぼ間違いなく車ごと海にダイブするハ
メになる、恐怖のコーナーだ。

しかし、この2人の場合は色々と違った。

ドラ「よっしゃあ！！ 海にダイブしてやる！！」

のび「一緒に行こう！」

ドラ「おう！」

『アンビリバーボー！』』

ズドガシャーン。

2台の車は仲良く海へ突っ込んだ。

余談だが筆者は隠しシチュエーションだとここまで辿り着けないらしい。

『エンプティ！』

ドラ「クソ！ゴールまであと少しだったのに！！・・・あ、大凶だ」

のび「俺は小吉だわ、っつーかお前I・Qと体調の部分だけ凹んでるな」

ドラ「お前意外とうめえな、4回しか事故起こしてないじゃん」
のび「てめえは15回も事故起こすんじゃないやねえよ！」

損害賠償金。

ドラえもん・・・3億8,907万2,000円
のび太・・・9,987万6,000円

何だこの雲泥の差は。

ドヘタクソな筆者でも平均2億がいいトコなのに。
それよりヨーロッパなのに何故「円」なのかはゲームの仕様として突っ込んじゃダメ。

ドラ「よし、もう一回やろうぜ」

のび「いいだろう、次はU・S・A・やろうぜ」
ドラ「オーケー」

しかし、2人が100円玉を再び入れようとした瞬間、まず頭に硬い物がぶち当たる音がして、直後にのび太は気を失った。

ドラえもんは驚いてのび太を見て、そして背後に気配を感じた・・・時は遅かった。

既に2人の意識は闇に葬られてしまっていた。

？「ふう、2人確保完了と・・・次は学校ですかね」

当然ながら殴つたのは例のアイツ。

てかアンタ、どっちかと言えば麻酔銃か何かの方が似合うぞ？

？「知りませんよそんな事、まあ一応持ってきてはいますがね・・・」

「

いきなりピンチに陥る9人！

果たして、生還なるか！？

続く！

第16話 〈忘れ去られた者たち〉（後書き）

筆者はこの小説を書く11時間ほど前（8月24日15時頃）にスリドライブ3をプレイしました。
通常コンディションでもクリア出来ませんでしたとさ。

今回は何となく（半分は早く書きたいだけ）、キャラ紹介を2つ作りました。

次回で主役の紹介は終わりです。つまり、次回に今回の話で出てきた「？」の名前が明かされます。

・・・、まあ初期版読んでた方にはそれでもバレバレですがね。

・主役キャラ紹介（9 / 12）

緑川 聖夜

年齢：9才

3 - 1の教室に何故か居た人物。

今回、6話振りの出演を果たすがほぼ出番なし。

口調は荒い。

・主役キャラ紹介（10 / 12）

サーシャ

年齢：25歳前後と推測される

ヨーロッパのどこか（名前から判断して情報求む）出身。ヘタクソ

スナイパーだがトラップの腕は確か。

他にもナイフ技が得意で特製のナイフを持っていたりと、色々凄い人。ただ、少し間が抜けている、略してMN。しかし決してMNな

のではなく「天然」である。

カタコトながら日本語を話せるお陰で、何とか主役からは外されずに済んだ。しかし縛られた拳句にリシングスキーに8回も踏みつけられたりして色々面白いキャラ。

実際に無理のない？プレイヤーにも人気が高い。が、それをネタに（ピー）な方向に話を振るせいで125氏がブチギレしてしまった。詳しくは公式ヒント集の一番下。

筆者は今回の話の「？」と同じくらい好きなキャラである。

余談だが、特製ナイフはCS：Oのナターシャが持つてるシールナイフと一緒に設定。名前もそっくりだし狙撃がメイン（というのはプレイヤー次第）という事で、どっちかがパクった可能性がある。

ただ無理のない？が出来た頃にはまだCS：Oは女キャラが居なかったし、その逆もちよつと有り得ない気がするので偶然の一致だろう。

サーシャ「何で私のだけこんな長いのよ・・・」

筆者「心配するな。リシングも「？」もかなり長いから」

3 / 7 4 3 文字。

第17話 〈Missing those days・・・〉（前書き）

サブタイトルの由来は・・・

エターナルシティ2の「missing those days」
聴きながら打ってます。

まあ、「Everything's alright, I can see the light」も好きですが。

更に「soliloquy」とか「Paradox」とか・・・あ
あもう！全部好きなんだよ！

ちなみに無料配布中なので、「エターナルシティ2 音楽」と検索
すれば出てくるはずですよ。

但し、登録が必要です。

XPだと無料ダウンロード中にアドオン関係の警告が出ますが、無
視しないとエラーで詰まります。

てか、無料なのに何でコピー（ー）プロ（テクト）掛かってんだ？
mp3に変換できねえ。

肝心のゲームの方は死にまくりですが。

で、サブタイトルは内容とは無関係ですが。

いや、前半のカラオケの部分だけは上記の曲を歌う設定ですが。

あ、ネタバレった。

ちなみにカラオケの描写をちよいと改善。
音符だらけよりはるかにマシです（笑）。

第17話 〈Missing those days...〉

ドラ&のびコンビが気絶しどっかにブチ込まれてから早10分。
例の「？」は学校に着いた。

？「はてさて、ちゃっちゃと事を済ませて帰りますかねえ・・・東京は暑くてヤです」

初期版で書いたかどうか知らないけど、この方は北海道出身っていう設定だそうです。

それ以前に誰かわからないか。

とにかく、そう言っただけで彼女は学校の中に入った。

麻醉銃を手に持って。そして外に停めてある車の中には気絶しているドラえもんとのび太が。

その時、3-1の教室から何やら歌声が聞こえてきた。

- - - - -

「？」が入ってきたとほぼ同時刻、3-1の教室ではもの凄い事が起こっていた。

静香「イエーイ、乗ってるかー！」

ジャイ&スネ「イエーイ！」

静香がマイクを片手にテンション高く叫び、ジャイアンと（何故か居る）スネ夫の2人もハイテンションで返す。

そう、何を隠そうココで行われているのはカラオケ大会。

というのも、偶然静香が3・1の教室に入ったらカラオケセットを見つけたという事で、ジャイアンとスネ夫を呼んで大会を始めたのだ。

先鋒(?)は静香。

静香「よし、私は……」soliloquy「だ!!」

スネ「イエーイ！……って、何で英語の曲が入ってるの？」

「ジャイ、いいから黙って聞いてろ！」

静香「
」

」
」

」
」、
」
」、
」
」

」
」
」
」
」

気になる結果は・・・

ジャカジャン！

プレイスレス！

ん
残念！

スネ「ネタが不謹慎だぞ．．．リアルで司会の島田氏引退したのに何で出張鑑定団なんだよ」

ジャイ「っつーかネタの使い回し自重」

まあジョークは置いて、結果は何と98点！

「ジャイ、おお、じゃあ次俺な」

静香「OK、ほらよ」

静香はマイクをジャイアンに投げて寄越す。

と、そこでスネ夫が止めに入った。

スネ「待て待て待て!! ジャイアンのような音痴が歌ったら命の

危険が・・・」

ジャイ「行くぜ！」

スネ夫の言葉が耳に入らなかったようにスルーし、歌い始めた。当然、地球破壊爆弾並みの音痴な声が響くと思った大げさなスネ夫は、耳を塞いでいつでも窓の外に脱出できるように体勢を取った。しかし、そんなスネ夫の予想は外れる。

ジャイ「(missing those days - V・A・
(エターナルシティ2))」

スネ「あ、あれ？」

静香「ジャイアン上手いじゃん！もつとやれ、もつとだ！」

疑問をこぼすスネ夫をガン無視して、静香は興奮してはやし立てた。

で、結果は・・・100点！！

ジャイ「っしやあ！今バージョン最速の100点頂きだ！」

スネ「は、多分自分の歌じゃなかったから・・・いや何でもない、次僕ね」

言葉の途中でジャイアンに睨まれた為、話題を変えてマイクを貰った。

スネ「(Take my hands (Don't say
good-bye)) - MISSPRAY)」

ドヘンタイの歌声は大抵音痴であるように（実際筆者がそうだから）、スネ夫も例外ではなかった。

だから、結果は当然ながら23点とかなりの低得点であった。

（スネ夫とか言う下劣極まりない野郎のせいで折角のいい曲が台無しだ。ふざけんな畜生、後でぶつ殺してやる by筆者）
何やら上で筆者が凄いこと考えてますが、それは置いて・・・。

突然窓側で小規模な爆発が起きた。

それに反応した3人が窓側に駆け寄った瞬間、まず静香がいきなり倒れた。

といっても死んではない、気絶しただけだ。

しかしそれでも残りの2人の注意を引き付けるには十分だった。

真っ先に駆け寄ったジャイアンに一発。そして更にスネ夫にも一発お見舞いした。

こうして3人は「？」の麻醉銃により気絶させられた。

その後、車に乗せられたのは言わずもがななので省略。

- - - - -

安雄「よしよしよし、2番目のパスワード4桁目わかった！次は5桁目だな」

1番目のパスワードは英語小文字（26種類）のみの6文字で、「victor」だった。

2番目のパスワードは英語大文字・小文字（52種類）で8文字。今は「Gas****」と4文字目まで発見された。

ここだけの秘密、パスワード数は4つ。

1つ目と2つ目は上に書いたので省略。

3つ目は10文字で「英語大文字・小文字・数字（62種類）」、

4つ目に至っては16文字な上に「英語大文字・小文字・数字・記号（397種類）」とかかなりの組み合わせがあるタイプになる。

鉄壁のセキュリティだ。少なくとも時間をかければ安雄には見破られるが・・・。

ちなみに理論値・・・つまり、（文字数）×（種類数）の答え、で言えば1つ目の組み合わせは156通り、2つ目は416通り、3つ目は620通り、4つ目に至っては6352通りもある計算となる。

更にここだけの話、筆者は8つまで作ろうと思ったがネタも思いつかないし何より鬼畜なので止めておいたらしい。
偽善者め。

と、そこで後ろから誰かが近づいた。

ビックリして安雄が振り返った時には遅かった。

もう気絶していた。もちろん、車逝きになった。

- - - - -

本格的に手抜きが見られる中、今度は出木杉&聖奈&聖夜の居る場所・・・南校舎2Fに移動。

結局この3人をくっ付けた筆者であつた。

そして、結局この3人を追走する自分ナレーションであつた。

出木杉「24時間テレビっていつだっけ？」

聖奈「8月21日じゃないかな、あと20日以上あるわよ」

出木杉「ああそうか、でもこの小説21日まで書くのかなー」

聖夜「安心しろ、あのクソ筆者ならマンネリ・ダラダラと続ける可能性が高い」

出木杉「そつか、それもそうだね！」

ふと、すぐその5 - 3の教室から気配を感じ取ったので、出木杉はそこへ入り・・・そして、気絶した。

まあもう理由は言う必要ないよね。

で、驚いた2人が同じように5 - 3の教室に入り・・・そして、気絶した。

その後彼らは車の中に・・・言う必要ないよねコレ。

目標の11人中、1人の死亡と9人の気絶、残りの1人は搜索中だがどうせ死んだらうという事で、彼女は無線機を手に取った。

リシング『はい、こちらリシングスキー・クリーニング店』

そんなリシングのアメリカン・ジョークを華麗にスルーし、「？」は？『目標11人の内、9人を確保、1人は死亡を確認、残りの1人は搜索しましたが見つからないので死亡と判断しました』

リシング『本当かトリシバ！ 今ドコに居る？』

またもこんな方法で名前をバラす筆者の汚いやり方であった。

鳥柴『今は学校の外に停めた車に乗ってます』

リシング『よし、俺は今・・・何て読むんだ？おいサーシャ！お前日本語少し出来んだろ？ココのボロっちいアパートの名前教えてください』

サーシャ『えつとー・・・「田中荘」だと思います』

リシング『聞こえたか？取り敢えずこのタナカソウに来てくれ、多分ココから学校つばいのが見えるからそんな遠くはないと思う』

鳥柴『了解です！』

そして彼女・・・鳥柴は無線機をコートの内側へとしまった。

さて、気絶させられアンブレラ社の偵察員3人に捕まってしまった

9人！

残りの1人は今何処に？じゃなくて、果たして9人は無事に生きて帰れるのか！？

続く！

第17話 〈Missing those days．．〉（後書き）

あーもうメツチャ手え抜いたにも関わらずメツチャ疲れたわ。（
普段の口調がこんな感じ）

前回の後書きで書いた通り、今回もキャラ紹介は2つ作ります。

・主役キャラ紹介（11 / 12）

リシングスキー

年齢：原作（仮）だと40歳という設定だが本小説では27歳という設定

わざわざ後の伏線として（まあ言ったら「伏線」じゃないけど）年齢を13歳も引き下げたキャラ。断じて13が好きだから13歳下げた訳ではない。マジで。

でも、隊員のヤノフだってリアル35歳・ゲーム中18歳で17歳も引き下げられてるから問題ないよね。

ギアラの都合で隊員のリシー・ヤノフ・エスター・セイカーは登場しない。

小説では口調が荒く、またサーシャを8回も踏みつけるなど若干凶悪。まあアンブレラ隊の時点で凶悪もクソもないが．．．

なお、原作（仮名）の紅茶好きの性格は引き継いでいる。

・主役キャラ紹介（12 / 12）

鳥柴

年齢：本人談は20歳。しかしもしかしたらそれは5年前のかもしれない。別に20代なのは変わらないから問題ないけど

主役キャラ紹介最後を締めくくる、というか（筆者が）無理やりさ

せられた。まさに外道。

細腕の割には結構強かったりする。但し若干常識はずれ。しかしこの小説内ではサーシャ・リシングスキーと並び最も常識人になるかもしれない。

真正の馬鹿でもある。原作(?)ではゾンビにやられてもマキロン塗って風邪薬飲んで寝ていたら次の日には何ともなかったという話もあるほど。

ただこのエピソードは鬼難易度の2周目でしか見れない。

なお、初期版ではリシングスキーに代わって紅茶好きという設定だったが、今回は無かった事にされている。ただ卵好きは引継ぎ。ちなみに読み方は原作(かな?)だと「トシバ」だが、終始「トリシバ」と呼ばれた。そしてこの小説では初期版と同じ「トリシバ」という読みが正しいようにしてある。

・ 主役キャラ紹介 (13 / 12)

ナレーション

年齢：32歳だとか

何やら2つ以上作っている上に12からはみ出しているが、一応彼も主役なので紹介させて貰おう。

初期版・失敗版(2つ目のアレ)から引っさげ登場。性格は若干変わってきているが、結局は一緒。

ただの馬鹿だ。関係ないが、給料は30万円という設定。

説明役と筆者の紹介は次回にでも。

まあ自己紹介になっちゃいますがね。

短いように見えて、2,850文字。多分改行が少ないからかな。

第18話　く16時だよ！全員集合！く（前書き）

サブタイトルは思いっきり「8時だよ！全員集合！」のネタ。16
って8の2倍ですし。まあ4の2乗ですが。

ちよつと前までCMで「K'sだよ！全員集合！」ってありました
よね。

というか、このネタも失敗版にありましたね。

後にはのび&サーシャとかリシング&鳥柴とかのコンビも出すかも。
このへんは無理のない？と一緒にですね。

ドラ「凄いネタバレだ」

第18話　く16時だよ！全員集合！く

9人が気絶させられてから2時間後。

1人が死んでから約3時間半後。

更にもう1人が行方不明になってから約不明時間後。

（意味がわからん・・・by筆者）

で、今は7月30日16時頃。

ココはどっかの地下倉庫。

やっと9人は目を覚ました。

笑える位、同時に目を覚ました。

いや、怖くなる位の同タイミングで。

のび「うゝん・・・」

ドラ「ここは・・・」

静香「どこだ・・・」

スネ「そして・・・」

ジャイ「おれは・・・」

安雄「いつたい・・・」

出木杉「だれ・・・」

聖奈「なんだ・・・」

聖夜「ろう・・・」

ドラ「って何言ってるん！　っつーかにいっど」

のび「監禁室か何かじゃねえの」

静香「マジかよ！で、今何時」

のび「16時ごろじゃねえの」

ジャイ「おいおいおい、もう2日目残り8時間かよ！」
のび「そうじゃねえの」

出木杉「っつーか安雄君解析どこまで終わった？」

のび「2つ目の4桁目じゃねえの」

安雄「何でお前が言うんだよ！まあそうだけど・・・ところで俺は誰？」

のび「安雄じゃねえの」

聖奈「何言ってるんだてめえら、っつーか何で椅子に縛り付けられてるわけ」

のび「拷問するためじゃねえの」

聖夜「誰か縄をちぎってくれえええ！！」

のび「無理じゃねえの」

スネ「っつーか僕のセリフだけ無いのはなんで？」

のび「筆者が思いつかなかったからじゃねえの」

ドラ「きみはじつにばかだな。」

のび「そうじゃねえの」

ドラ「何が言いたいんだお前」

のび「知らねえよ」

ココに来て初めて語尾が変わったのび太。

しかし、それからの会話は・・・。

静香「っつーか腹減らね？」

のび「知らねえよ」

ジャイ「っつーかココ空気薄くね？」

のび「知らねえよ」

スネ「っつーかカラオケしたくね？」

のび「知らねえよ」

安雄「っつーかCD無くなってるね？」

のび「知らねえよ」

出木杉「っつーか会話として成り立ってなくね？」

のび「知らねえよ」

聖奈「っっーか私空気になってね？」

のび「知らねえよ」

聖夜「っっーかそれ俺もなつてね？」

「のび知らねえよ」

ドラ「っつーかさこの同じパターン終わらせね？」

のび「それもそうだな」

やっとワンパターン・ループから抜け出した。

と、そこへドアが開いて、青髪の外人っぽい男と、さつき縛つて転がした女と、それと日本人の女が入ってきた。

読者の皆さんは多分わかってると思うけど、外人男はリシングスキ
ー、縛った女はサーシャ、日系女は鳥柴という名前である。

のび「（男女比率いいな、6:6つまり1:1じゃん、まあ筆者とかナレーションとか説明役とか入れたら9:6つまり3:2だな）」

リシング「どうやら全員お目覚めのようだな」

ドラ「あ？何だてめえ、ココ日本なんだから日本語で喋れよ」

出木杉「まあまあドラえもん、ココはクールに行こうよ」

ドラ「てめえは黙ってる」

リシング「何だこの青ダヌキ」

ドラ「何だとてもええええええええええ！！！」

次の瞬間、ドラえもんは手足を縛っているロープをぶつちぎってリシングスキーに襲い掛かった。

そして更に次の瞬間、リシングスキーはドラえもんの丸い頭が顎に命中しぶつ倒れた。

のび「てめえそんな力出せんなら最初からそうしろよ！」

ドラ「うるせえな、この青髪野郎が悪イんだよ」

安雄「いや、寧ろ良いだろ」

ドラ「てめえは黙ってる、ところで貴様らは何だ？あ？言ってみるよ」

のび「そんな風に言っつて、言うはずが・・・」

もちろん、鳥柴は無言だった。ちなみにリシングスキーはちょっと気絶中。

しかし、サーシャが

サーシャ「昨日ノ夜ニ デンワ カカッテ コナカッタ？」（以下もずっとカタカナ＋漢字です）

と、言っつてしまった。

ドラ「何だつて？てめえへたくソな日本語使っくらいなら黙れよ」

仕方なく、鳥柴が翻訳する。

鳥柴「・・・昨夜にドラえもんとかいう青ダn・・・コホン、青色のロボットに電話を掛けたとの事です」

ドラ「は、てめえ命拾いしたな、それより電話なら掛かってきたけど・・・ああ、てめえら噂の偵察員か！」

そこで意外と早く目を覚ましたリシングスキーがサーシャの顎に鉄拳を食らわす。

リシング「この馬鹿野郎！！ 何で言っちまうんだよ！！」

のび「お前ら馬鹿だろ」

リシング「んだとこのクソガキやああああ！！！！」

今度はリシングスキーの蹴りがのび太に命中。

お陰でメガネが割れてしまった。

それで、メガネを壊されたのび太は怒り、ドラえもんと同じように縄をちぎる。そして

のび「痛ッ！ てめえ何しやがる！！」

叫んで、リシングスキーの顔に上段蹴りを決めた。

リシング「いてええええ！！！！」

そしてまたリシングスキーは気を失った。

ドラ「何なんだこのグダグダシーンは」

鳥柴「全くです」

ドラ「つつーかてめえ敵じゃねえかよ、何適当な同調してんだよ」
そこで鳥柴は土下座した。

のび「アンタに土下座は似合わん」

のび太のこのセリフに、すぐに反応して鳥柴は立ち上がった。

サーシャ「一体ドウイウコトヨ・・・」(一体どういう事よ・・・)
ようやく立ち上がったサーシャが、今の一部始終を見てそう言う。

何故か日本語で。

安雄「つつーかアンタ日本語上手くなってるね？何つつーか、区切りが前よりマシになったつつーか」

サーシャ「シラナイワヨ！」(知らないわよ！)

リシング「さて、茶番はこれまでだ」

ようやく気を取り戻したリシングスキーが、立ち上がって全員の前
に立って言う。

ドラ「てめえが茶番にしてんだろ」

リシング「うるせえな、とにかく全員注目！」

リシングスキーのこの言葉に、ドラえもん達9人+馬鹿な偵察員2
名はリシングスキーの方を向いた。

リシング「先ほど本社の方から貴様らを抹殺するために追加でウイ
ルスが散布されたのは知ってるな？」

(ナレーションは給料泥棒という事で手を抜いて説明していない
が、翻訳役の鳥柴を通してのび太たちに説明しているのだ by 説
明役)

ドラ「知らねえよ、そんな急展開初耳だよ馬鹿野郎」

リシング「じゃあ説明してやる、現地時間の30日つまり今日に貴様らの捕獲を命じられた」

のび「だからあん時頭殴られたのか」

リシング「で、16時になっても捕獲できない場合はウィルスを追加で散布して抹殺すると脅迫もあった訳だ」

ドラ「流石のクソ会社だな、何でもしやる」

翻訳役の鳥柴は全てを聞かなかった事にし、ただ翻訳に徹する事を決めた。

リシング「それで、捕獲できたのは2時間前だ。しかし本社は勝手に俺たちを巻き込んでウィルスを撒こうとしている・・・多分今頃は撒かれてる」

静香「おいおい、ヤバイじゃん」

リシング「モルモット扱いや無謀な作戦ならともかく、これは酷い裏切り行為だ、俺はもう我慢ならん。だから俺は連中を裏切る」

ジャイ「アンタらいつもどんな事されてんだ」

と、ここで説明する役（カッコ内の説明役ではない）がサーシャに切り替わる。

いや、ただ意見を言うだけのようだ。

サーシャ「ジャア、私モ 隊長ト同じ 意見デ・・・」（じゃあ、私も隊長と同じ意見で・・・）

続いて鳥柴も

鳥柴「では私も同じ意見で。決まりですね」

と、締めくくった。

何故なら子供8人と1人外は最初から連中の味方ではないからだ。

リシング「決まりだな、よし鳥柴、そいつらの縄を切ってやれ・・・まあ2人はもう切っちゃったようだが」

鳥柴「はいな」

出た名言かつ迷言。

まあそれはとにかく、7人（ドラえもんとのび太は既に切っていたのを上の一件を読み返せばわかるだろう）はようやく解放された。と、そこでリシングスキーが言った。

リシング「ああ、そうそう、そいつらに伝えてくれ、「邪魔をしたらその場でぶち殺す」とな」

鳥柴「はいな」

6行しか空いてないまま2度使うのはどうよ？

まあつまり、1度目からまだ6行しか開いてないのにまた使うのはどうかって事。

鳥柴「クセですからしょうがないです」

あつ、そ。

そういう訳で、9人は自由になった。

こうして主役は出揃った。

ここで、こう言おう。

「16時だよ！ 全員集合！！」

まあ実際の時間はそろそろ16時半になるが、それよりサブタイトルのネタが今更出ても全然面白くないのは明らかだ。

筆者の脳みそではどうでもいいらしいが、それより何よりネタの使い回しは本当にどうしようもないな。

まあ、そういう事で、

続く！

第18話　く16時だよ！全員集合！く（後書き）

友人がドリフトシティやり始めたらしい。

一応自分は作成から4年目（プレイ期間は概算1年半）だが、友人はペーパードライバーなので一応は負けたくない。

・12からはみ出した主役キャラ紹介（14 / 12）

説明役

年齢：自称35歳

失敗版からの登場。初期版でも登場していたかもしれないが、忘れた。

今回はあまり喋らず（「カッコ」でセリフが表現されないという意味）、コソコソとナレーションの事を語ったりする。

実は小説中一番マトモな人。

・自己紹介になってしまう主役キャラ紹介（15 / 12）

筆者

年齢：設定22歳、リアル15才

自称・典型的な中二病患者。このくだらない文を打っているのもコイツ。

経費をケチってギャラは3名にしか与えていない。

ちなみに総経費は約300万（うち約220万がナレーション用衛星装置代）。

やっと主役キャラ紹介終わったああー。

3 / 307文字。

第18・5話 〽キャラ紹介まとめ (ネタバレ注意)〽 (前書き)

いわゆる番外編ですね。

全キャラのまとめに入りたいと思います。

紹介されていない健治と行方不明のヤツも紹介しますし、一部文章が書き換わってます。

あと、行数も増えてるのが多いです。

色々ステータスっぽいのを付け足そうかと思ったけど、「Q c h a d e e l」先生のキャラ紹介を見て「こっちの方が見易いなあ」と思い、やめました。

サブタイトルに「(ネタバレ注意)」ってあるのは、初見の人が先にこれを見て後悔しないように・・・という配慮。

でも、必要ないかな。「1・85話」だし。じゃないじゃない、「

18・5話」だ。(小数点の位置に注目)

第18・5話 〈キャラ紹介まとめ〉（ネタバレ注意）

・キャラ紹介まとめ

読み方

・本名（「カッコ」前の名前の略称）

年齢：18才未満は「才」19歳以上は「歳」で表記

18話までの所持武器：18話で捕まる前に持っていた武器リスト

一行開けて、説明文が数行（大体5行くらい）

- - - - 生存中の主役キャラ - - - -

・ドラえもん（ドラ）

マイナス

年齢：2112年から概算、-101歳（＝小説開始時の年は2011年）

18話までの所持武器：ナイフ／ベレッタM9／870ショート

第1話でのび太の言動が狂っていたため、何故か言動システムに影響を受けて狂ってしまった。

「ヤサシクスルン」という薬を撒こうとした際、ミスってT・ウィルスをばら撒いてしまった。

その為今回の事件の発端の4割はこいつのせい。

流石に未来製なだけあり、かなりタフ。運転に関しても、荒っぽい
が確かに技術自体は高い。

「青ダヌキ」と言われるとキレるが、「Blue Tanuki」
だ何故か反応しない。

なお、ゲーセンのスリルドライブ3マニアでもある。

・野比 のび太（のび）

年齢：10才（11才だったかも）

18話までの所持武器：ナイフ／ベレッタM9／MP5A5／ドラ
グノフ

何故か第1話から言動が狂っていた、変な奴。

銃の扱いはかなり上手。最近ではナイフプレイ主義者のせいでナイ
フ系も上達中。

第10話では凍てつきそうなほど寒いダジャレを連発し、ドラえも
んに怒鳴られた。

メガネを壊されるとブチギレする。

今回の事件の発端の2割5分はこいつのせい。残りの3割5分（第
9話の「4割5分」はミス）はアンブレラのせい。

カラオケも好きな、ちょっと趣味が分からない奴でもある。

・源 静香（静香）

年齢：10（11？以下省略）才

18話までの所持武器：ナイフ／ベレッタM9／スコピオン／R
PG-7

ステータスがやけに極端だが、この際その事は語らないでおう。

普段はおしとやかで成績優秀で言うことなだったが、非常事態の
為裏が出ている。

RPG-7を容赦なくジャイアンに発射したり（まあ発射しなけれ
ば死んでいたが）、威圧で他の8人を強制的に従わせたりと凶悪。
しかし、従っていればちゃんと護衛もしてくれる良いキャラでもあ
る。

ジャイアンを一番の部下とし、新コンビ結成の話を持ちかけられるが、残念ながら断られた。

・骨川 スネ夫（スネ）

年齢：10才

18話までの所持武器：ナイフ／ベレッタM9

普段は金持ちということもあってジャイアンと幅を効かせていたが、それが仇となり非常事態の現在では最も踏んだり蹴つたりのキャラ。具体的には・・・武器はくれるが予備弾をくれなかったり、酷い仇名（笑）を付けられたりetc・・・
なお、今は「壊れた高射砲以下の肥溜め野郎」が仇名^{あだ}である。
しかし、こうした扱いを筆者が好むため、絶対に死なないキャラでもある。

・剛田 武（ジャイ）

年齢：10才

18話までの所持武器：ナイフ／ベレッタM9／マック10カスタム／ステアー AUGA1

通称・ジャイアン。

普段は街のガキ大将という事で幅を効かせていたが、人情にも篤い^{あつ}為非常事態でも踏んだり蹴つたりされないキャラ。

ついでに言えばパワフルで頼りになるし。おかげで静香からは多大な信頼を得ている。

まあ、コンビ結成は丁重にお断りしたが・・・。

なお、所持武器の「マック10カスタム」は先生から無断で拝借したもの。

・ 出木杉 英才 （出木杉）

年齢：10才

18話までの所持武器：ナイフ／ベレッタM9／モスバーグ590K

のび太のライバル（と思ってるのはのび太だけだが）でガリ勉馬鹿。何でも出来る。

しかし、シャレのセンスはのび太と同レベルという情けない一面もある。

なお、「出”来”杉」ではない。間違ってる人はかなり多いので注意。

何故か13話ではちょっと傲慢になっていたが、その後は元に戻ったが空気になった。

とつくに忘れ去られていると思うが、ショットガンも持っている。

・ 安雄 （安雄）

年齢：10才だと思われる

18話までの所持武器：ナイフ／ベレッタM9／MGL140

本家のびハザでも小説版でもグレ（ネード）ラン（チャー）持ち。

本家ドラえもんでも小説でも空気。もしかしたら名前だけ出ていないのかもしれない。

偶然グレ（ネード）ラン（チャー）を手に入れた喜びで乱射し、30発も出木杉に被弾させた。

それでも死ななかった出木杉に、安雄はビビッて（体を）引いたとか。

基本空気だが、パスワード解析（という名のハッキング）が得意なので役立たずではない。

・緑川 聖奈（聖奈）

年齢：12才

18話までの所持武器：ナイフ／ベレッタM9／552コマンダー

のびハザのオリキャラ。本家では活躍していたし、小説でも初期版はそこそこ出番があつたが今回は・・・。

弟が居るが、姉弟間の仲は異常に悪い。

無理の無い？のシナリオで、秀樹というキャラ（多分弟だったかな）が居たが本小説では無かつたことにしている。

そもそも無理の無い？自体の製作が止まっているので。

本小説ではこれからも「空気もいい所」なレベルの扱いなので、このキャラが好きな人は注意。

・緑川 聖夜（聖夜）

年齢：9才

18話までの所持武器：ナイフ／ベレッタM9／マカロフ

のびハザVXのグラフィックに入っているキャラ。しかしプレイ中には存在しない。

だが、折角なので出演させた。ギャラは無いが。

姉の聖奈同様空気もいい所なキャラでもある。

なお、まだ本編には出ていないが観察眼が鋭いという設定。初期版ではそれがちよつと役立った事もあつた。

・サーシャ（サーシャ）

年齢：25歳前後と推測

18話までの所持武器：特製ナイフ／ベレッタM9／870ショット／ドラグノフ（870ショットとドラグノフは奪われたが、一応記載しておく）

「カッコ」前の名前がリシングスキーと同様とても長い。上手い略しがいまい付かなかったんだよ畜生orz

とにかく、ヨーロッパ方面出身の方。UBCSではなくUSS隊員。だが筆者は両方ともよく知らない。

本家（？）無理の無い？でも（序盤の方は）アホの子扱いだが、本小説ではそれに拍車が掛かっている。

だが、本家と同様、後半はどうなるかわからない。

のびハザプレイヤーに総じて人気が高いが、それをネタに（ピー）な方に話を振った不屈き者が大勢居たため、遂に125氏（無理の無いシリーズ製作者）がブチギレてしまった。

詳しくは <http://nobihaiza.me.land.to/murina.html> の一番下。赤字の上に反転せずとも見れる点でも125氏の怒りが読み取れる。

だが、125氏は失踪中のため今のところは消される心配は無いだろう。ちなみに筆者もかなりのお気に入りだが、それをネタに（ピー）な方向に話を振る気は全く無い。

寧ろ初期版・失敗版で出せなかったが、3作目にしてようやく出せたので、それだけで十分なんだとか。その為かギャラが（300万 - 220万）80万中35万と非常に高い（それでも普通よりは少ないが）。

残りの45万の割り振りは次から。

・リシングスキー（リシング）

年齢：無理の無い？では40歳、本小説では27歳

18話までの所持武器：アーミーナイフ／M1911／AK-47

ノサイガ12カスタム

「カツコ」前の名前が4文字とか長すぎだが、これ以上略するのはマズい気がするのではない。

本家（？）無理の無い？では40歳だが、本小説では諸事情により27歳に引き下げられている。13歳もダウン。

だけど本家のヤノフだって35歳から18歳に下げられてるし問題ないよね。

ギャラの都合で他の隊員（リシーツァ・エスター・ヤノフ・セイカ―）は未登場。筆者曰く「これ以上経費があがったら売り上げが足りなくなる！」衛星機器に金をつぎ込むなよ。

なお、売り上げは「（読者数×10）円」だとか。1,000人なら1万円。つまり30万人以上の読者がいないと赤字のようだ。無茶だな。

そんな話はどうでもいい。

本家より若干ワイルドな性格で、サーシャを8回も踏みつけたりのび太の顔面に蹴りを入れたりと若干凶悪。

しかし流石にドラえものの頭が顎に当たると気を失ってしまうようだ。

そうそう、ギャラは10万。残りの35万はやっぱり・・・？

・鳥柴（鳥柴）

年齢：自称20歳・他称25歳前後、本人はあくまで20歳と言いつ張る（実際の年齢は本編で明かされるかもしれない）

18話までの所持武器：ナイフ/FNP-45/麻醉銃

無理の無い？から抜擢3人目。このキャラも人気者だがサーシャのように（ピー）な方に話を振られない。筆者もお気に入り。

初期版にも登場、2重スパイっぽい人だった。2度目の登場なので、

読者数によつてはギャラの割り増しも考えているとか何とか・・・今は35万である。

今回はスパイとかそういう事一切なしで、いきなり麻酔銃で撃ったり殴ったりして捕まえた。

理由は「東京は暑いから早く帰りたい」との事。北海道出身の為である。まあ、帰させねえかな？

何故か常時敬語だが、それは恐らく中間管理職だからだろう。しかし負傷時にも敬語はどうよ。詳しくは本家をやれ。

- - - - - どうせ長生きはしない脇役キャラ - - - - -

・翁雅 健治 (健治)

年齢：12才

所持していた武器：折りたたみナイフ／ベレッタM9

聖奈の同級生で、見た目は不良。中身も同じく不良。

元々主役だったが、筆者の「キャラとしてメンドクサイ」という理由で脇役に格下げられてしまった。

一度はドラえもんとのび太に埋められるが、第15話でジャイアンに襲い掛かるも、唐突過ぎたので引き金を引かせてしまい、結果ご臨終。

武器は両方とも埋められたようだ。

・はる夫 (はる夫)

年齢：10才と思われる

所持している武器：二挺ベレッタ／9号マシンピストル

のび太たちの同級生だが、結局空気。本家「ドラえもん」ですら空

気である。

初期版でも酷い死にザマだったが、今バージョンではどうなるか見ものである。

なかなか良い武器を所有しているので、もしかしたらそれをネタに殺されるかも・・・？

- - - - 「カッコ」が付かないキャラ - - - -

・ナレーション（ナレ）

年齢：32歳

家族持ちのナレーション。初期版でも失敗版でも登場していた為、給料は沢山ある。

しかし月給30万と非常に安い。なお、給料は「経費」に含まれない。

だが、それは彼の仕事振りが悪いから。本人に自覚が無いのが問題。たまに筆者と給料争いをする。

220万もする衛星機器を扱い、ナレーションとして働いている。

・説明役（説明）

年齢：自称・35歳。しかしそれは10年後の年齢かもしれない

一人暮らしらしい人。給料は70万/月。働き振りがとても良いから。

初期版でも多分登場していたと思うのだが、相変わらずマジメである。

なので、本小説中一番マトモな人。筆者は気が向いたら給料を100万にしようかと考えている。

ちなみに衛星機器を扱うナレーションの横に座っており、衛星画面もちゃんと見ている。

年齢は35と言うが、実際は多分25歳前後だと思われる・・・。
何故嘘をつくんだ。

・筆者（筆者）

年齢：リアル15歳・設定22歳

自分に利益になるなら何でもする、金の亡者（大げさ）。

最初は200万でやろうと思ったが、衛星機器が高いため仕方なく300万に経費を引き上げたとか。

給料を含めば400万となるので、40万人以上の読者を目標としている。

（利益＝（読者数×10））

大抵爆音でイヤホンを付けて音楽を聴くので、最近耳が遠くなったとか。

第18・5話 〽キャラ紹介まとめ (ネタバレ注意)〽 (後書き)

ミスチルの「筭星」聞きながら全力で執筆。

ああ、本当に読者1人につき10円貰えないかなあ・・・。

キャラ紹介のクセに長く、4,600文字。

第19話 ｝Jive Drive・・・｝（前書き）

GTA：VCSのミッション名。

ミッション名をサブタイトルに使うのは失敗版と一緒にですね。
初期版でも少しだけやってましたけど。

まあ理由としては・・・今、It's Like That
Run D.M.C. 聴いてるから気が向いたのかも。
-

第19話 〈Jive Drive・・・〉

今は16時半。

まだ夏の初め（7月30日）なので、まだまだ明るくなっている。もつとも、あと1時間もしたら夕方になるが・・・。

ドラ「ああ、そうだ、翻訳コンニャクを」

ドラえもんが、ポケットから翻訳コンニャクを幾つか取り出して、その中の1つを自分が食べつつ言う。

と、そこへリシングスキーの手が伸びた。ついでにのび太の手も。ドラ「Why!？」

あつという間にドラえもんの手から翻訳コンニャクは無くなった。

ドラ「てめえ何すんだよ!!」

リシング「腹が減ったんだよ!・・・あれ?日本語が話せるぞ?」

取り敢えずリシングスキーは一瞬で翻訳コンニャクを食べ終えた。すると、突然日本語で話し始めた。

ドラ「ああ、それ食べると全世界の言語喋れるよ」

リシング「すげえな!じゃあサーシャの分も出してやれ」

ドラ「ごめん、今アンタとのび太と俺が食ったので全部だわ」

サーシャ「・・・。。。。」

のび「気にするな。筆者はただアンタのカタコトが好きただけだから」

サーシャ「マア、ギヤラモ沢山アルカラ イイカナ・・・」（まあ、ギヤラも沢山あるからいいかな・・・）

取り敢えず倉庫の敷地内にある鳥柴の車に、のび太とリシングスキー以外は乗り込んだ。

2人が残された理由は「ハマーH2でも12人なんて乗れない!」。初期版ではトランクに乗せてたくせに。

ああ、そうそう、鳥柴の車は赤のハマー H2。初期版とは違いメーカー純正品である。

ちなみに、車の違反行為には「定員が異常者」・・・訂正、「定員外乗車違反」ってのがあつてだな・・・まあこの際非常時だし関係ないけどね。

(ミス変換でこんな素晴らしい文が出てくるとは思わなかった by筆者)

ともかく、残された2人は仕方なく黄色のS2000に乗り込んだ。運転はリシングスキー。のび太は助手席で7.62mmサブマシンガン(まあ7.62mm口径のサブマシンガンって無いけどね)を手に持っている。

このサブマシンガンは地下倉庫のロッカーから手に入れたもの。他にものび太はナイフ・ベレッタM9・M1スペシャルショート・SIG SG550を取った。

それで限界。

なお、リシングスキーの装備はアーミーナイフ・M1911・HK-416・8式狙撃銃。サイガ12カスタムとAK-47は他の人員に回された。

他のキャラの装備はまた今度。

のび「ところでアンタ、どこ出身？」

リシング「言語でわかんねえのか? まあいい、アメリカからわざわざ長い航路を辿ってココへ来た。最初は嫌だったけどな・・・酒が飲めるなら話は別だ」

のび「今、酔ってないだろうな？」

リシング「お前は馬鹿か? 酔ってたら真っ直ぐ走れる訳ないだろ!」
のび「それもそうだな」

この2人、なかなか仲が良さそうである。
ちなみにシヤレではない。

途中、ガソリンが尽きてきたのでガソリンスタンドに寄った。

リシング「ちよいガソリン入れるから周りを見張っててくれ」
のび「了解」

のび太は7・62mmサブマシンガンを構え、周囲を見張った。

幸いにも補充中は問題なかった。
が、しかし・・・

リシング「ちつ、何だ？」

S2000を発進させてガソリンスタンドから出ると、一台の黒い車・・・車種はフォード・クラウンヴィクトリアだろうか、がS2000の進路を塞いだ。

と思うと、4つのドアが一斉に開いて、MTAR SD（サブマシンガン）を手に持った4人組がのび太たちの車の前に立った。

男1「リシングスキー！本社から命令だ、さっさと戻って来いってさ」

リシング「悪いな、俺は裏切ることにしたんだ」

そこで男1、2、3、4が一斉に銃口を向ける。

男2「なら、死体にして持って帰るしかないな！」

この状態で撃たれればまず死ぬだろう。
のび太はそう判断した。

のび「早く車を出せ！」

体を半分乗り出して7・62mmサブマシンガンを構えて男4人に撃ちつつ、リシングスキーに向かって怒鳴った。

それでリシングスキーは車を急いで発進させた。・・・塞いでいる車を上手く避けて。

リシング「オイオイこいつアなんだ？日本流の歓迎パーティかよ？」
のび「いいから運転し続けろ！」

リシング「お、おい！一体何処に行きやいいんだよ！？」

またまた黒のクラヴィク（クラウンヴィクトリアの略、以下同様）が2台やってきて、車内から撃ってきた。

それをのび太は華麗な射撃で射撃手・運転手の体をぶち抜く。幾らのび太といえども、互いに動いてるので相手の頭を撃ち抜くのは厳しいのだ。

ついでに左手は車から落ちないようにフロントガラスの支柱を掴んでるため、片手で撃っているため反動も酷い。

そもそも、7・62mm小銃弾を連射するのですら間違っている。

まあフォアグリップ（垂直の持ち手）はついているが無意味。

まあAKとかは別としてだ。

その後も1台出てきたが一瞬で瞬殺された。

しかしその間ずっとリシングスキーはよそ見をしていた。その為何故か前にあるジャンプ台に気付かない。

のび「おい！前を見てろ！」

リシング「え？・・・あぁっ！クソッ！！」

取り敢えず着地の衝撃に備えて2人は歯を食いしばった。
その直後、車は空を飛んだ。

着地してからすぐ、黒のクラヴィクが一台来た。
のび「なあ、今更だけど学校から遠ざかってね？」

リシング「知るか！ 俺はこんな道路初めて走ったんだよ！！」
まあそりやそうだ。更に言えば日本とアメリカじゃ車線が逆。

ただ突っ立っているアンブレラ隊員を轢き殺したり、車を爆破させたりして、気が付けば住宅街に来ていた。
ここら辺は交差点が多いので、徐々に包囲され始めている。

リシング「クソッ！ 奴ら何処にでもいやがる！」

のび「こっから真っ直ぐ行って川の方まで行けば振り切れるぞ！」

慌てるリシングスキーに、土地勘のあるのび太は助言する。

真っ直ぐ進むと、高いジャンプ台がまた見えてきた。

リシング「よし！ 行くぞ！！」

のび「ばっ、馬鹿！！この先には森が・・・」

のび太が叫ぶが間に合わず、車はもう一度空を舞った。

のび「この馬鹿野郎ーーーーッ！！！！」

リシング「悪イな馬鹿で！！」

リシングスキーが怒鳴った直後、車は森に突っ込み炎上した。
2人は何とか脱出し、無事だったが。

のび「こんな事なら俺が運転すりゃよかった」

リシング「ガキのくせに運転なんかしようとするな！」

言いながらリシングスキーはHK-416を手に持った。

一方ののび太はSIG SG550に持ち替えた。

そして、後ろから車が止まる音がして、続いてドアが開く音がした。当然ながら黒のクラヴィクである。で、出てきたのも勿論アンブレラの連中。

早速何発かの銃声が鳴った。もっとも、威嚇の為か上の方に撃つてゐるらしいが。

ついでにサイレンサーも付いてるからあまり音は大きくない。

のび「わあああああああ！！！！」

先に行動を起こしたのはのび太だった。

すかさず振り返り、SG550をマガジンが空になるまで乱射した。

装弾数25発中、16発は当たらなかったが、9発が見事に男4人に命中した。

運転手と助手席の奴は頭に銃弾が当たって即死だったが、残りの2人は7発も食らった。

慌ててリロードをするのび太。

しかしリロードを終えて車の方を見ても誰も居なかった。

リシング「落ちつけ、そんなに乱射してちゃ弾薬が幾らあっても足りん」

のび「……とにかく、学校に戻らなアカンから、俺が運転する」

リシング「……ああ、そっちの方が間違いないな、よし頼んだぞ！ただ街灯なんかにつけるんなら車から蹴っ飛ばすからな」

のび太の言葉遣いは敢えて気にしないようだ。

のび「任せろ」

言いながら一行は車に乗り込んだ。勿論、落としたMTARSDを拾って。

- - - - -

その頃、既に学校についていたドラえもんたち一行。

ドラ「はあゝあ、何か疲れちったな」

出木杉「それじゃあ、もう寝る？」

鳥柴「17時ですが？」

安雄「ああ俺、CD解析に行ってくる」

そう言つて安雄は3・2の教室から出て行つた。

読者の皆さんは多分忘れてると思うが、3・2の教室は寢床である。第7話のラストで静香がRPG・7を撃ちまくつた影響で、結構黒焦げの部分も多かったが。

しかし布団には影響が無いようだ。

と、その時ジャイアンの腹が鳴つた。

そこでスネ夫は気付いた。

スネ「よく考えたら僕たち朝から何も食べてない気がするんだけど・

・・」

静香「よし、それじゃあ調理室に行つて料理を行う」

ドラ「のび太とかはどうするよ」

静香「多分そろそろ帰ってくるだろ」

その時、車の音が聞こえてきた。

徐々に近づいてくるので窓越しに見てみたら、黒のフォード・クラ

ウンヴィクトリアがこっちに来た。

よく見ると運転しているのはのび太。隣にはリシングスキーが座っている。

静香「な？帰ってきただろ」

ドラ「・・・うん」

で、全員が入ってきたので調理室に移動。

- - - - -

所変わってココは調理室。

ドラ「んーっと、何で冷蔵庫の中に何も無いのかな？」
のび「さあな・・・」

冷蔵庫を開けるとそこには空間が広がっていた。
まあ、空っていう意味だ。

ドラ「よし・・・のび太、俺と一緒に小羽急デパート行くぞ」
のび「・・・わかったよ・・・」

この先の惨劇を覚悟して、のび太は小さく言った。

- - - - -

その後軽トラック（第9・10話で使ったアレ）に乗り込み、ドラえもんの運転で2人は小羽急デパートへと向かった。

のび「頼むから安全運転で頼むぜ・・・」

「頼む」を2度も使うのび太。まあ無理も無い、第9話でのび太は死ぬほど怖い目に遭っているのだ。

ドラ「しょうがないな、じゃあ速度落とすからそんな代わりゾンビどもを撃ちまくってくれ」

のび「わかったよ」

呆れたように言い、また7.62mmサブマシンガンを構えた。今の速度は大体50km/h程度。ギリギリゾンビに襲われず、またギリギリ狙える速度だ。

また片手で狙っているが、今度は左手に67号手榴弾を持っている。これなら囲まれてもその場に落としてから逃げれば一気に殲滅できるって事だ。

ただ、破片式の為障害物があると意味がないのだが。

しかし妙だ。

さっきからゾンビもハンターも何も居ない。

やはり新型ウィルスとやらの影響だろうか。

ドラ「まあいいじゃん、もう銃を構えるの止めたら」
のび「そ、そうだな・・・」

結構緊張していたのび太が、ようやく銃を下ろした。

さっきは運転が大人だったが、今度は知人、しかも超乱暴と来て車から振り落とされないかとビビッていたのだ。

あっという間に小羽急デパートに着いた。

のび「頼むから、もう突っ込まないでくれよ」

ドラ「しねえよ！入り口開いてるし」

そう言ってアクセルを全開にした。

言ってる事が矛盾してやがる。

のび「のわあああああああああ————」

この後のび太がどうなったかは言うまでも無い。

- - - - -

その頃、安雄は。

安雄「ふう、パスワード解析も楽じゃないな、まあカップ麺食べながらチマチマやろうかな」

一人でコッソリとカップラーメンを食べていた所でしたとさ。

この後の急展開に備えてここでぶっちぎります。
という訳で、
続く！

第19話　J i v e　D r i v e . . . 　（後書き）

また急展開か（連続3度的な意味で）。

そろそろカール君とか出そうかな（カラスのリーダー、無理の無い？出演）。

あとはジョニー再来とか？あ、結構ネタバレった。

人間の敵キャラのネタが思い付かないので、仕方なく4人ほど散ってもらいます。

誰が出るかのヒント：消防車が火事を起こす、暴走運転、車だけ天国送りでは地獄逝き、はい完璧にわかりましたね。
初期版読んでりや嫌でも思い当たるはず。

4 , 4 5 4 文字。

第20話 くバーンアウト・消防車く（前書き）

サブタイトルは「焼き払われた消防車」的な意味。

断じてバーンアウト3の消防車とは関係ありません。

でも、画像を使う場合はバーンアウト3のFIRE TRUCKにするかも。

誰か「記念すべき20話目なのにまた急展開で大丈夫か？」
筆者「大丈夫じゃない、問題だらけだ」

第20話 くバーンドアウト・消防車く

全開の荒らすし・・・ミス、前回のあらすじ。

「クラウン・ヴィクトリア略してクラヴィク」「また急展

開 か」「一人でコッソリとカップラーメンを食べる」

「（店に突っ込むなんてもう）しねえよ！」と言いながらアクセスル全開」「7.62mmのサブマシンガンなんて実在しない」

「腹が減ったから翻訳コンニャク全部強奪」・・・はい、完璧に思いましたね。

どうしても思い出せない方は筆者に頼んで頭を叩き潰してもらいましょう。

で、今は30日17時半。

ドラ「ふう、さつさと帰ろう」

のび「そ・・・そう、だな・・・」

元気なドラえもんに対し、死にそうな表情でのび太は言う。

何しろ店に車ごと突っ込んだ上に、その衝撃で軽トラがオジャンになり大量の荷物を抱えて・・・というカリュックに入れて運んでいくのだ。

対するドラえもんは四次元ポケットでラクラク。この時、のび太はロボットのあまりの理不尽さに憤りを感じたらしい。

しかもこのび太はさつきまで持っていたSG550とM1スペシャルショット（ショットガン）をドラえもんに預けている。その二挺の重量は6.51kg。

で、ドラえもんは更にナイフ・ベレッタM9・デザートイーグル（ハンドガン）・AKS-74U（アサルトライフル）・更にM24SD（スナイパーライフル）まで持っているという理不尽さ。

それで軽快に動けるし。ついでにドラえもんは銃だけで合計21・90kgもの重量を占めている。更に手榴弾も2つ持っているので更に1・10kg増える・・・つまり23kgだ。

のび「なあ・・・マジで、その、荷物全部持つてくんね？」
ドラ「何で？」

のび「重いんだよ！こっちどう少なく見積もっても10kgは持つてるぞ」

ドラ「うるせえな、俺だって30kgはあるんだぞ」
のび「てめえはロボットだからいいだろ！」

ドラ「あ？てめえロボットだからって無限に持てると思ってるんじゃないだろうな」

口喧嘩を始めてしまった2人。

しかしここで前から中型自動車・・・まあ中型トラックと言つべきか、が走ってきた。

当然ながら（？）2人に向かつて。

しかし口喧嘩をしている2人は気が付かない。

のび「大体てめえはネズミごときで毎回ミサイルやら地球破壊爆弾やら出しやがって！あれ怖えんだよ！」

ドラ「うるせえな、そういうてめえは毎回イジメられたごときで俺に頼りやがって！ふざけんなよ、道具が一個いくらすると思つてんだよ！」

のび「知るか！てめえは俺を救いに来たんだろ！そんな何とかしろよ！」

ドラ「言ったなてめえ、じゃあ俺が銀行強盗して捕まったら「のび太の為です」って証言するぞ！」

のび「それ共犯証言になつてねえよ！」

そしていよいよトラックがのび太とドラえもんの30mほど手前に来た。

そこでようやくのび太は気付いた。

のび「Oh, fuck!」

言いながら素早く横に飛んで、トラックをかわした。

一方のドラえもんはのび太の行動を見ていただけだったが、10m手前でようやく気付いた。

まあ今更遅いのだが。

お陰でドラえもんは轢かれてぶっ飛んだ。

衝撃でトラックは横転・炎上し、まず運転席と助手席から人が降りて来たが焼け死に、更に荷台からも人が飛び出してきたが、その直後にトラックが爆発して、その爆風に巻き込まれ（荷台から飛び出してきた）5人は死んだ。

幸いな事にのび太もドラえもんも、爆発には巻き込まれなかった。

まあ、2人ともトラックから離れていたから当たり前か。

のび「クソッ、早く逃げるぞ!」

デコにx印の絆創膏を2つ分貼ったのび太が、慌てて言う。

ドラ「よし、すぐその消防車を頂こう」

言いながらドラえもんは消防車の窓をぶち破り、インジェクション下のパネルをドライバーで外し、中の2本の線をねじって繋げてエンジンをつけた。

ちなみにこの表現は筆者がGTA: CWをやってから書いたもので、実物と違う可能性が高いので気をつけて欲しい。

- - - - -

その頃の学校・3-2の教室。

静香「クソッ、ドラえもんのび太はまだか！」

聖奈「案外どつかで倒れてるんじゃない？」

ジャイ「てめえは黙ってる、とにかくあと15分位待つて、来なかったら無線で呼ぼう」

静香「俺も今そう思ったところだ、よし！皆ももう少し頑張れよ！」

静香のこの声に、一同は「オーッ！」と賛同して答えた。

- - - - -

その頃の視聴覚室。

安雄「よし！！ 2つ目わかった！・・・次は3つ目でヒントは

「英語大文字・小文字・数字で10文字」マジかよ・・・」

ちよんど2つ目のパスワードが判明したところであった。

ちなみに2つ目のパスワードは「Gasoline」だった。3つ

目は・・・？

- - - - -

その頃のドラ&のびコンビ。

ドラ「車から落ちるんじゃないぞ！」

のび「だったら揺らすなよ！！」

ドラ「無茶言っな！！」

撃たれつつ2人は言う。まあ、撃たれて穴が開いてるのは消防車の

車体の表面だけだが、それでも長くは持たないだろう。

ガガガガガツと、45口径らしき銃弾を乱射する音が聞こえてくる。

多分UMP・45（サブマシンガン）かそこらだろう。と、のび太は判断した。

ドラ「ヤバイぜヤバイぜヤバ過ぎるぜ、このままじゃ追いつかれて車ごと燃えちまう」

のび「マジかよ！じゃあ俺後ろ行くわ、あんま急加速とか急減速とかしないでくれよ、落ちちまうからな」

ドラ「了解！」

のび太は後ろの荷台の部分に入った。

そして、後ろの壁を上にあげた。と、途端に明るくなり、外がよく見えるようになった。

外には黒色のフォード・クラウンヴィクトリア略してクラヴィクが3台ほど追走していた。

助手席と後部座席から35歳辺りのおっさんが顔を出して、UMP・45で消防車を銃撃している。

のび「ローライダー なんていうことでしょう」

ドラ「お前それ消されるぜ？つつかネタが初期版と一緒にじゃん」

のび「こんくらい大丈夫だろ多分、とにかく俺撃ちまくるから、マジで落とさないでくれよ！」

ドラ「はいはい」

言いながらドラえもんはアクセルをちよつと踏み込み、じんわりと加速した。

急加速すると荷重の都合でのび太が転落してしまうからだ。

対するのび太は後ろで7・62mmサブマシンガンをぶちかまし
まくる。

今度は両手で、フォアグリップも使っている為結構当てやすい。
そして、肝心の安定は足で踏ん張ってるようだ。

また運転手の頭をぶち抜いたり、タイヤをパンクさせスピンさせ炎
上させたり（実際にはそんなのは有り得ないが、アクションシーン
という事で補正よろしく）したりして車の損傷を増やさないように
努力するのび太。

と、そこで

ドラ「左に曲がるぞ！踏ん張れ！」

と、ドラえものの怒鳴り声が飛んできたので、左手を7・62mm
サブマシンガンのフォアグリップから消防車の（のび太の方向から
見て）左側に手を動かし、振り落とされないように耐えた。

何とか120km/hほどの速度でR100（＝半径100度のコー
ナー）を曲がりきるといふ曲芸に成功したドラえもん。

そして、のび太は再び手を戻して撃ち始めた。

またエンジンルームに銃弾をぶちかまして吹き飛ばしたり（これも
アクションシーンという事で）、そういう感じで更に5台ほど始末
した時（破壊台数は合計8台ほど）、また中型トラックが来た。

のび「クソ！あのトラック防弾か！」

7・62mm口径の銃弾を食らっても意に介さない中型トラックに、
のび太は焦る。

ドラ「チッ、じゃあ後ろの壁を閉めて、助手席に移れ！このままじ
やハチの巣だ！」

舌打ちをして、のび太に言うドラえもん。それでのび太は後ろの壁を下におろして閉め、それから助手席に戻った。

ここまで書くと結構長そうだが、実際の時間は15分ほどしか経っていない。

と、そこでドラえもんの無線機が鳴り始めた。が、全開走行の運転をしているので、当然ながら出ている余裕は無い。

- - - - -

その頃の3・2の教室では、ちょっと緊張した雰囲気になっていた。まあ無理も無い、無線機が繋がらないのだから。

ジャイ「繋がらねえ・・・ヤバイな、のび太とかドラえもん死んだかもしれない」

静香「よし、もう15分待つてから今度はのび太の方にかける、それでも繋がらなかつたら探しにいくぞ」

9人「Sir, Yes Sir!!」

このセリフが一番似合ってるのはやっぱりリシングスキーだろうか。

- - - - -

また視点は戻る。

今の消防車の速度は大体185km/h。

これで限界。まあ残り2km/hくらいは出るだろうが、今のところ

ろはこれが上限だろう。

まあ消防車が本当に185 km/hも出るかどうかは置いて。

当然のび太もこの速度では顔を出す訳にも行かず、また銃を撃つてもろくに当たらない為、後ろの壁と運転席の間で必死に踏ん張っていた。

対するドラえもんは車を加速させようと必死になっているが、もうこれ以上は望めないだろう。

だから事故らないように必死に運転をしている。

敵のクラヴィクはメーカー純正品の為180 km/hまでしか出ず、5 km/hほど差がある為徐々に引き離している。

トラックもせいぜい160 km/hが限度だろう、と2人は思ったが違った。何故ならトラックのクラクションが聞こえてきたのだ。

多分向こうはバリバリ改造されているのだろう、190 km/hは出ている。5 km/hほど速い為徐々に近づいてきている。

焦ったドラえもんは、適当にコーナーを曲がり続けた。

その間のび太はずっと踏ん張り続け、汗がとめどなく流れ続けていた。

トラックからはUMP・45ではない別の銃声が聞こえてくる。アサルトライフル系の銃声だろう。

2連射してから少しだけ間が空くので、恐らくAN-94（AKシリーズの派生、高速2点バーストが特徴）かそこの銃かもしれない、とのび太は考える余裕など無かったがドラえもんはそう考えていた。

まだまだ銃声は増え、遂に車内にも被害が出てきた。

今のところボコボコになっているだけだが、それでもものび太はパニ

ツクになってしまった。

のび「わああああああ！！！！ 死ぬ、死ぬって！誰か助けてくれ！！」

ドラ「落ち着け！」

言いながらドラえもんはアクセルを限界まで踏み込んだ。

意味はないだろう、と思っていたが、その時消防車が根性を見せた。一気に20km/hほど加速したのだ。

トラックと15km/hほどの差がついたので、徐々に銃声も小さくなって、2人が安堵した直後……！

ドラ「……し、しまったアツ！！」

ドラえもんがそう叫んだ直後、消防車のフロントが一気に浮いた。フロントガラスが少し割れて飛び散る。

そう、ドラえもんは運転をミスって崩壊したビルの残骸の山に引っかかってしまったのだ。

いきなりの出来事だった為、のび太は

のび「うわぁっ!？」

叫びながら思いっきり後ろの壁に叩きつけられて止ま……りはしなかった。

何とそのまま壁ごと吹き飛んでしまったのである。

のび「わあああああ！！！！?」

叫びながら、手に持っていた7.62mmサブマシンガンで乱射したが、逆に消防車に当たってしまい、状況は更に悪化した。

厄介な事に、銃弾は消防車の右前輪に3発、右後輪に1発当たった

為にタイヤがパンクしてしまった。

消防車の方かというと、ドラえもんがとっさにシートベルトをぶちぎって脱出できる体勢を整えたものの、逆に体中のあちこちをぶつけてしまい、状況はこちらも悪化していた。

ご丁寧にも、のび太がタイヤをパンクさせたせいで余計に揺れている。

そして消防車は220mほどガタつきながら慣性で走行したが、とうとう右に横転しつつ火花を散らし、60mほど滑走したところでようやく止まった。

止まってから少しした後、ガソリンが漏れてきたのでドラえもんは少し焦ったが、幸いにもどうやら引火しなかったようだ。

それで、ドラえもんは助手席側のドアを垂直に開けて、慎重に地面に降り立った。

のび太はというと、元・消防車の後ろの壁（現・ただの鉄の板）の下敷きになり身動きが取れないでいた。

横転した消防車からのび太の場所までは約10m。どうやらのび太も滑走してきたようで、体中スタボ口であった。

やっぱりここまで書くと長そうだが、実際はわずか10分の出来事であった。

ドラ「イテテ・・・ふう、そういえば、のび太は・・・？」

少し意識（？）が途切れ気味のドラえもんだったが、何とか立て直した所でのび太を探した。

と、よく見ると鉄板の下敷きになっているではないか。

痛む体を何とか抑えてのび太の元へ走り、片手で鉄板を持ち上げつ

つもっ片方の手でのび太を引っ張って引き上げた。

のび「うう、すげえ痛え」

ドラ「待って、包帯包帯・・・っと、ほれ」

右手首を押さえて痛がるのび太に簡単な治療を施すと、ドラえもんはのび太の左手を持って歩き始めた。

流石に治療したばかりで引っ張る訳にもいかなかったからね。

のび「ありがとう、ところで一体何が・・・」

ドラ「・・・すまない、俺の運転ミスで横転させちゃった」

のび「・・・そうか・・・まあいいさ、加速してなきゃ今頃死んでたし」

ドラ「・・・うん」

そんな会話をしていた2人の前に、さっきの中型トラックが来た。ついでに例のクラヴィクの1台が猛スピードで来たが、先ほどの残骸の山に引っかかりスピンスコンクリートの壁に激突し、中にいた4人は車ごと地獄逝きになった。

いや、車だけは天国送りかもしれないが。てか初期版のネタだなこりゃあ。ちなみに残りのクラヴィクは勝手にどっか行ったようだ。

取り敢えず生き残ったトラックはのび太たちの手前20mくらいで止まると、運転席と助手席、そして荷台のドアが開いて、中からまたもや35歳くらいのおっさんが4人出てきた。

手にはAN94の雪地向け迷彩・・・AN94ホワイトカモとしておこつか、を持っている。

のび「んゝ、これってヤバくね？」

ドラ「ああ、ヤバイな」

言いながらのび太は7.62mmサブマシンガンを再装填し、ドラ

えもんはSIG SG550に持ち替えた。

おっさん1「おい、お前ら何そんな気楽な事言いながら物騒なもん
持ってたんだよ」

おっさん3「俺らもだろ」

おっさん2「まあいい、どうやら貴様らもここまでのようだな」

おっさん3「それ元々俺のセリフだよ」

おっさん4「うるせえな、3番は黙って突っ込んでりゃいいんだよ
！」

おっさん3「初期版にも居たよね突っ込み役、まあ誰だか忘れたけ
ど・・・」

ドラ「何だこいつら」

のび「さぁ・・・少なくともアホな事はわかった」

おっさん2「うるせえな！ てめえら今の状況がわかってんのか！」

おっさん3「いや、こっちもヤバイだろ」

ドラ「んで、何の用だね？ 俺らはさっさと帰りたいだけなんだが」

おっさん4「ああそうだ、実は君たちを抹殺する為に来たのだよ」

ドラ「ああそう、じゃあ誰から命令を受けた？」

おっさん1「残念ながらそれは言えないな、まあ簡単に言っちゃ
えば上からだけど」

おっさん4「何で言っちゃうんだよ！ お前馬鹿か！！」

言いながら4番が1番をぶん殴った。

そして、1番が倒れた。

おっさん3「はい4番、暴力行為で逮捕します」

おっさん4「ええええ！　そんなのねえよ！　っつーか1番が勝手に言っちゃうからいけないんだろ！」

そこで1番が起き上がる。

おっさん1「痛えなこんチクショウ、おい3番、さつさとソイツ連行してくれ」

おっさん4「いやいやいや！！　だってお前が悪いんだし、そもそも冗談だぜ？」

おっさん2「冗談で済むなら法律とか警察なんか必要ないんだよボケが！」

のび「やっぱりこいつら馬鹿だね」

ドラ「そうだな、よし殺そう」

そう言つてドラえもんはSG550を構えた。

狙いは4番。と言つても、あまり見分けがつかないので適当に狙っているのだが。

おっさん1「ほら！お前がグダグダ言ってるから銃向けられてんぞ4番！」

おっさん4「え？　ちょ、待って撃たないで」

ドラ「ごめん、俺適当に銃口向けてるだけ」

おっさん2「つてことは下手したら俺に銃口が向けられてたのか！」

おっさん3「マジふざけんな！」

おっさん1「っつーか、てめえらのせいで車が10台も無駄になつたぞ！損害賠償1億2800万払えよ！」

おっさん3「車より仲間っつーか手下が40人余りも死んだぞ！ふざけんなよ！」

のび「でも最後の4人は勝手に死んだんだけど」

おっさん1「知るかああああ！！　そもそもてめえらが暴走運転するからそうなったんだろ！」

おっさん2「まあいいじゃん、こいつらの免許の点が2点引かれるだけだし」

おっさん4「今はそんな事どうだっていいよ！」

おっさん3「つつーか俺らなんか運転殺人で63点も引かれるぞ、まあまだ未遂だけど」

おっさん1「だから免許の話はどうでもいいつつてんだろ！！」

そこで1番が3番をぶん殴った。

3番が口から血を吹いて死んだ。

おっさん1「あつ、死んだ」

おっさん4「はあ！？おめえ何やってんの馬鹿じゃねえの！」

おっさん2「てめえ、味方を殺すとは許さん、ぶっ殺す」

そこで2番が1番の額に金色のルガーを突きつけた。

おっさん1「ちよつと待つてちよつと待つてちよつと待つて、撃たないで」

おっさん2「なんてな、冗談だよ」

そこで2番が銃を下ろそうとした瞬間、銃声が鳴り響いた。

気が付くと1番は額から血を流しながら道路に倒れていた。

多分死んだだろう。

おっさん2「・・・・・・暴発しやがった・・・・」

そう呟きながら、2番はゴールドルガーを取り落とした。

おっさん4「・・・・・・もうしょうがないよ、それよりさっさとこいつら殺そうぜ、そもそもこんな事になったのこいつらのせいだし」

ドラ「あ？てめえ冤罪にも程があんぞボケ」

おっさん4「んだとこの青ダヌキがああああ！！！」

怒鳴りながら、4番はドラえもんをAN94の銃床でぶん殴った。

「びびり……びびり……」

どこその挑戦状の登場人物風に叫びつつ、のび太は7・62mmサ
ブマシンガンを乱射した。

気が付くとドラえもんは4番が倒れていた。

一方ドラえもんは、青ダヌキと言われた事にブチギレて、ある作戦を思い付いた。

そして、ドラえもんはのび太に耳打ちした。

ドラ「おいのび太、ちよつと手伝ってくれないか？」

のび「何を？」

ドラ「まずおっさんの死体をガソリンの上に乗せる」

のび「それからどうする?」

ドラ「離れて、ガソリンに銃撃する……そうすりゃ4人とも木っ端微塵だ」

「のびいいね！早速やろう」

のび太とドラえもんは、消防車から漏れたガソリンの上に屍さん3人を乗せた。いや、乗せた？どう表現するべきだろうか。

「敢えて言うなら「ガソリンに漬けた」とか？」

その間、唯一生き残った2番はただ

おっさん2「何してんだお前ら」

と、ポカーンと見つめていた。

ドラ「こっちに来ればわかるよ」

ドラえもんがそう言うのと、2番は愚かにもガソリンの上に乗った

た。

そこでドラえもんはのび太の手を引っ張って15mほど離れ、ガソリンを撃った。

大爆発音が、ススキケ原一帯に鳴り響いた。

そして、肉片やら心臓やら内臓やら首やらが飛び散った。

気が付くと辺り一帯は大火事になっていた。

消防車は勿論、中型トラックも真っ黒焦げになり、消防車付近には赤色のシミが大量に出来ていた。

勿論、このシミが何かはわかるよな？

ドラ「汚ねえ花火だ」

そう言つてドラえもんはAN94ホワイトカモを2挺とゴールドルガーを3挺取った。

残りの3挺は爆発の影響からか壊れてしまったようだ。

かなり長くなったが、消防車編も終了。
続く！

第20話 くバーンドアウト・消防車く（後書き）

今まで×切とか決めてませんでした、これからは基本的に7日以内に次話を投稿出来るように努力します。

つまり、×切は7日。ただ、都合により1日か2日は遅れる事があるかもしれません。

それと、一応毎日連続投稿が目標です。ただ、疲れてる事も多いので困難・・・。

ちなみに最後に手抜きが見られるのは、単純に疲れたからです。書く時はずっと書き続けですから、自分。でもそこまでタフじゃないという矛盾。

気が付けば7 / 847文字。そりゃあ疲れるはずだ。

第21話 く黒幕登場く（前書き）

サブタイトルに堂々と「黒幕登場」って書きちゃってますが、名前は明かされません。

まあ、初期版とか失敗版とか、けいおん！初期版とか読んでれば誰かは見当が付くでしょう。

何でもいいですが、武器の画像が70枚になりました・・・。

つまり、予定としては武器を70個出すかもしれないと言う事です。今のところは35個出てます・・・って、もう半分は出てるのか！

第21話　黒幕登場

ドラ&のびコンビがおっさん4人を始末したその頃、どっかの何かでは……。

謎の男「何だよ「どっかの何か」って」

手下「まあいいじゃないですか、それよりあっさりと4人やられちゃいましたね」

謎の男「てか、あいつらが馬鹿なだけだ！何なんだ、何で仲間割れしてるんだよ！」

気が短いのか、それともただ単に機嫌が悪いのか、怒鳴り散らす男。

手下「仲間割れといえば、偵察員3人に裏切られましたけどどうします？」

謎の男「ガキどもと偵察員はこれから精鋭の殺し屋を送り込む、それでも無理だったら秘密兵器を使おう」

男のこのセリフに、手下はちょっと不満そうにした。

手下「ええ、優秀なのに殺しちゃうんですか、というか秘密兵器って何ですか？」

謎の男「仕方ないだろ、裏切り者には死を与えるのが我々のやり方だ……秘密兵器トライアドについては今明かすと面白くないからまた今度な」

手下「貴方は三合会トリアドにでも所属してるんですか？　……それより精鋭の殺し屋ってあの5人ですか？」

謎の男「うるさいな！　精鋭はあの5人だ……読者の皆さん、初期版を読んでいたら誰が出てくるかわかりますよね？」

何故か読者に対しては丁寧語の男であった。

手下「でも今回引継ぎは1人だけですよ」

謎の男「だからうるせえっつーの！ いいからさっさと指示出して送り込んで来い！」

手下「Sir, Yes Sir!!」

言いながら手下は走って何処かへ行った。

- - - - -

所変わってココはススキ原。

先ほどの現場より2kmほど学校に近い地点。

ドラ「にしても災難だったな、まあ結局生き残れてるから問題ないけど」

ドラえもんが、車を運転しつつのび太に話しかける。

ちなみに荷物は結局ドラえもんが全部持った。

のび「ああ、早く帰ってメシを食おう」

ドラ「そうだな」

ちなみに今乗っている車は青地に白色の線が2本入ったダッジ・バイパー。

約8リッター車なのでどう考えても国内向きじゃないが、まあこの際無視しよう。

先ほどの現場から約0.5km（≒500m）学校に近い地点のガソリンスタンドに止まっていた車だし。

デジタル時計は19:00を指している。

2日目も残り5時間しかないようだ。

ドラ「帰ってメシ食ったら何する？」

ドラえもんが、これからの予定をのび太に聞いた。
のび「ん〜、気分転換にカラオケでもやんね？」

ドラ「お前本当にカラオケ好きだな・・・」

ドラえもんはそう呟いた。

- - - - -

所変わって3 - 1の教室。

そう、静香たちは3 - 2の教室から3 - 1の教室に移動していた。

何故なら・・・ちよつと時間を戻そう。

ジャイ「そういえば3 - 1の教室にカラオケがあるんだよな」

ジャイアンの何気ない一言がキツカケだった。

聖夜「マジか！俺やりてえから行こうぜ！」

そして同じように皆もテンションが上がった為、移動したわけである。

そして、

リシング「Rock is Dead - Marilyn
Manson」

何故か歌っているリシングスキーであつた。点数は97点。

サーシャ「Everything's alright, I
can see the light - V.A」

何故か歌っているサーシャであつた。点数は94点。

鳥柴「Crash - The Primitives」

何故か歌っている鳥柴であった。点数は98点。

以上、「何故か歌っている」3連チャンでした。

- - - - -

視点は元に戻る。

のび「ところでさー、筆者がまた何かやらかしたみたいだけど知ってる？」

ドラ「あー、また敵を増やしたらしいな」

のび「あいつ本当に馬鹿だね、読者数が利益になるつてのに、まあ他にも色々あるらしいけど」

ドラ「てか、あいつ本当に脳みそあのかね？某BE（頭がイッチやってる、ネット界屈指の荒らし）とか小林 裕幸（カプコンの社員だが一般常識が無い人）とか森 昭雄（「ゲーム脳」を唱え、ゲームを批判してる人）みたいに頭がちよつとおかしいレベルじゃ済まされないからね」

のび「またそんなゲーム界用語を・・・」

ドラ「またって何だよまたって」

のび「いや、何となく」

ドラ「用語といえば、筆者は擁護（いんぎょ）コメされただけでキレるらしいねのび「あいつの頭の中と親の顔を一度みてみたいな」

ドラ「だな、ついでに出来るなら過去に戻って筆者の誕生を阻止したい、殺してでも」

のび「でも過去は地獄より酷い有様かもしれないぜ？」

ドラ「それバック・トゥ・ザ・フューチャーのネタ？っつーかタイムマシン云々には突っ込まないのな」

のび「だってどうせ使えないとかそういうオチだろ？」
ドラ「ま、そうだけどね」

のび「・・・よく考えたらさっきの「頭がおかしい」発言、名誉毀^き損^{そん}じゃね？」

ドラ「心配するな。 あいつはもう訴えられてもいいって思ってるから」

のび「人生を棒に振る覚悟があるわけだ」

ドラ「・・・改行を挟んでも全然読みにくくならないとはまさにこの事だな」

のび「まあ結局要約して言えば、筆者は人間史上最低の生命体な訳だ」

ドラ「てか、あいつ存在価値あんのかね？ 関係ないけど噂で友人のメールに「履歴書に「人を不快にさせる事」って書く」とか馬鹿なこと言ってたし」

のび「しかも前の某氏とのいざこざで相手が送ってきたメッセージを一行一行いちいち突っ込みつつ友人に送ったとか」

ドラ「あいつ何なの？ マジで。 他人とはいえ親友（笑）にそんな事するかね？」

（ ・ 11 / 9 / 4、上記の話は全て実話です。 一部は小説用に要約した物もありますが by筆者）

（ 更に言うと、実際に世間（ネット界で）の評判はこんな感じだと思います。 多分 by筆者）

（ 今更ながら、ここまで「軽率な行動」で済まされない行為は若干ながら反省していたりします。 ココで書く事じゃないですが b

Y筆者)

・・・以上、筆者フルボッコな上に公認のドラ&のびコンビの会話。
それからまた10分ほど車を走らせ、ようやく学校に着いた。

- - - - -

のび太たちが学校に入ると、3 - 1の教室から歌声が聞こえてきた。

それで、

ドラ「(アツチャ、カラオケがあるのがバレたか)」

とドラえもんが思っているのをよそに、のび太は3 - 1の教室へと走った。

3 - 1の教室を開けて中に入ると、そこには異様な光景が広がっていた。

それが・・・

コレだ。
(某番組風)

?
(ワン)

?
(トウー)

（スリー）
？

「のび（またかよ・・・）」

そこには、マイクロフォン略してマイクを握って歌うサーシャに、静香やジャイアンなど9人がはやし立てている場面であった。

てか、「マイクロフォン」を「マイク」と略するのはどうよ。3文字だから読み辛い。

誰か新しい略称を考えて欲しい。筆者曰く即採用するとの事だ。

（冗談抜きに募集します。コメントかメッセージで by筆者）

のび「何やってんだ……」

「ジャイ「ん？見ればわかるだろ？歌ってたんだ」

のび「いやそうじゃなくて！腹減ってんのにカラオケなんかしたら・
・っつて」

そこでのび太は長い机の上に目が行った。

そこには、肉や魚が皿に乗つて、所狭しと並べられている光景であつた。

ドラ&のび「てめえええええええええらあああああ
あ！！！」

この後、ちよつとした殴り合いになった。

以上、何がしたかったのかわからない話だったが、これで終了。

続く！

第21話 く黒幕登場く（後書き）

カラオケシーンは次回で。

つまり、こんなくだらない事で2話稼ぐという小説至上最低のやり方ですが、勘弁して下さい。

いざこざにはもう疲れたんだよ・・・。

こんなに内容が薄いクセに、2,937文字。

第22話 くカラオケ大会と2日目終了く（前書き）

初期版ではこの大会中に敵が乱入して来ましたが、今回では出ません。

もう少し後になります。

ああ、P o k e r F a c e - L a d y G a g a 最高。
でも、これを書いている今。自分は「カー・タイクーン」のV o r
s p a n nを聴いている。

体験版もあるので、というか国内じゃ体験版しか無いような気がする
ので、検索してそちらをどうぞ。

URLなんか貼りませんよ。一応直リンをしないように配慮してる
つもりですけどね・・・。

念のため言っておくと、大会シーンはかなりの手抜きです。

第22話　～カラオケ大会と2日目終了～

（　前回と繋げる感じで読んで下さい　by説明役）

殴り合いが終わった所でカラオケ大会。

先鋒はのび太。

のび「（　明日晴れるかな　-　サザンオールスターズ　）」

最初にしては高得点の89点！

続いてドラえもん。

ドラ「（　シアワセネイロ　-　オレンジレンジ　）」

少しは上がったが、惜しくも84点！

3番手は静香。

静香「（　M Y S o u l , Y o u r B e a t s !　-　L i
a　）」

静香に似合わない曲だが、96点！

次はスネ夫が名乗り挙げた・・・が・・・。

リシング「それは止めてくれ。」

ジャイ「絶対やめろ!!」

静香「勘弁してくれ!」

サーシャ「私、チョット違う教室二・・・」(私、ちよつと違う教室に・・・)

のび「命に関わる、断る!」

ドラ「死にたくねえー!」

鳥柴「・・・遠慮させて頂きます」

聖奈「ちよつとトイレ行つてきます・・・」

聖夜「俺も行く」

出木杉「・・・えつと、次はジャイアン君に・・・」

このようにフルボッコというか集団ハブリに遭い、スネ夫は

スネ「・・・ママ!」

と、絶叫した。

という訳で4番手はジャイアン。

いつもの事だから逃げ出そうとしたドラ&のびコンビであったが、
静香に

静香「まあ待てよ、ジャイアンはすげえ上手いんだぜ」
と言われ、留まった。

ジャイ「(リンダリンダ - ブルーハーツ)」

何と、またまた100点!!

ドラ「マジかよ・・・」

のび「すげえ・・・」

5番手はニュー無難^{ナンブ}(?)に聖奈。

聖奈「(家族への手紙 - THE ボツシポー)」

何だか親が居なくなつたこの状況下では鬱度が更に進みそうだが、91点!

6番手は姉弟という訳で聖夜。

聖夜「(BURN - フメツノフェイス - BIZ)」

何だか9才が歌える曲とは思えないが、95点!

聖奈「チッ」

聖奈が軽く舌打ちをしたがスルーし、7番手はリシングスキー。

リシング「(You Know My Name - Christ Cornell)」

何故英語の曲が入ってるのか微妙だが、97点!

8番手は期待のサーシャ。主に筆者が。

サーシャ「(New Soul - Yael Naim)」

何かキャラに合わない曲だが、85点!

9番手は本当に筆者に忘れられていた出木杉。

出木杉「（虹 - Aqua Timez）」

イメージがピッタリなお陰か、2人目の100点!!

さて、とうとうスネ夫の番が回ってきた。

場の全員は既に逃げ出す準備が出来ている。

震える手で出木杉がスネ夫にマイクを渡す。

そして、その時は来た。

スネ「（なんちつて - RADWIMPS）」

そして、スネ夫の地上最低の歌声に対する各人の反応。

のび「うわあああああ!!!!」

ドラ「やめろおおお!!!!!!」

ジャイ「耳が壊れるううう!!!!」

静香「誰か奴を止めろ!!!!!!」

聖夜「死にたくねえええ!!!!」

聖奈「わあああああああ!!!!」

出木杉「ぎゃあああああああ!!?」

リシング「やめろ、やめてくれ!!!!」

サーシャ「ヘタクソ ヤメテ カエレ!!」（へたくそ やめて か

えれ!（「たけしの挑戦状」風）

んで、得点は・・・Error01!

本体エラーの表示だ。

多分スネ夫の歌声が酷すぎて、機械が内部エラーを起こしたのだろ
う。

でもErr99でなくて良かった。コレ出たら壊れるからね。

スネ「……………orz」

カラオケセットの攻撃！

スネ夫は鬱になった！

さて、カラオケセットを再起動した所で今度はコンビカラオケだ。
コンビカラオケとはその名の通り、同じ曲を同時に2人で歌う事だ。

勿論、先鋒はドラ&のびコンビ。

ドラ&のび「」(Funky Busta B feat.ラッ
パ我リヤ - デリカテッセン)「」

結果は……ドラえもん92点・のび太99点、平均95.5点！

続いてジャイ&静香コンビ。

ジャイ&静香「」(青春アミーゴ - 修二と彰)「」

結果は……ジャイアン100点・静香99点、平均99.5点！

続いて、空気な出木杉&聖奈コンビ。

出木杉&聖奈「」(そばにいるね - 青山テルマ)「」

結果は・・・出木杉91点・聖奈95点、平均93点！

続いて、聖奈&聖夜コンビ。

聖奈&聖夜「」(夏祭り - ジッタリンジン)「」

結果は・・・聖奈93点・聖夜97点、平均95点！

「続いて」4度目、7・8番手はのび&サーシャコンビ。無理のない？のNG集を見ていれば何故このコンビかはわかるだろう、多分。

のび&サーシャ「」(One More Win - Ridg e Racer)「」

ちよつと選曲センスに問題があるが、結果はのび太71点・サーシャ100点で平均85.5点！

流石に女声の曲だとのび太には難しかったようだ。にしてもサーシャが満点とは意外なものである。

まあ、彼女のイメージからすればピッタリだろう。

それでは、9・10番手は鳥柴&リシングコンビ。無理のない？二週目の分岐点まで行っていれば理由はわかるだろう。

鳥柴&リシング「」（愛しい人へ - E T - K I N G））
「」

結果は・・・鳥柴92点・リシング89点で平均90.5点！
まあ、しょうがない。

さて、一通り終わった所で現在23時45分。決して手を抜いて数字を並べたのではないが、残りは15分な訳だ。
どっちかと言うと手抜きのようにしか見えないが、筆者曰く「もう2日目のネタがねえよorz」だとか何とか・・・。

静香「ふう・・・・・・んじゃ・・・そろそろ寝ようか」

完全燃焼した10人（うち1人は別の意味で燃焼したが）の内の1人である静香が、酔いつぶれたような声で言う。

というか、実際にリシングスキーが日本酒をガバガバ飲み始めた影響で殆どの人員が酔ってしまったのだ。

無事なのはドラえもん（そもそも飲んだら壊れる）・のび太（苦いのは無理だから）・サーシャ（アルコール全般が苦手）・鳥柴（そもそも酒なんか飲むキャラじゃない）の4人だけ。

逆に酷いのはスネ夫（集団ハブリに遭いやケ酒）・静香（テンション上がりすぎた）・ジャイアン（ガリガリ君も40個ほど完食）・リシングスキー（飲みすぎ注意）の4人。

特にスネ夫が最も酷い。

急性アルコール中毒（一気飲みとかでも普通になる）になり、結局ドラえもんの道具で蘇生された。

・・・その後、スネ夫のあだ名が「飲みすぎで人に迷惑をかけた才

ヤジ臭いチビ@スネ夫」となった。

静香は上記のように言葉が途切れ途切れな上自分で立てないし、ジヤイアンはガリガリ君を大量に食ってるし、リシングスキーに至っては教室内で寝ている。

地面に寝ていると言った方が正しいか。

（今更言う必要もない気がするが、未成年の飲酒は禁止である。20歳未満は飲まないように by説明役）

（ここまで言って、勝手に飲んで責任追及されたら困るからマジ頼みます by筆者）

で、静香はフラフラながら、リシングスキーは鳥柴に抱えられながら、スネ夫はジヤイアンに引きずられながら、その他のメンバーは普通に3・2の教室へと戻った。

そして、ようやく彼らは寝たのである。

まあ、リシングスキーは元から寝ていたが・・・。

という訳で、散々引っ張った2日目も終了。
続く！

第22話 ｝カラオケ大会と2日目終了｝（後書き）

やっと2日目終了。

残りは2日と12時間、約60時間！

・・・あれ？結構あるんだな。

ちなみに安雄は視聴覚室で寝ている設定です。

2 / 862文字。

第23話 く地獄の3日目開始く（前書き）

3日目はまさに地獄です。

「渡る世間は敵だらけ」の如く、バンバン敵を出します。

でも、そうすると4・5日目のネタに困ることは言うまでもない。

今更だがもう一回京都行きたい（一度修学旅行で行った）。

一部下ネタ注意。

第23話 く地獄の3日目開始く

翌日7月31日。事実上の3日目。
朝の10時。

リシング「（ Lights and Sounds - Yel
lowcard）」

何故か朝っぱらから歌ってる馬鹿一名。

ジャイ「ガリガリガリガリ・・・」

何故か朝っぱらからガリガリ君を大量に食ってる馬鹿一名。

スネ「グビグビグビグビ・・・」

何故か朝っぱらからヤケ酒している馬鹿一名。

のび「ZZZZZZZZ・・・」

何故かここまでの騒ぎにも動じず起きない馬鹿一名。

以上、馬鹿4名を中継でお送りしました。

ちなみに現在のメンバーの武器をおさらいしておこう。
メンバー確認も兼ねて。

例によってカッコ内は（装弾数/所持弾数）。

ドラえもん：ナイフ・ベレッタM9（15／180）・デザートイ
 ーグル（7／50）・ゴールドガー（8／60）・AKS-74
 U（25／100）・AN94ホワイトカモ（40／80）・M2
 4 SD（10／30）
 のび太：ナイフ・ベレッタM9（15／200）・ゴールドガー
 （8／75）・M1スペシャルショート（3／70）・7.62m
 mサブマシンガン（30／500）・SIG SG550（25／
 150）
 静香：ナイフ・ベレッタM9（15／45）・RPG-7（1／1
 000）
 スネ夫：ナイフ・ベレッタM9（15／30）・スコピオン（5
 0／100）・MTAR SD（25／100）
 ジャイアン：ナイフ・ベレッタM9（15／300）・MP5A5
 （30／150）・XM8 カービン（30／90）・大口径SC
 AR（20／120）
 安雄：ナイフ・ベレッタM9（15／30）・MGL140（6／
 100）
 出木杉：ナイフ・ベレッタM9（15／50）・モスバーグ590
 K（10／60）・552コマンドー（20／80）
 聖奈：ナイフ・ベレッタM9（15／35）・マック10カスタム
 （75／150）
 聖夜：ナイフ・ベレッタM9（15／50）・マカロフ（8／80）
 ・ステアー AUGA1（42／180）
 リシングスキー：アーミーナイフ・ベレッタM9（15／320）
 サイガ12カスタム（20／100）・HK-416（25／12
 5）・SRSLライフル（12／24）
 サーシャ：特製ナイフ・ベレッタM9（15／200）・870シ
 ョート（6／24）・P-90 SD（80／300）・ドラグノ
 フ（7／24）

鳥柴：ナイフ・ベレッタM9（15/40）・FN P-45（12/24）・シカゴライター（300/500）

倉庫：M1911 x1・ゴールドガー x1・UMP-45
x6・M T A R S D x3・AK-47 x1・AN94ホワイ
トカモ x1・8式狙撃銃 x1・67号手榴弾 x30・87番
閃光弾 x15

どこからこんな大量な武器を仕入れたんだとか、どこからこんな大量に弾薬を手に入れたかとかは、18・19話付近で推察できるように倉庫から武器と弾薬を持ち出した為。

なお、武器の装弾数は小説上架空のも多いので注意。それと、シカゴタイプライターの（300/500）はミスではなく仕様。マジで。

それより何より、流石にスネ夫もまだマシの扱いになってきたよう
でだいぶいい武器を支給されている。

ちなみに手榴弾の数は記載していないが、誰でも大体3個程度。
のび太とかは5個で、リシングスキーに至っては10個持っている
が、反対にスネ夫と出木杉は1個。経費削減（笑）。
ちなみに安雄には「必要ないだろ」という理由で持たせていない。

しかし、露骨過ぎる文字数稼ぎだな・・・。

（放つとけ！ちなみに次回は武器紹介の予定だからってのもある
by筆者）

静香「うゝ、ヤバイめっちゃ頭痛え」

二日酔いで頭痛が痛い様子に静香。

え？日本語がバグってる？そりゃ気のせいだよ。

（訳：二日酔いで頭痛がしている様子の静香。 by説明役）

ドラ「そんなら、飛ぼう・・・！飛べばきっと答えが見つかる！」
飛んでるのは貴方の脳のネジです。元ネタアリ。

そして、フラフラしつつも静香は

静香「ふう・・・よし、これから3日目のチームを決める」
と、残りの10人の前に立って言った。

静香「よし、まず11人居るから、3人1チームで4つ作る、いいな？」

10人「Sir, Yes Sir!!」
あれ、これって何処かで・・・第8話参照。

静香「よし、いい返事だ・・・まず学校内で南校舎・北校舎、学校外で町を2区域に分けて探索する」

10人「Sir, Yes Sir!!」

静香「1チーム目はドラえもん・のび太・サーシャで町の西側。2チーム目は俺・ジャイアン・出木杉で町の東側だ」

上記6人から静香以外「Sir, Yes Sir!!」

静香「3チーム目は聖奈・聖夜・鳥柴で南校舎。最後の4チーム目は人数が足りないがスネ夫とリシングスキーで頼む、北校舎を」

上記5人「Sir, Yes Sir!!」

静香「よし、それじゃあ開始だ！行け！」

10人「Sir, Yes Sir!!」

では、第8話同様まとめてみようか。

ドラえもん・のび太・サーシャ チーム： ススキケ原の西側区域
静香・ジャイアン・出木杉 チーム： ススキケ原の東側区域
聖奈・聖夜・鳥柴 チーム： 学校の南校舎側
スネ夫・リシングスキー チーム： 学校の北校舎側

チーム数が増えているが、結局はかなりスッキリしている。

そうだな、例えるなら・・・汚い表現になるが、「便秘でなかなか出なかったチョコ（伏字）が出た時の快感」だろうか。

ちなみに、これは筆者の実体験でもある。汚らしい男だ。今更過ぎるが。

だってただの下痢ですら「下痢^{ゲリ}豪雨」だとか言い出すイカれた奴だしね・・・ってこんな事言つと給料が無くなるからやめとくべきだな。うん。

という訳で（どういう訳で？とか、今更そつという事を言うのは厳禁）探索開始。

まずはドラ&のび&サーシャトリオを追尾する事にします。次回もいや、トリオって響き悪いな。でもどうやって表現するべきだろうか。

ドラ「はぁあ、もう11時なのにアレだが眠いな」
のび「ああ」

ドラ「てか、上の会話だけで1時間も経つのはどうなんだよ」

のび「それは筆者に言おうか」

ドラ「だね」

ちなみにいちいちカタカナ表記がメンドイという理由でサーシャのセリフは少なめ。

どうやら筆者の頭の中に「最初から普通に表記する」という考えは徹頭徹尾ないらしい。

「徹頭徹尾」と言えば、筆者はとあるゲームを「ゲームカタログ(飯)@wiki」で見た影響で変な夢を見るようになったとか。ページ番号は932番。ただまあ、筆者は元からおかしいので、まあ当たり前と言えば当たり前か・・・。

(この後、ナレーションの給料はカットされましたとさ by筆者)

それでは、文字数稼ぎ回だったが、
続く！

第23話 く地獄の3日目開始く（後書き）

最後の「徹頭徹尾」辺りは、実際に見てみれば理由はわかんと思います。

18禁のため直リンは避けますが、/pages/932.htm
1です。

んで、変な夢を見てるんですが、あまり覚えてないんで、今日もう一度見たら覚えようと思います（笑）。

ちなみに影響で今朝は6時半に起きました。寒かったです。室温23度だけど。

次回は予告通り（今まで出てきた）武器の紹介ですが、まだ画像の投稿数が20ほどだし、投稿するのに時間がかかるんで結構遅くなるかもしれません。

更に、解説をどのように組むかも決めないといけないので・・・。

2,660文字。

第23・5話　く23話までの武器紹介く（前書き）

総まとめ。

ハッキリ言ってダルイ作業。

下手な作業ゲーよりよっぽど酷い。

「撮影上のコメント：」については、興味があったら読んで下さい程度の存在です。

つまり、無用の文章。

画像サイズはどれも350×225以下にしているので、パソコンで見る分には問題ないと思います。

第23・5話　〜23話までの武器紹介〜

（説明）

・武器名　（武器種類）

>画像<

装弾数：装填できる銃弾数

作動方式：セミオート／ポンプアクション／ボルトアクション／フルオート／x点バーストの5種類

弾薬：使用する弾薬

重量：弾抜きでの総重量

モデル：モデルとなった武器

説明文3行

・ナイフ　（刃物）

通常モデル：>i30642—1624<

サーシャ仕様：>i30640—1624<

健治仕様：>i30641—1624<

アーミーモデル：>i30639—1624<

重量：上から　0・10kg／0・15kg／0・05kg／0・25kg

ナイフです。それ以上説明できないくらいナイフです。

4種類存在するが、アーミーモデルはリシングのみだし、健治のナイフは一緒に埋められたので実質1つしかない。

結局はどれもあまり変わらないのだが。

撮影上のコメント：通常モデル以外は自分で撮ったものです。健治

仕様の画像が女の手になってるのは単なるミスです。

・ベレッタM9（ハンドガン）

>i30645—1624<

装弾数：15発

作動方式：セミオート

弾薬：9mm

重量：1.38kg

モデル：ベレッタ M92F シルバーモデル

綺麗な銀色をしたハンドガン。ハンドガンとしてもっとも成功した銃だろう。

全ての性能が平均的で、弾薬も入手が容易。完璧なサブウェポンとなってくれるだろう。

ただ、面白みがないのが欠点。まあ、必要ないが。

撮影上のコメント：最初から銀色モデルにすると決めていたので、後は簡単に撮影しました。

・M1911（ハンドガン）

>i30586—1624<

装弾数：7発

作動方式：セミオート

弾薬：.45口径

重量：1.08kg

モデル：コルト M1911A1ガバメント

.45口径でそこその威力を誇るが、結局拳銃の弾速などたかが知れているので無意味。

ただ、今年で100周年なのは記念すべき事だろう。

モデルとなった銃はA1なので、もうちょっと後に出た物なのだが・
・。

撮影上のコメント：本当はM1911の画像が欲しかったのですが・
・。とにかくガバメント100周年おめでとうって事で。

・ FNP - 45 (ハンドガン)

> i 3 0 5 2 0 — 1 6 2 4 <

装弾数：12発

作動方式：セミオート

弾薬：.45口径

重量：1.80kg

モデル：FNP45

M1911と同じ口径で、装弾数が上昇。
扱いやすくなったが重量も上昇。
あまり出番が無い。

撮影上のコメント：本当は初期案に無い武器でしたが、スライドの色が気に入ったので急遽組み込みました。

・ マカロフ (ハンドガン)

> i 3 0 6 4 6 — 1 6 2 4 <

装弾数：9発

作動方式：セミオート

弾薬：9mm

重量：1.11kg

モデル：マカロフ

今までの893の銃といえばトカレフだったが、今はこっちが主流

だとか何とか・・・。

やっぱり製造しやす過ぎるとコピーが大量に作られるから危ないね。性能自体はいいが、動作安定性はお察し。コピー品だから。

撮影上のコメント：結構好きな武器で、それにO p 7のアップデイトでこの武器が追加されたので「ラッキー！」と思いつつ撮影しました。

・デザートイーグル（ハンドガン）

> i 3 0 6 3 6 — 1 6 2 4 <

装弾数：7発

作動方式：セミオート

弾薬：. 5 0 口径

重量：3 . 8 9 k g

モデル：I M I デザートイーグル

何でもかんでも高威力にすればいいってモンじゃねえんだよこのカス！！

って訳で特大威力の . 5 0 口径弾を使う強反動のハンドガン。重量と反動のせいで連射なんか出来ません。

撮影上のコメント：O p 7の武器だと白すぎるので、C S : Oのを採用しました。若干投げやり。

・ゴールドガー（ハンドガン）

> i 3 0 6 2 8 — 1 6 2 4 <

装弾数：8発

作動方式：セミオート

弾薬：9 m m

重量：1 . 0 0 k g

モデル：ルガー P08

ふざけてゴールドカラーにしてみた武器。
9mm弾を使用する武器の先駆け（？）となったので、讃える意味
としてはもつともオーソドックスなのかも。
だが、性能は大したことは無い。

撮影上のコメント：CS：Oの暗号箱を開けたら偶然当たったので、
記念に撮影。他にもゴールドMP5も持ってます。画像の準備もし
ています。

・二挺ベレッタ

>i30655—1624<

装弾数：22発（各11発）

作動方式：セミオート

弾薬：.40口径

重量：3.00kg（各1.50kg）

モデル：ベレッタM96 エリート？

こちらはベレッタM9の二挺持ちではなく別銃。

かなりマイナーだが、CS：OやWarRockのお陰で多少は名
が知れているようだ。

・40口径は中途半端な威力、各11発は中途半端な装弾数、と中
途半端が多い。

撮影上のコメント：18.5話で登場が明かされたので一応。エリ
ート？で正しかったかは不明です。

・MP5A5（サブマシンガン）

>i30588—1624<

装弾数：30発

作動方式：フルオート

弾薬：9mm

重量：2.50kg

モデル：H&Amp;K MP5 A5

サブマシンガンの常識を覆した、M4A1カービンと並んで有名なサブマシンガン。

9mm口径に30連マガジンと、オーソドックスな性能を誇る。

映画版バイオだったかどうかは忘れたが、名前だけは登場している。ただ、本家バイオ5にはちゃんと出ている。

撮影上のコメント：一時期「MP5A4にしようかな？」と思いましたが、やはりコチラの方がオーソドックスなので採用しました。

・UMP .45 (サブマシンガン)

>i30622—1624<

装弾数：25発

作動方式：フルオート

弾薬：.45口径

重量：3.83kg

モデル：H&Amp;K UMP45

MP5シリーズの後継としてH&Amp;K社が世に送り出した物。弾薬を.45口径とした為に威力は上がったが、それに伴い反動も強くなったためフォアグリップで対処している。

結局はMP5シリーズの方が使えるという理由であまり日の目を見なかった。

撮影上のコメント：まあ普通に撮りました。フォアグリップはただ

の趣味で付けました。

・ M T A R S D （消音サブマシンガン）

> i 3 0 5 9 0 — 1 6 2 4 <

装弾数：25発

作動方式：フルオート

弾薬：5.56mm

重量：3.04kg

モデル：IMI M T A R 21

アンブレラ社によって改造されたM T A Rだが、何とコッキングレバーを付け忘れてしまっている。

仕方なく、無理やりボタン式のコッキングへとすりかわっているが・

・ 無理やりにも程がある。

実際に不具合も多くなってしまうている。ただ、長いサプレッサーのお陰で音は小さい。

撮影上のコメント：O p 7での本武器の特性（バグかも）として、とある組み合わせにするとコッキングレバーが無くなったり2つになったりするので、ネタとして採用しました。

・ P - 9 0 S D （消音サブマシンガン）

> i 3 0 6 1 5 — 1 6 2 4 <

装弾数：80発

作動方式：フルオート

弾薬：5.7mm

重量：4.00kg

モデル：FN P 9 0

こちらにも長いサプレッサーを取り付け音を小さくした傑作モデル。

欠点はマガジンの携行が若干キツイ事と、弾薬が独自規格のため補充が困難な点。

それを除けばかなりの優良銃ではある。

撮影上のコメント：GTA4：TBOGTのアサルトSMG風に組んでみました。今思うと、ダットサイトを取り替えた方が良かったかな・・・？

・7.62mmサブマシンガン（サブマシンガン）

>i30499—1624<

装弾数：30発

作動方式：フルオート

弾薬：7.62mm

重量：3.09kg

モデル：MC51（G3の小型版）

7.62mm弾薬を使用するため本来はアサルトライフルとなるが、サイズのサブマシンガン。

反動の強さはフォアグリップでカバー。装弾数もそこそこあり、一応使える武器。

但し、やっぱり7.62mmでサブマシンガンというのは無理があるか・・・。

撮影上のコメント：純正MC51から、ストックを伸縮式に取り替えてあります。色はただの趣味で。

・スコーピオン（サブマシンガン）

>i30632—1624<

装弾数：50発

作動方式：フルオート

弾薬：.380口径

重量：2.10kg

モデル：CZE VZ61

本家バイオ5にも「VZ61」の名で登場、小型サブマシンガン。50発の大量装弾が出来るが、威力は高くない。ただ、反動が小さいため二挺持ちが容易。

撮影上のコメント：結構好きな武器なので、採用しました。50発装弾出来るのは、本家バイオ5でも同じ仕様だからです。

・マック10カスタム（サブマシンガン）

>i30647—1624<

装弾数：75発

作動方式：フルオート

弾薬：.45口径

重量：2.45kg

モデル：イングラム マック10

マック10のコッキングレバーを増やし、ちょっと長銃身・垂直グリップ装備のカスタムが施されている。大して性能は変わらないが、元々の連射力の高さからくる反動が抑えられるようになったのは大きな進歩。先生を倒した後、ジャイアンが代わりに使う事となった。

撮影上のコメント：XopsのMODであるFfAパックより使用。改造可能箇所が少ない為若干苦労しました。

・シカゴタイプライター（サブマシンガン）

>i30631—1624<

装弾数：300発

作動方式：フルオート

弾薬：.45口径

重量：4.56kg

モデル：トンプソン M1921

本家バイオ4でも出ていた武器。ただ、威力は抑え目。

最大の特徴は何と言っても装弾数だろう。300発は最強レベル。ストックに施された装飾が最高にクール。

撮影上のコメント：CS：Oから撮りました。ストックの装飾が好きなので……。てか、装飾と言うよりは絵柄の方が正しいかな。

・9号マシンピストル（サブマシンガン）

>i30501—1624<

装弾数：100発

作動方式：フルオート

弾薬：9mm

重量：1.89kg

モデル：B & amp; T MP9（ステアー TMPの後継機）

本家バイオ4でも出ていた（名前は「マシンピストル」）が、バレルは本来もうちょっと短い。

こんな短小マガジン（それでもMP9では最大）に100発も入るか？と思うだろうが、実銃は20/25/30連の3種類が存在する。

結局ストックが邪魔で扱いづらい。

撮影上のコメント：18.5話で登場が明かされたので一応。今思うと、最初から組みなおしてストックだけ外した方がよかったかな。

・ 870 ショート (ショットガン)

> i30509 — 1624 <

装弾数：6 発

作動方式：ポンプアクション

弾薬：12 ゲージショットシェル (通常・000B)

重量：3.09 kg

モデル：レミントン 870 MCS (同社 M870 のショートモデル)

有名なレミントン M870 をショートモデルにしたモデル。

法律上銃身を短くするのはマズいのか、銃身の長さはほぼ変わらず。でもマガジンに比べ飛び出してないので扱いやすい。重量も軽くなっている。

撮影上のコメント：元々はレミントン M870 にする予定でしたが、色々あつて急遽こちらへ。関係ないが、本家バイオ4の「ショットガン」は M870 ではないので注意。

・ モスバーグ 590 K (ショットガン)

> i30649 — 1624 <

装弾数：10 発

作動方式：ポンプアクション

弾薬：12 ゲージショットシェル (通常・000B)

重量：2.75 kg

モデル：モスバーグ M590 クルツ

870 ショートと基本概念は一緒のショートショットガン。こちらの方が性能が高い。

但し、迷彩効果を期待するのは厳禁。

撮影上のコメント：迷彩柄ですが、逆にダサイですねorz。撮り直しが入るかもしれません。

・M1スペシャルショット（ショットガン）

> i 3 0 5 8 0 — 1 6 2 4 <

装弾数：3発

作動方式：セミオート

弾薬：12ゲージショットシェル（通常・000B）

重量：1.96kg

モデル：ベネリM1 スペアー90

ベネリM1をベースに大幅な改修が行われた（敢行された、と言った方が正しいか）モデル。実在はしない。

非常に軽量だが、装弾数は・・・。一応000Bも撃てるが動作保障外。

横に付いてるシェルホルダーなんて飾り。中途半端に7発しか入らない。フラッシュライトなんて飾り。

撮影上のコメント：またFfAMODからですが、今度は自分で少し改良を施しています。カラーは・・・ペイントで3分で作った為かなり汚いです。

・サイガ12カスタム（ショットガン）

> i 3 0 6 2 9 — 1 6 2 4 <

装弾数：20発

作動方式：フルオート

弾薬：12ゲージショットシェル（通常・000B）/スラッグ弾

重量：5.00kg

モデル：イジエマッシ サイガ12

リシングスキーお手製のフルカスタム仕様。
フルオート化・フォアグリップ装備・20連マガ装備・長銃身化・
ストック変更と妥協を知らない凶悪仕様。
フォアグリップがあっても反動はキツイ。

撮影上のコメント：この武器が登場する時に、opp7で撮りまくる
事が決まったので最初に撮った画像です。ストックを変えたのはア
ドリブみたいナモンで。

・AK-47（アサルトライフル）

>i30510—1624<

装弾数：35発

作動方式：フルオート

弾薬：7.62mm

重量：4.71kg

モデル：USSR AK47

全世界に知れ渡っている名銃。約60年以上前に完成したため、型
としては古い。

但し動作安定という観点ではこの銃の右に出るものはないだろう。
難点は大口径の影響で反動が大きい事だが、そこまでぶつ放すよう
な武器ではないのでまあ問題ないか・・・。

撮影上のコメント：元々AK-74だったので、無理やり画像編集
でコンペンセーターを消しました。最も画像編集に力を入れた物で
すね。でもストックが・・・。

・AKS-74U（アサルトライフル）

>i30511—1624<

装弾数：25発

作動方式：フルオート

弾薬：5.45mm

重量：3.89kg

モデル：USSR AKS74U

AK-47の後継、AK-74の小型版。一応は「アサルトライフル」なのだが、ゲームによっちゃ「サブマシンガン」扱いされた事もある。

小口径だが短銃身の為音が大きい。だが、結局はサプレッサーも出た訳だし問題ないか・・・。

某国の人「ビン・RDN」もコイツを使っていたらしい。

撮影上のコメント：何で7.62mmサブマシンガンが「サブマシンガン」でこっちが「アサルトライフル」なんだという突っ込みは厳禁。

・AN94ホワイトカモ（アサルトライフル）

>i30512—1624<

装弾数：40発

作動方式：2点バースト

弾薬：5.45mm

重量：3.92kg

モデル：イジエマツシ AN94

雪山向けホワイト迷彩が施されたAN94。そもそも元が元でマイナーなのだが。

2点バースト限定だが連射速度は1,800発/分。参考に、M4A1カービンは850発/分である。

しかし連射を続けられないので囲まれた時は不便極まりない。

撮影上のコメント：やっぱり迷彩にするとダサイ。でも、こっこのも悪くは無いですね。良くも無いけど。

・SIG SG550（アサルトライフル）

>i30619—1624<

装弾数：25発

作動方式：フルオート

弾薬：5.6mm GP80/5.56mm

重量：4.55kg

モデル：SIG SG550

数十種類中、完全に実名で出る数少ない武器。

SIG系列は全てコレが始まり。銃身もモデル中もつとも長い。

もちろん、その分の重量も重い。カラーリングはあまり気にしてはいけない。

撮影上のコメント：ストックとマガジンと色だけいじって、後はノーマルです。個人的に好きな武器ベスト5に入ります。

・552コマンダー（アサルトライフル）

>i30508—1624<

装弾数：20発

作動方式：フルオート

弾薬：5.6mm GP80/5.56mm

重量：3.17kg

モデル：SIG SG552

5.56mmより若干口径の大きい5.6mmを使うが、別に5.56mmも使える。

反動はそれほど大きくないが、短銃身という事でフォアグリップを取り付けた。

照準線（リアサイト）フロントサイト間の長さの短さはダットサイトで補ったが、結局銃身が短い＝精度が低いのであまり意味なし。

撮影上のコメント：名前の由来はR6V2から、パーツはCFを参考に組みました。ストックを間違えましたけど。

・HK-416（アサルトライフル）

>i30521—1624<

装弾数：25発

作動方式：フルオート

弾薬：5.56mm

重量：4.61kg

モデル：H & a m p ; K HK416 スタンダード

初期版ではアンブレラ隊員の基本武装だったが、今回はAK-47に役目を取られている。

しかし一応使っている隊員もいるようだ。それでストックとバレルがカスタマイズされている。

外観も中身も、良くも悪くもM4A1カービンのH & a m p ; K社版といった所。

撮影上のコメント：何か撮った当時はやたらマガジンを短くする事が好きだったようですね（笑）。あと、バレルは短い方がよかったかな。

・ステアー AUGA1（アサルトライフル）

>i30633—1624<

装弾数：42発

作動方式：フルオート

弾薬：5・56mm

重量：4・06kg

モデル：ステアー AUG988 A2

名前こそA1だが、実際はA2なモデル。

バレル長は通常の長さ（20インチ）ではなく、コマンドー用の約13インチの長さ。

他にも42連マガジンを装備していたりする。まあ画像は30連だが・・・。

撮影上のコメント：988モデルがいい味出してたので採用。A2なのに「AUGA1」なのはワザとです。

・XM8カービン（アサルトライフル）

> i30624—1624<

装弾数：32発

作動方式：フルオート

弾薬：5・56mm

重量：4・27kg

モデル：H&Amp;K XM8 カービン

部品を組みなおすことでスナイパーモデルに変えることも出来る。

性能は決して悪くないが、様々なゴタゴタが原因で採用されていない為入手は困難。

どれもこれも全部M4A1カービンのせいだ！

撮影上のコメント：個人的に好きな武器3位内に入る武器。色はただの好みです。でも、マガジンの色は変えないべきだったかな。

・ S C A R （アサルトライフル）

小口径：> i 3 0 6 5 1 — 1 6 2 4 <

大口径：> i 3 0 6 5 2 — 1 6 2 4 <

装弾数：3 2 / 2 0 発

作動方式：フルオート

弾薬：5 . 5 6 m m / 7 . 6 2 m m

重量：4 . 5 0 k g / 4 . 8 0 k g

モデル：S C A R L i g h t / H e a v y

X M 8と同じように一部部品交換だけで口径を変えられる。

小口径は威力低めで反動抑え目、大口径は威力高めで反動も強めとなっている。

どちらがお好みで、って事だ。

撮影上のコメント：C S : O の S C A R 風に組んでみました。面倒なので2つともいっぺんに公開です。

・ M 2 4 ライフル （スナイパーライフル）

> i 3 0 5 8 5 — 1 6 2 4 <

装弾数：1 0 発

作動方式：ボルトアクション

弾薬：7 . 6 2 m m

重量：5 . 9 2 k g

モデル：M 2 4

基本的な性能のスナイパーライフル。ただ、実践向けに迷彩を施したつもりが・・・。

7 . 6 2 m m 弾・ボルトアクション式とオーソドックスな組み合わせを誇る。

サプレッサー装備版も存在する。

撮影上のコメント：まだ小説内では出ていませんが、M24 SD
の元として公開します。

・ M24 SD （消音スナイパーライフル）

> i30584 — 1624 <

装弾数：10発

作動方式：ボルトアクション

弾薬：7.62mm

重量：6.13kg

モデル：M24

のサプレッサー装備モデル。

重量は多少あがったが、その他ではほぼ同じ性能を誇る。

・・・ぶっちゃけこういう武器のコメントを3行書くのは大変。

撮影上のコメント：迷彩柄にすると失敗するのが定着し始めた頃。
ただ、マガジンの迷彩はいい味出してます。

・ SRSライフル （スナイパーライフル）

> i30621 — 1624 <

装弾数：12発

作動方式：セミオート・・・に見せかけて実はボルトアクション

弾薬：7.62mm

重量：5.56kg

モデル：DTA SRS

ブルパップ型の珍しい狙撃銃。しかし命中精度は侮れない。
中距離狙撃が主なので、短めのバレルを採用している。

結果として軽量になり、また近距離でもそこそこ使えるモデルとなった。

撮影上のコメント：この形状でボルトアクションと言うのがちよつとツボだったので、採用しました。ちなみに似たような武器で「D S R - 1」つてのがありますが、別物です。

・ドラグノフ（スナイパーライフル）

> i 3 0 6 3 7 — 1 6 2 4 <

装弾数：7発

作動方式：セミオート

弾薬：7・62mm x 54 R

重量：4・82kg

モデル：U S S R S・V・D r a g u n o v（正式名称：スナイパースカヤ・ビントブカ・ドラゴノバ。瓶は飛ばないが）

サーシャの基本装備。銃自体の精度はあまり高くないが、狙撃手のせいで全く性能を発揮できなかった武器。

本家バイオ5にも登場。同名での登場だが手ブレが3種類中もつとも強い。

何と日本国内でも持てるんだぜ！！散弾銃の免許取ってから10年以上必要だし5発にする必要があるけど。

撮影上のコメント：元々O p 7から撮ろうと思ったんですが、木目調っぱくないしストックもダサイので急遽変更しました。

・8式狙撃銃（スナイパーライフル）

> i 3 0 5 0 0 — 1 6 2 4 <

装弾数：16発

作動方式：セミオート

弾薬：7・62mm

重量：5・03kg

モデル：H & amp ; K SL8 （同社G36の狙撃銃版）

本家バイオ4に出演（演？名前は「セミオートライフル」）していた。

8式と名前は付いているが海外製。紛らわしいのは仕様。

マガジンが馬鹿みたいにデカイクセに16発しか入らないのは突っ込んだじゃダメ。

撮影上のコメント：相変わらず失敗してます（笑）。あと、コレはG36を改造しただけなのでSL8とは色々違う部分があったりします。

・RPG-7 （ロケットランチャー）

>i30617—1624<

口径：66mm 炸裂焼夷弾

重量：6・33kg

モデル：USSR RPG7

今バージョン唯一のロケットランチャー。

弾頭が改造され、爆発と同時に炎も上がる仕様となっている。

本家バイオ4・5でもおなじみだが、その他にも出演メディアは非常に多い。

撮影上のコメント：画像が少なく若干苦労しましたが、それ以外は問題なしです。寧ろ見つからない方が問題。

・67号手榴弾 （投擲武器）

>i30503—1624<

ピン抜きから起爆まで：4秒

重量：0.55kg

モデル：M67手榴弾

筆者のハンドルネームでもおなじみ手榴弾。林檎型手榴弾りんごと呼ばれる
たりする事もある。

ピンを抜いてから爆発までに時間差があるので、気を付けないと外
す。

ピンを抜いて投げずに突撃すると自爆する。

撮影上のコメント：まあ普通に。ちなみに「みてみん」の自プロフ
イル画像是M26A1手榴弾です。

・87番閃光弾（投擲武器）

>i30506—1624<

ピン抜きから起爆まで：2秒

重量：0.60kg

モデル：XM87閃光手榴弾

強い光と音で、敵の五感中「視覚」と「聴覚」を奪う。

ピン抜きから起爆が早いので、ヘタすると耳元で起爆し鼓膜終了に
なる。

上は67号だが、こちらは87「番」な点に留意。

撮影上のコメント：こちらも普通に。大して言う事はありませんが、
画像の右がちょっと長すぎるのがミスった所です。

第23・5話 〽23話までの武器紹介〽（後書き）

ようやく終わりました。

疲れました。

寝ます。

実を言うと「撮影時のコメント」を除く説明文は前々から用意してあった物です。

それでも疲れる作業でしたが。

一応、8、610文字。

第24話 〈冷酷・スネ夫 誕生編〉（前書き）

火炎放射器野郎を出そうかと思いましたが、早すぎるのでちょっと後で。

今回からサーシャさんのセリフが普通の日本語になっています。面倒臭いので。

アンケート取ろうかと思ったけどどうせ読者なんて居ないようなモンだからいいや。

前々回でナレーションの給料をカットしてしまった為、ボロクソに叩かれてます（笑）。

それで何で働きに来るのか謎ですが、多分家庭事情でしょう。こっちじゃなくバイトで稼いでるって言ったら離婚されるんでしょう。多分ね。

風邪によりメ切1日オーバーになってしまい、すみませんでした。

第24話　く冷酷・スネ夫　誕生編く

只今7月31日11時15分。

ドラ&のび&サーシャコンビを追走。

ドラ「さつき翻訳コンニャク買って来たよ、何か筆者が一個20万で売ってた」

のび「マジかよ！暴利じゃねえか！」

ドラ「いいじゃん別に、という訳でサーシャさんどうぞ・・・何か噛みそうだな」

サーシャ「どうも・・・おー、日本語が話せる」

のび「でも結局出番は少なくなると思うよ」

サーシャ「・・・・・・・・・・・・・・・・。」

ドラ「つつーかさー、マジで筆者が18禁に走り始めたんだけどどうにかなんない？」

のび「走り始めたつつつても、ただ主人公のイカレっぷりとか音楽とかを楽しんでるだけだろ？」

ドラ「うるせえな！とにかく何とかしてくれ、2人とも」

2人「無茶言うな！」

ドラ「・・・・・・・・・・・・・・・・。」

まあ筆者は元々そういうドヘンタイだからしょうがない。

ちなみに何故こんなにバツサリ言い切ってるのかというと、給料を

カットされたから。

サービス残業ならぬサービス稼業である。

だから仕方なく別の所でバイトしてるんだよ！

ふざけんな！

ドラ「ナレーションは黙ってるよ、ところでこれからどうするよ」
のび「んー、図書館でも行かね？」

ドラ「何で？」

のび「暇つぶし」

ドラ「お前な・・・」

サーシャ「いいんじゃない、別に？どうせ時間はまだたっぷり余ってるし」

ドラ「こんなのん気なメンバーで大丈夫か・・・」

大丈夫だ、問題しかない。

- - - - -

筆者のネタ切れにより、急遽視点変更。

給料カットの怒りが収まらないからこれからはぶっちゃけます。

突き出してやってもいいけどな！！

で、今度はスネ夫&リシングコンビを追尾。

北校舎の1・2Fと3・4Fを別々に探索してるので、ぶっちゃけ「コンビ」になってないのはここだけの話。

ちなみに1・2Fには大した物は無いが、3・4Fには理科室とか音楽室とかがある。

ちなみに筆者自身が初期版のシーンの8割を忘れている為、殆ど異なるシーンを書いてるつもりらしい。

が、読者によつては同じに見えるかもしれない。だって記憶が無いんだから、「あれ？このシーン書いたっけ？」なんて思わないんだからな！！！！

マジで記憶力が幼稚園児並みの筆者だな！

下劣な腐れ手榴弾一号が！

死ね！

大体なんだよ「手榴弾一号」って。手榴弾なら手榴弾らしく、大人しく爆散しやがれてんだ！
消えろ！

（この頃筆者は、今のナレーションを完全解雇する方針に決めたようだ by説明役）

スネ「はあゝあ。眠い」

さて、怒りをぶちまけてスツとした所でスネ夫を追尾します。

スネ「ナレーションもよくやるよなあ・・・普通ココまでボロクソに叩いたらヤバイ事になるよ・・・あゝ眠い」

どうやらスネ夫は飲み過ぎで強烈に眠気が襲ってきているようだ。ちなみに、前半部分（というか今のセリフの大半）には敢えて突っ込まない方針で。

スネ「眠いし、いつそサボって安雄の所で寝ようかな・・・あゝあ
オイコラ。」

まあいい、取り敢えずスネ夫はぶらぶらとその辺を歩いた。
理科室とかあって、基本的に4年の住み家もとい教室がある場所を、

ね。

スネ「はあゝあ、これから何しようかなゝ．．．」

そう呟きつつ、スネ夫は適当にそこら辺をぶらぶら歩いた。

その時だった。突然スネ夫の耳に銃声が届いたのは。

もつとも、何処かの教室内からのようで、ちよつと音は小さかったがそれでも十分大きい音であつた。

スネ「Who!？」

間違つた．．．いやある意味正しいと言えなくも無いが、とにかく英語を叫びつつスネ夫はベレッタM9を抜いた。

んでもって取り敢えず銃声が聞こえてきた4 - 3の教室のドアの前に立ち、いつでも撃てるよう引き金に指をかけた。

15秒くらいして、ドアが開いた。

はる夫「おつ！よおスネ夫！」

手に9号マシンピストル、腰には二挺ベレッタをはめた丸っこい奴が出てきた。

人間だし、スネ夫含め「ドラえもん」メンバー全員の知り合い、はる夫だった。空気だが．．．。

そして、スネ夫は見慣れない顔に「うわっ！！敵か！」と思ったらしく、素早くはる夫の頭に銃口を向けて発砲した。

はる夫の頭から鮮血が飛び散り、体（と、銃）は空を舞った。

はる夫「な．．．なにすんだよ、スネ．．．夫．．．．．」

それでも、生きているのが不思議だ。まあもうそろそろ死ぬだろう

けど。

スネ「っつーかお前誰だよ」

そう言つてスネ夫ははる夫の心臓にナイフを衝きたてた。

またもや鮮血が飛び散り、今度こそはる夫は死んだ。

「冷酷・スネ夫　ここに誕生」。

とにかく、スネ夫は床に落ちた9号マシンピストルと腰にはまつて
いる二挺ベレッタを取り、さつさとその場を後にした。

- - - - -

ドラ「・・・・・・・・・・。」

のび「・・・・・・・・・・。」

サーシャ「・・・・・・・・・・。」

ドラ「・・・・・・・・・・。」

のび「・・・・・・・・・・。」

サーシャ「・・・・・・・・・・。」

ドラ「なあ・・・・・・・・・・。」

のび「・・・・・・・・・・何だよ」

ドラ「筆者さあ、あんだだけ大袈裟に言つてた割には随分この話短い
よね」

のび「気にしたら負けだよ、そんな事」

サーシャ「でも多分絶対この話続くと思うけど・・・」

ドラ「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・な

んで？」

サーシャ「だってホラ、その・・・・何となく」

2人「オイ。」

まあ実際まだまだ続くそうです。
つー訳で再び視点は戻る。

ドラ「なああ、やつぱ図書館やめね？」

のび「何だようるせえな、何でだよ」

ドラ「だってさ、図書館行って何するんだよ？」

のび「何度も言わせんなよ、さつき暇つぶしって言っただろ」

ドラ「もおー！　じゃあ俺一人で探索するわ」

そう言つてドラえもんは隊列を抜けた。

のび「あつそ、じゃあせいぜい頑張つて」

サーシャ「生きて帰れたらお祝いでもする？」

のび「うん、そうだな」

ドラ「・・・・・・・・・・・・・・・・」

ドラえもんは久々に孤立無援になった。

のび「よし、じゃあ行こうか」

- - - - -

その頃、安雄は・・・。

安雄「ああ・・・・・・・・3つ目のパスワードムズ過ぎ！あれから4時間経ったのに3つしかわかってないってどういう事だよー！」

現在、流石の安雄も苦戦している様子だ。

まあ無理も無い。パスワードは複雑な組み合わせほど安全だから、中身にはきつともんの凄いデータが入っているに違いない。そう安雄は信じつつ、解読していく作業をしていた。

・・・G B A（ゲームボーイアドバンスの略）の「ポケットモンスター ルビー」でピカチュウのレベル上げをしながら。

ちなみに現在わかったのは「J u s * * * * *」までだ。

という訳で、散々メ切をぶっちぎった地上最低の筆者からお送りした24話も終わり。

続く！

第24話 ｻ 冷酷・スネ夫 誕生編ｻ (後書き)

今のナレーションは即クビ。

次回からはちよつと変わつてゐるかもね？

まあ、別に今まで通り「タダ働き」させてもまあいいけど・・・。

メンドイし、けいおん！も書き始めたいので50話で終了を目安にしています。

次回が折り返し地点となりますね。

もしかしたら都合で2、3話程度は増えるかも。

でも、2章を作るかどうかはまあ考え中です。初期版のようにダラダラ続けたくないので、まあまずここで終わりですが。

2、660文字。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6494v/>

ドラえもん のび太のバイオハザード in リメイク・アゲイン版

2011年11月13日05時16分発行